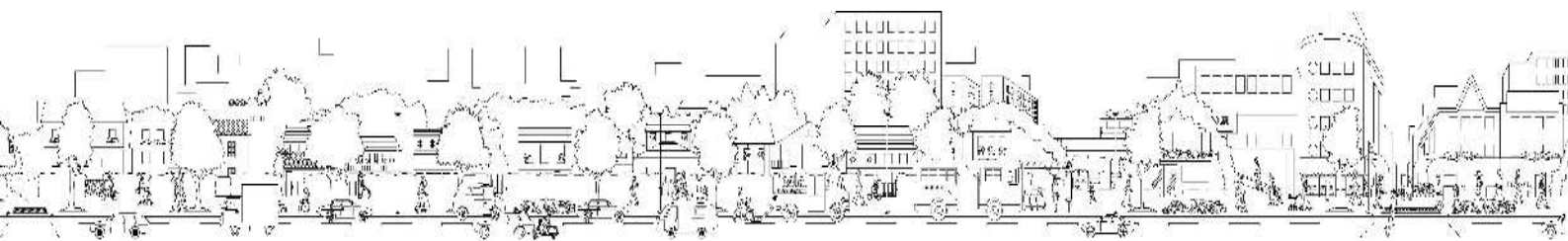


江戸川区実施計画

(平成27年度～29年度)

～ 共育 協働 安心への道～



江戸川区

実施計画の策定にあたって

本実施計画は、平成24年1月に策定した基本計画(後期)『えどがわ10年プラン 共育 協働 安心への道』の着実な推進を図ることを目的に、平成27年度～29年度に計画的に取り組む事業を示したものです。

平成27年3月

目 次

第1章 実施計画策定の考え方	1～8
1 計画の目的および性格	2
2 計画事業	2
3 計画の期間	2
4 財政収支の推計	3
5 計画の体系	4
第2章 分野別計画	9～160
第1節 未来を担う人づくり	11～36
1 家庭教育の充実	12
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)	18
3 多様な保育サービスの提供	23
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進	28
第2節 学びと協働による区民文化づくり	37～52
1 人生を豊かにする生涯学習	38
2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動	40
3 創造性豊かな江戸川文化	42
4 男女共同参画社会の推進	45
5 世界の人々との交流と共生	47
6 安心できる消費生活	50
第3節 いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり	53～90
(1) 区民の健康づくりのために	53～66
1 生活習慣病と健康	54
2 心の健康づくり	58
3 生涯スポーツの推進	59
4 感染症と健康危機への対応	61
5 食と住の安全性	64
(2) 高齢の人々・障害のある人々のために	67～90
1 高齢の人々の生きがいと健康	68
2 高齢の人々の生活支援	72
3 障害のある人々の生活支援	78
4 福祉のまちづくり	89

第4節 区民参加による環境づくり	91 ~ 106
1 環境啓発・環境教育	92
2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)	96
3 自然との共生・ふれあい	100
4 都市環境問題・有害化学物質への対応	104
第5節 活力を創造する産業づくり	107 ~ 128
1 ものづくり産業の活性化	108
2 商業・生活サービス業の活性化	113
3 起業家の育成	116
4 都市農業の継承	119
5 伝統的地場産業の継承、発展	121
6 次代の産業を担う人材の育成	123
7 新たなパートナーシップの確立	126
8 働く意欲あふれる環境づくり	127
第6節 区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり	129 ~ 160
1 都市基盤の充実・質の向上	130
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備	137
3 地域の魅力を高めるまちづくり	144
4 安全で災害に強いまちづくり	155
第3章 計画の実現のために	161 ~ 164
1 信頼と協働による推進	162
2 区民本位での効率的な行政運営	162

第 1 章 実施計画策定の考え方

1 計画の目的および性格

2 計画事業

3 計画の期間

4 財政収支の推計

5 計画の体系

1 計画の目的および性格

この実施計画は、江戸川区基本計画(後期)『えどがわ10年プラン 共育 協働 安心への道』で示された10か年の計画の着実な推進を目的とし、計画期間における毎年度の予算編成等の区政運営の指針となるものです。

< 実施計画の位置づけ >

基本構想



基本計画



実施計画

……

策定からの20年間に、区民と区がともにめざすべき江戸川区の将来都市像及び基本目標を明らかにするとともに、これを実現するための基本的な考え方及び施策を示します。

……

基本構想を実現するために、10か年で行う施策及び事業を体系化・計画化するとともに、その進め方を示します。

……

基本計画を現実の行政の中でどのように実現していくかを明らかにする3か年計画です。

2 計画事業

この計画では、基本計画の実現を図る主要事業に新たに開始又は拡充する事業を加えました。

維持管理及び内部管理的事業、法令等で事業の内容が細目にわたって定められている事業及び臨時的事業については、計画事業の対象外としました。

計画事業数は、382事業です。

3 計画の期間

平成27年度から平成29年度までの3か年とします。

4 財政収支の推計

この計画を実現していくためには、財政見通しが不可欠となります。推計にあたっては、平成27年度の予算額を基本に、過去の事業規模の推移、今後の計画等を考慮しました。

〔歳入〕

特別区税は、過去の実績及び税制改正等を考慮して算定しました。

財政調整交付金は、3か年同水準としました。

国・都支出金は、対象事業の計画や推移等を参考に算定しました。

特別区債は、通常起債額に学校改築経費に合わせた起債額を加えて算定しました。

その他については、過去の実績等を基礎に算定しました。

〔歳出〕

人件費は、退職者の見込数等を基に算定しました。

扶助費は、過去の実績等を基に算定しました。

公債費は、今後の償還計画に基づき算定しました。

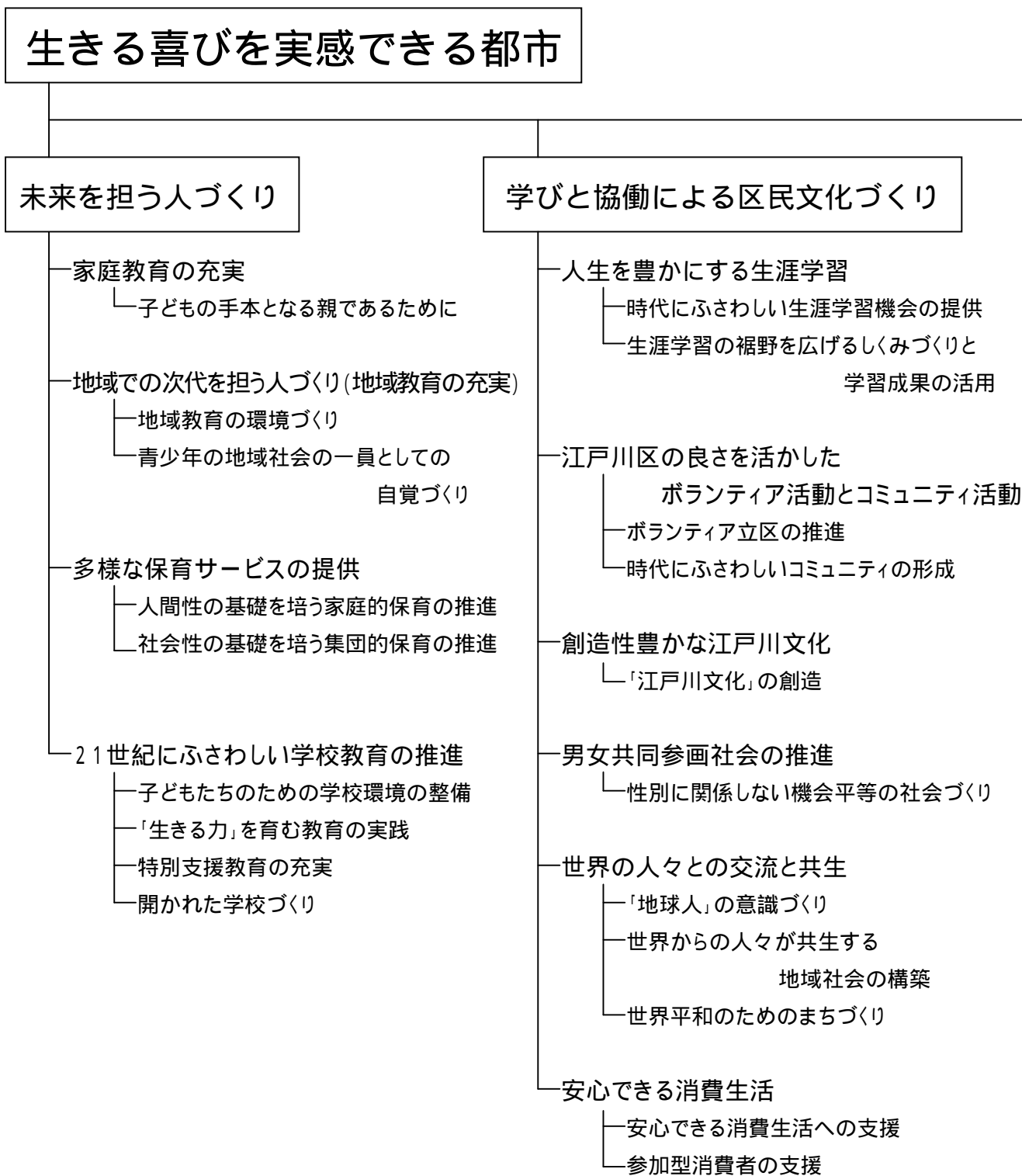
一般行政経費等(物件費、維持補修費、補助費等)は、過去の実績等を基に算定しました。

投資的経費は、都市基盤整備事業を中心に今後の計画を考慮して算定しました。

3か年の財政収支の推計

(単位:百万円・%)

区 分	27年度		28年度			29年度			合 計		
	金 額	構 成	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成	増減率	金 額	構 成	
総 額	218,847	100.0	222,560	100.0	1.7	222,730	100.0	0.1	664,137	100.0	
歳 入	特別区税	48,709	22.3	48,840	21.9	0.3	49,100	22.1	0.5	146,649	22.1
	財政調整交付金	78,000	35.7	78,000	35.1	0.0	78,000	35.0	0.0	234,000	35.2
	国・都支出金	61,053	27.9	62,767	28.2	2.8	65,061	29.2	3.7	188,881	28.4
	特別区債	1,502	0.7	2,043	0.9	36.0	980	0.4	52.0	4,525	0.7
	その他	29,583	13.4	30,910	13.9	4.5	29,589	13.3	4.3	90,082	13.6
歳 出	人件費	35,505	16.2	34,959	15.7	1.5	34,156	15.3	2.3	104,620	15.8
	扶助費	85,643	39.1	87,773	39.4	2.5	90,099	40.4	2.7	263,515	39.7
	公債費	2,299	1.1	2,405	1.1	4.6	2,204	1.0	8.4	6,908	1.0
	一般行政経費等	78,811	36.0	78,038	35.1	1.0	78,107	35.1	0.1	234,956	35.4
	投資的経費	16,589	7.6	19,385	8.7	16.9	18,164	8.2	6.3	54,138	8.1



いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

〔1〕区民の健康づくりのために

- 生活習慣病と健康
 - 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - がん予防対策の推進
- 心の健康づくり
 - 心を元気にするためのしくみづくり
- 生涯スポーツの推進
 - 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 感染症と健康危機への対応
 - 感染症対策などの充実
- 食と住の安全性
 - 健康食住の推進

〔2〕高齢の人々・障害のある人々のために

- 高齢の人々の生きがいと健康
 - 「生涯現役」の環境づくり
 - 高齢の人々の健康づくり
- 高齢の人々の生活支援
 - 高齢の人々が安心できる生活支援
 - 介護サービスの充実
- 障害のある人々の生活支援
 - 障害に関する生活支援
 - 精神障害のある人々の社会復帰への支援
 - 発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援
- 福祉のまちづくり
 - ユニバーサルデザインの促進
 - 心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

区民参加による環境づくり

- 環境啓発・環境教育
 - └ 環境にやさしいエコタウンづくり
- 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)
 - └ ライフスタイルの見直しによる
ごみの大幅な減量化
 - └ 資源リサイクルの拡充
- 自然との共生・ふれあい
 - └ 水と緑でネットワークする
「いのちのオアシス」づくり
 - └ 自然とのふれあいの拡大
- 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - └ 生活環境の改善・保全と
新たな環境汚染問題への対応

活力を創造する産業づくり

- ものづくり産業の活性化
 - └ 自立型中小企業の支援
- 商業・生活サービス業の活性化
 - └ 新しい商店街への経営革新
- 起業家の育成
 - └ 情報産業などの起業・育成支援
- 都市農業の継承
 - └ 特色ある都市農業の展開
- 伝統的地場産業の継承、発展
 - └ 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 次代の産業を担う人材の育成
 - └ 次代を担う人材育成の支援
- 新たなパートナーシップの確立
 - └ 産業界の主体性を重視した行政システム
- 働く意欲あふれる環境づくり
 - └ 多様な就業の場の確保と支援

区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

—都市基盤の充実・質の向上

- 土地利用と市街地整備の方針
- 木造密集市街地の改善
- 良好な市街地環境の創出
- 大規模公園予定地の整備
- 地域生活圏と中心核の整備

—利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

- 道路ネットワークの形成
- 鉄道の整備
- 楽しく快適に移動できる交通
- 情報通信ネットワーク化の推進

—地域の魅力を高めるまちづくり

- 水と緑にあふれる都市環境の充実
- 美しい都市景観づくり
- 住みよく永住できる居住環境づくり
- 歩いて楽しめる個性あるまち
- 安心して生活できるまちづくり

—安全で災害に強いまちづくり

- 防災まちづくり
- 防災体制の充実
- みんなで守るまちづくり

第2章 分野別計画

第1節 未来を担う人づくり

第2節 学びと協働による区民文化づくり

第3節 いきいきとした生活のための

健康・福祉の社会づくり

〔1〕区民の健康づくりのために

〔2〕高齢の人々・障害のある人々のために

第4節 区民参加による環境づくり

第5節 活力を創造する産業づくり

第6節 区民の暮らしを力づよく支える

まちづくり

＜ 分野別計画の見方 ＞

1 施策の考え方

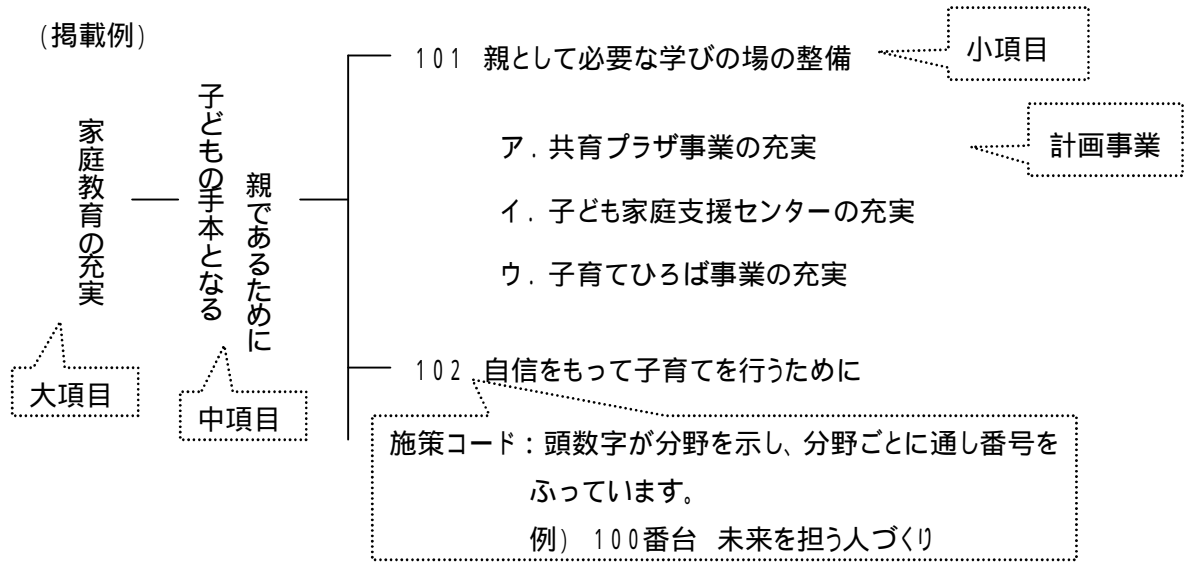
長期計画は、将来都市像「生きる喜びを実感できる都市」を実現するための6本柱の基本目標にそって、各分野別に施策体系を構成しています。

ここでは、分野別の施策体系を構成する大項目ごとに、事業策定の基本となる考え方を示します。

2 施策体系図

分野別施策体系の大項目ごとに施策体系図を掲載しています。

(掲載例)



3 計画の内容

空欄は、事業開始前や事業完了等により、計画事業が存在しないこと示します。

施策コード	135	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画内容				
の整備支援 【新】再掲101			協議	整備支援
事業費		千円	0千円	千円

27年度以後新たに実施する事業は、【新】と記載しています。
また、再掲された場合には、再掲 と表示し、最初に記載した箇所の施策コードを記載しています。

空欄は、事業開始前、事業完了等により、事業費が存在しないこと示します。

「0千円」は、事業計画はありますが、経費を必要としないものです。

「 」は、検討・協議の結果に基づき、今後所要の経費を計上していくものです。

「 - 」は、経費を他の事業のなかで計上しているものです。

第1節

未来を担う人づくり

1 家庭教育の充実

- (1) 子どもの手本となる親であるために

2 地域での次代を担う人づくり（地域教育の充実）

- (1) 地域教育の環境づくり
- (2) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

3 多様な保育サービスの提供

- (1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進
- (2) 社会性の基礎を培う集団的保育の推進

4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

- (1) 子どもたちのための学校環境の整備
- (2) 「生きる力」を育む教育の実践
- (3) 特別支援教育の充実
- (4) 開かれた学校づくり

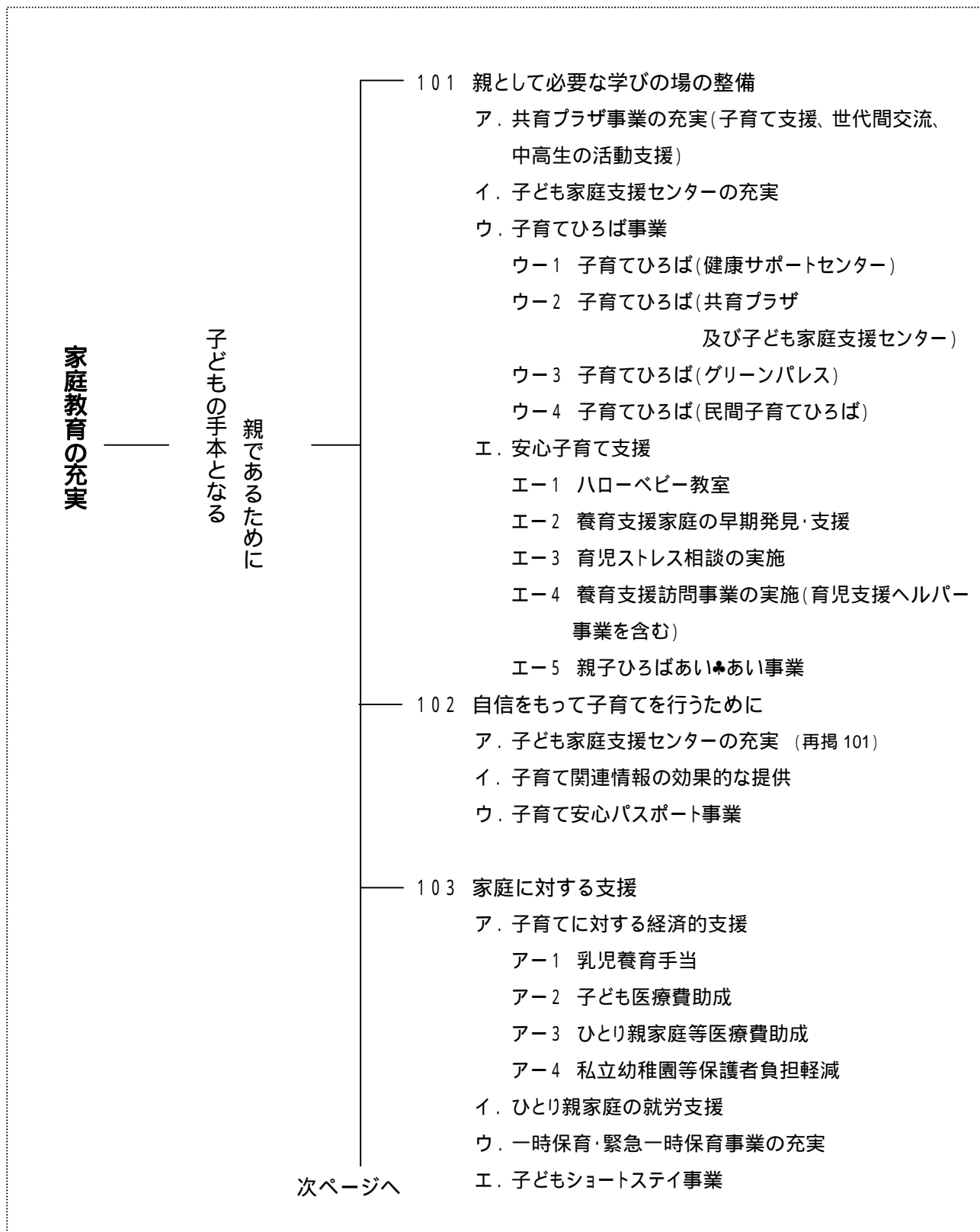
1 家庭教育の充実

【施策の考え方】

家庭は、子どもにとって最も大切な生活の場であり、家庭教育がしっかりしていることが何より大切です。しかし、家族形態、ライフスタイル等が多様化し、時代が大きく変化している今日、親が子育てを行うことはこれまで以上に難しさを増しています。

親が親としての自覚と自信を高めるための学び、子育て相談等に対するニーズに応えていくとともに、働く親が増加するなかで、子育て家庭に対する支援を行っていきます。

【施策体系図】



前ページより

104 ファミリーサポート制度の充実

ア. ファミリーサポート事業

105 地域における子どもの居場所づくり

106 幼児・児童虐待防止体制の充実

ア. 虐待防止のための支援としくみづくり

ア-1 予防事業の充実等

ア-2 養育支援家庭の早期発見・支援(再掲 101)

ア-3 相談支援等の充実

イ. 子ども家庭支援センターの充実 (再掲 101)

(1) 子どもの手本となる親であるために

101 親として必要な学びの場の整備

共育プラザでは、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援及び世代間の交流を推進し、各地域の共育・協働を実践する拠点として一層の充実を図ります。

子ども家庭支援センターでは、先駆型子ども家庭支援センターとして、児童相談所等の専門的な機関との連携を強化し、総合的な相談・支援体制の充実を図るとともに、共育プラザや保育園等と協力して、子育て支援事業を実施していきます。

子育てひろばでは、利用者向けの育児相談や子育て講座などの充実を図り、民間子育てひろばとも連携しながら多くの子育て世代への支援を充実します。

親の育児力を向上させるための育児支援を通じ、育児の孤立化・子育てへの不安を解消します。

父親も積極的に育児や地域の子育て活動に参加できる体制づくりを進めます。その為に、父親が参加しやすい土曜日開催のハローベビー教室(半日学習コース)も継続して開催します。また、妊娠届時、新生児訪問、地域見守り、乳児健診時等から養育支援が必要な家庭を早期に発見し、家庭訪問や個別相談、グループ支援などの早期支援を行います。

区立幼稚園を広くコミュニティの場として提供し、幼稚園が主体的に地域の応援団と協力して子育て事業を推進していきます。

施策コード		101	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援)		運営の充実	同左	同左	
事業費		374,365千円	374,365千円	374,365千円	
子ども家庭支援センター の運営		関係機関との連携強化	同左	同左	
		子育て支援事業の 実施	同左	同左	
事業費		76,559千円	76,559千円	76,559千円	
子育てひろば事業	子育てひろば (健康サポートセンター)	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左	
	事業費	2,566千円	2,570千円	2,570千円	
	子育てひろば (共育プラザ及び 子ども家庭支援センター)	運営の充実	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	子育てひろば事業 (グリーンパレス)	運営の充実	同左	同左	
	事業費	141千円	141千円	141千円	
	子育てひろば事業 (民間子育てひろば)	民間子育てひろばの 助成 1か所	同左	同左	
	事業費	7,500千円	千円	千円	
安心子育て支援	ハローベビー教室	平日コース 土曜日コース 延4,900人	同左	同左	
	事業費	4,479千円	4,480千円	4,480千円	
	養育支援家庭の早期発 見・支援	新生児訪問 妊産婦訪問 3,540人	同左	同左	
		地域子育て見守り 3,600人	同左	同左	
	事業費	26,551千円	27,000千円	27,000千円	
	育児ストレス相談の実施	医師による相談 年12回	同左	同左	
心理相談員による相談 年60回		同左	同左		
事業費	1,260千円	1,260千円	1,260千円		

安心子育て支援	養育支援訪問事業の実施(育児支援ヘルパー事業を含む)	実施	同左	同左
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円
	親子ひろば「あい♣あい事業」	実施	同左	同左
	事業費	26,048千円	26,048千円	26,048千円

地域子育て見守り: 虐待予防を主に、地域の子育て見守り員による新生児の家庭環境を確認する事業。

「-」: 事業費は、共育プラザ事業の充実・子ども家庭支援センターの充実(施策コード101)の中で計上しています。

102 自信をもって子育てを行うために

子ども家庭支援センターは、先駆型子ども家庭支援センターとして、児童相談所等の専門的な機関との連携を強化し、総合的な相談・支援体制の充実を図るとともに、共育プラザや保育園等と協力して、子育て支援事業を実施していきます。

共育プラザ等子育て関連施設の子育て情報コーナーや、区立保育園の子育て情報掲示板を活用して区民へ子育て関連情報を提供します。また、ホームページの充実を図るとともに、子育てガイド等の印刷物を活用することにより、必要な情報を効果的に提供します。

子育て世帯が身近な区立保育園で気軽に育児相談や育児の楽しさを感じられるよう子育て安心パスポート事業を推進します。誰でも気軽に参加できるようにパスポートを発行しながら育児相談、園庭開放、プール開放、保育体験「親子deチャレンジ」、園ごとの「遊びにきませんか」など子育て支援事業に取り組むとともに、共育プラザなど利用促進を図っていきます。

施策コード	102	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
子ども家庭支援センターの運営 再掲101	関係機関との連携強化		同左	同左
	子育て支援事業の実施		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
子育て関連情報の効果的な提供	子育て情報コーナー(共育プラザ等)の活用		同左	同左
	子育て情報掲示板(区立保育園)の活用		同左	同左
	子育てガイドの充実		同左	同左
	区ホームページ等の充実		同左	同左
事業費		1,167千円	1,167千円	1,167千円
子育て安心パスポート事業	区立保育園全園で実施		同左	同左
事業費		千円	千円	千円

「-」: 事業費は、子ども家庭支援センターの充実(施策コード101)の中で計上しています。

103 家庭に対する支援

子育て世代の経済的な負担を軽減するため、乳児養育手当、子ども医療費助成等の各種手当の支給又は助成を実施します。また、ひとり親家庭等に対して医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭等の健康を維持し、福祉の増進を図ります。

幼児教育の大部分を私立幼稚園等に委ねていることから、区立幼稚園との負担格差を解消するための補助制度を継続していきます。

ワークサポートえどがわやマザーズハローワーク等と連携し、ひとり親への積極的な就労支援を行います。また、ひとり親家庭に対し、専門的な職業能力開発に資する自立支援給付金事業を実施することにより、安定した就業の実現と経済的自立の促進を図ります。

病気、出産、就労等の事情で、宿泊を伴う子どもの養育及び保護が必要となる保護者の支援事業として実施します。特に養育困難な家庭に子どもショートステイの利用を働きかけ、虐待を防止し、養育の支援を図ります。

施策コード		103			年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度			
子育てに対する経済的支援	乳児養育手当	5,821人	5,798人	5,775人			
	事業費	908,076千円	904,488千円	900,900千円			
	子ども医療費助成	95,560人	95,182人	94,805人			
	事業費	3,747,825千円	3,747,825千円	3,747,825千円			
	ひとり親家庭等医療費助成	7,306人	7,306人	7,306人			
	事業費	243,568千円	243,568千円	243,568千円			
	私立幼稚園等保護者負担軽減	支援の実施	同左	同左			
	事業費	千円	千円	千円			
ひとり親家庭への就労支援	雇用施策等と連携した就業支援の実施		同左	同左			
	自立支援給付金事業		同左	同左			
事業費	22,110千円	22,110千円	22,110千円				
一時保育・緊急一時保育事業	事業の充実		同左	同左			
事業費	千円	千円	千円				
子どもショートステイ事業	事業の充実		同左	同左			
事業費	9,284千円	9,284千円	9,284千円				

104 ファミリーサポート制度の充実

多様化する依頼内容に対応していくため、協力会員の増強及びサブリーダーの発掘に努め、地域力を活かした子育て支援としてファミリーサポート事業の充実を図ります。

ファミリーサポート制度：育児援助を行いたい人と受けたい人を会員組織化し、援助活動を行うことで子育て世帯への育児を支援する制度。

施策コード	104	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
ファミリーサポート事業	協力会員及びサブリーダーの充実	同左	同左	
事業費	7,104千円	7,104千円	7,104千円	

105 地域における子どもの居場所づくり

地域、学校及び保護者の連携を推進し、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

106 幼児・児童虐待防止体制の充実

子育てに関する講座・講演会及び養育支援訪問事業等の児童虐待予防事業の充実を図るほか、「子どもの保護に関する地域協議会」を中心に関係機関との連携を強化するとともに、おとなりさんボランティアを活用すること等により、地域全体で児童虐待防止活動の一層の推進を図ります。

子どもに関わるあらゆる関係者が連携し、地域を挙げて子育てに取組み、児童虐待を防止します。

施策コード	106	年次計画			
計画事業内容	27年度	28年度	29年度		
虐待防止のための支援としくみづくり	予防事業の充実等	予防事業の充実	同左	同左	
		関係機関との連携強化	同左	同左	
		おとなりさんボランティア養成講座の実施	同左	同左	
	事業費	7,808千円	7,808千円	7,808千円	
	養育支援家庭の早期発見・支援 再掲101	新生児訪問 妊産婦訪問 3,540人	同左	同左	
		地域子育て見守り 3,600人	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	相談支援などの充実	MCG の実施	同左	同左	
		育児ストレス相談 (再掲101)	同左	同左	
		虐待予防検討会の運営 12回	同左	同左	
事業費	480千円	480千円	480千円		
子ども家庭支援センター の運営 再掲101	関係機関との連携強化	同左	同左		
	子育て支援事業の実施	同左	同左		
事業費	— 千円	— 千円	— 千円		

MCG（マザーアンドチャイルドグループ）：児童虐待、育児困難等を抱える母親等がグループに参加し、親子の関係づくり、問題解決等を図る事業。

「-」：事業費は、養育支援家庭の早期発見・支援、子ども家庭支援センターの充実(施策コード101)の中で計上しています。

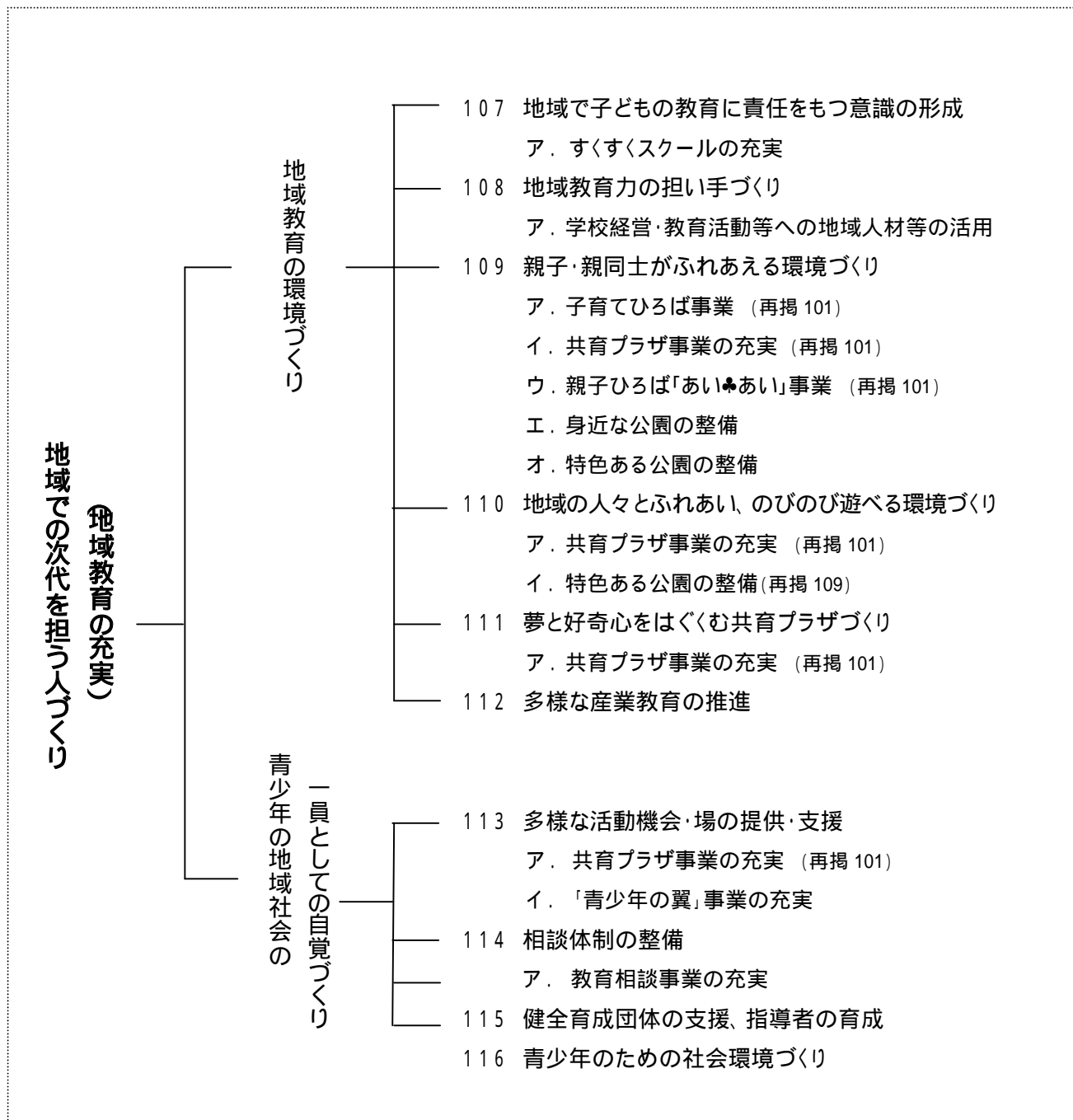
2 地域での次代を担う人づくり(地域教育の充実)

【施策の考え方】

一人ひとりのライフスタイルが一層多様化する中で、子どもたちが地域に愛着をもち、次代の地域社会を担う人材となるよう、地域の人々がともに支えあって教育していくことが大切です。

子ども会活動等への多くの地域ボランティアの関わり、親と子の貴重なふれあいの場となる親水公園等豊かな自然、町会、自治会等のしっかりしたコミュニティの存在、このような子どもを教育していくための恵まれた環境を活かして、次代を担う人づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 地域教育の環境づくり

107 地域で子どもの教育に責任をもつ意識の形成

共育・協働による未来への人づくりを推進するため、平成17年3月に策定した江戸川区次世代育成支援行動計画に基づき、子どもたちの健やかな成長に努めます。また、学校適正配置の方針に基づき、年少人口の減少に適切に対応していきます。

施策コード	107	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
すくすくスクールの充実		地域・学校との連携強化	同左	同左
事業費		836,485千円	836,485千円	836,485千円

108 地域教育力の担い手づくり

地域住民が積極的に学校支援活動に参加し、地域の資源・人材の活用により、学校を支援することで、学校の教育活動をより効果的に推進します。また、地域住民と児童生徒との異世代交流を通して、地域の教育力の向上を図ります。

施策コード	108	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
学校経営・教育活動等への 地域人材等の活用		学校応援団の充実 区立全小中学校	同左	同左
事業費		9,314千円	9,314千円	9,314千円

109 親子・親同士がふれあえる環境づくり

子育てひろばにおける育児相談、子育て講座等を実施するとともに、父親も積極的に育児や地域の子育て活動に参加できる体制づくりを進めていきます。また、区立幼稚園を広くコミュニティの場として提供し、幼稚園が主体的に地域の応援団と協力して子育て事業を推進していきます。

施策コード		109	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
子育てひろば事業	子育てひろば (健康サポートセンター) 再掲101	育児相談等 常設 6か所 定期 2か所	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	子育てひろば (共育プラザ及び 子ども家庭支援センター) 再掲101	運営の充実	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	子育てひろば (グリーンパレス) 再掲101	運営の充実	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	子育てひろば (民間子育てひろば) 再掲101	民間ひろばの助成 1か所	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲101	運営の充実	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	親子ひろば「あい♣あい」事業 再掲101	実施	同左	同左	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
	身近な公園の整備	2箇所	1箇所	同左	
	事業費	660,000千円	330,000千円	330,000千円	
特色ある公園の整備	1箇所	同左	同左		
事業費	50,000千円	50,000千円	50,000千円		

「-」:事業費は、子育てひろば事業、共育プラザ事業の充実、親子ひろば「あい♣あい」事業(施策コード101)の中で計上しています。

110 地域の人々とふれあい、のびのび遊べる環境づくり

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援等を行うとともに、世代間交流を通じて次代の親としての学びの場づくりの一層の充実を図ります。

また、花や緑あふれ、自然とふれあえる公園、農地を活用した公園、様々な世代が自由に遊べる公園等、特色のある様々な公園を各地域に整備していきます。

施策コード	110	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲101		運営の充実	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
特色ある公園の整備 再掲109		1箇所	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード101)、特色ある公園の整備(施策コード109)の中で計上しています。

111 夢と好奇心をはぐくむ共育プラザづくり

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援、乳幼児の保護者の子育て支援等を行うとともに、世代間の交流を通じた次代の親としての学びの場づくりの一層の充実を図ります。

施策コード	111	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲101		運営の充実	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード101)の中で計上しています。

112 多様な産業教育の推進

区内外の企業(主に製造業)を一堂に集め、展示実演等により優れた製品、技術力を企業並びに区民に広く紹介する産業ときめきフェアにおいて、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育を推進します。

施策コード	112	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
産業ときめきフェアの充実		実施	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、産業ときめきフェアの充実(施策コード601)の中で計上しています。

(2) 青少年の地域社会の一員としての自覚づくり

113 多様な活動機会・場の提供・支援

各地域の共育・協働を実践する拠点である共育プラザにおいて、中高生の活動支援等を行うとともに、世代間交流を通じた次代を担う青少年の健全な育成を促進します。

青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイや文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。また、青少年の翼に参加した団員が、その後も地域等でさらに活躍できるよう支援します。

施策コード	113	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
共育プラザ事業の充実 (子育て支援、世代間交流、 中高生の活動支援) 再掲101	運営の充実	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	
「青少年の翼」事業の充実	派遣先 5か国 派遣人数 100人	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、共育プラザ事業の充実(施策コード101)、「青少年の翼」事業の充実(施策コード221)の中で計上しています。

114 相談体制の整備

ユースワーカー、大学生等が青少年の日常的な悩みの相談相手となるようなしくみを整えるとともに、教育研究所等の活用を図ります。

ユースワーカー:比較的青少年に近い年齢で、ある程度の専門性を持ち、青少年活動の支援を通じて青少年に社会活動のきっかけを与える人

教育研究所:教育課題に対する調査研究、児童・生徒等を対象とした各種相談機関

施策コード	114	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
教育相談事業の充実	相談室4ヶ所	同左	同左	
事業費	11,679千円	11,679千円	11,679千円	

115 健全育成団体の支援、指導者の育成

地区委員会、子ども会等の健全育成団体を支援するとともに、ジュニアリーダー、ユースワーカー等の指導者を育成します。

ジュニアリーダー:子ども会の中で、レクリエーションの指導、行事の企画立案運営の援助等をする中高校生。

116 青少年のための社会環境づくり

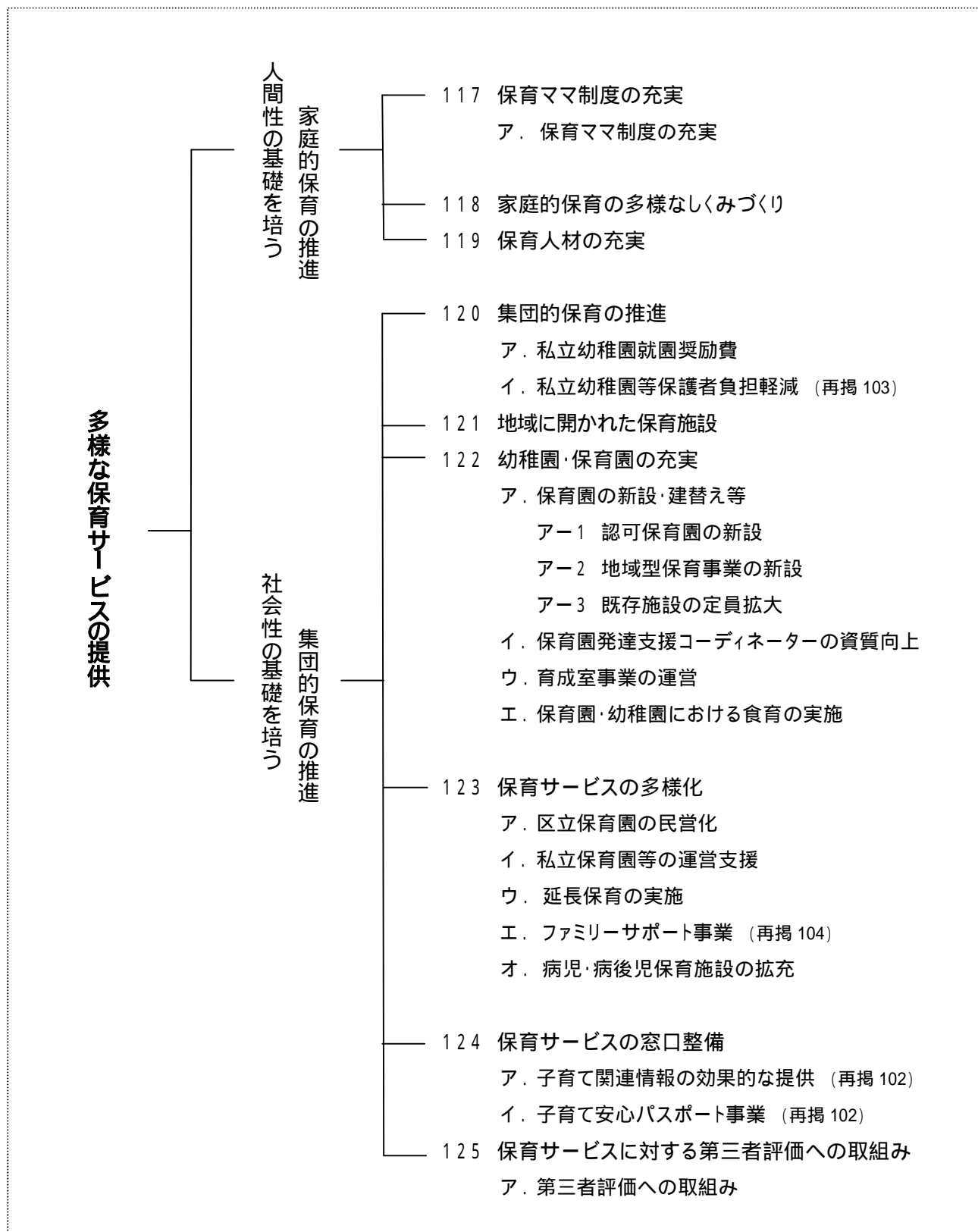
家庭、学校、地域社会、健全育成団体等が連携し、青少年のための健全な社会環境づくりを進めます。

3 多様な保育サービスの提供

【施策の考え方】

区では、0～2歳児の低年齢期は家庭で保育する世帯が多く、3～5歳児の幼年期はその9割以上が集団保育です。低年齢児保育へのニーズ、女性の就労の増加等に伴う長時間保育に対する期待等、様々な保育需要に柔軟に対応するために、多様な保育サービスが提供できるしくみづくりに取り組めます。

【施策体系図】



(1) 人間性の基礎を培う家庭的保育の推進

117 保育ママ制度の充実

0歳児保育の区民ニーズを見極めながら、ぬくもりと愛情あふれる家庭的保育の「保育ママ制度」を区独自事業として、維持・充実させていきます。

保育ママの人材確保、研修や巡回指導による保育ママへのサポート体制を強化し、資質向上に努め、「安全・安心な保育」を推進していきます。

施策コード	117	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
保育ママ制度		制度の充実	同左	同左
事業費		486,102千円	486,102千円	486,102千円

118 家庭的保育の多様なしくみづくり

ファミリーサポート協力会員が、共育プラザの子育てひろばにおいて、一時預かりを行う子育てサポートひろば事業を実施する等の地域力を活かした子育て支援を推進します。

119 保育人材の充実

地域の保育人材を発掘し、その積極的な活用を図ります。

(2) 社会性の基礎を培う集団的保育の推進

120 集団的保育の推進

人間形成のために重要な幼児期の教育を推進していくため、子どもの就園を奨励するための支援を継続していきます。

施策コード	120	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
私立幼稚園就園奨励費		実施	同左	同左
事業費		千円	千円	千円
私立幼稚園等 保護者負担軽減 再掲103		支援の実施	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、私立幼稚園等保護者負担軽減(施策コード103)の中で計上しています。

121 地域に開かれた保育施設

地域に開かれた、安全な保育施設の整備に努めます。

122 幼稚園・保育園の充実

既存の認可保育園の低年齢児を中心とした定員拡大や分園設置を誘導し、小規模保育事業や事業所内保育事業などの地域型保育事業を推進します。

区立保育園において、発達に課題を抱える子どもへの理解を深め、保護者への適切な対応や支援を行うことができるよう、保育士から育成した発達支援コーディネーターを対象にステップアップ研修等を実施し、さらなる資質の向上を図ります。また、関係機関との連携強化も推進していきます。

育成室は、集団療育、個別療育(理学、言語、作業療法の機能訓練)、相談等を実施し、障害児の成長を支援していきます。また、臨床発達心理士や保育士による相談、講座、講演会等を行い、家族への支援を図っていきます。

保育園や幼稚園では、食を営む力の育成に向けその基礎を培うため食育を実施します。また、家庭での食に関する生活力の低下が危惧されることから、家庭での食育への理解がすすむよう保育園・幼稚園での取組みや普及啓発を行います。

施策コード		122			年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度			
保育園の新設 建替え等	認可保育園の新設	準備	3施設	検討			
	地域型保育事業の新設	1施設	7施設	6施設			
	既存施設の定員拡大	2施設	推進	同左			
事業費		624,500千円	千円	千円			
保育園発達支援コーディネーターの資質の向上		資質の向上 関係機関との連携強化	同左	同左			
事業費		33千円	33千円	33千円			
育成室の運営		療育の充実 発達相談の充実 育成室新設準備	同左	同左			
事業費		211,110千円	211,110千円	千円			
保育園・幼稚園における食育の実施		普及・啓発	同左	同左			
事業費		千円	千円	千円			

123 保育サービスの多様化

保育サービスに関する多様な需要に柔軟に対応するために、区内の私立幼稚園及び私立保育園で構成する社会福祉法人えどがわによる保育園運営を行い、区立保育園の民営化の促進を図ります。また、私立保育園、認定こども園、認証保育所、認定保育室、地域型保育事業について、各園の特長を活かした保育の充実を図ります。併せて、地域の需要を見極めつつ、延長保育の実施及び病児・病後児保育施設の設置を支援し、多様な保育サービスの整備に努めます。

認定こども園：幼稚園、保育所等のうち、東京都が認めた、就学前の教育・保育を一体として捉え一貫して提供する施設。

認証保育所：大都市特有のニーズに対応するため、東京都が独自基準により認証した保育所。

地域型保育事業：小規模保育事業、事業所内保育事業等

施策コード	123	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
区立保育園の民営化		2園	1園	計画実施
事業費		千円	千円	千円
私立保育園等の運営支援	保育内容の充実		同左	同左
事業費		9,550,672千円	千円	千円
延長保育の実施	充実		同左	同左
事業費		千円	千円	千円
ファミリーサポート事業 再掲104	協力会員及びサブリーダー等の充実		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
病児・病後児保育施設の 拡充		5か所	6か所	6か所
事業費		40,000千円	千円	千円

「-」：事業費は、ファミリーサポート事業(施策コード104)の中で計上しています。

124 保育サービスの窓口整備

子育て情報コーナー及び子育て情報掲示板の活用、子育てガイド等の活用、区ホームページの充実等を図ることにより、子育てに関する情報を効果的に提供するしくみを構築するとともに、子育て安心パスポート事業の推進を図り、子育て支援に係る事業の利用促進等に一層努めます。

施策コード	124	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
子育て関連情報の効果的な提供 再掲102	子育て情報コーナー(共育プラザ等)の活用		同左	同左
	子育て情報掲示板(区立保育園)の活用		同左	同左
	子育てガイドの充実		同左	同左
	区ホームページ等の充実		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
子育て安心パスポート事業 再掲102	区立保育園全園で実施		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、子育て関連情報の効果的な提供(施策コード102)、子育て安心パスポート事業(施策コード102)の中で計上しています。

125 保育サービスに対する第三者評価 への取組み

保育施設に対する公正中立な機関による評価実施の啓発に努め、施設におけるサービスの質の向上に繋がっていきます。

第三者評価:事業者の提供するサービスの質を公的に認められた第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価すること。

施策コード	125	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
第三者評価への取組み	普及・啓発・実施		同左	同左
事業費		17,644千円	千円	千円

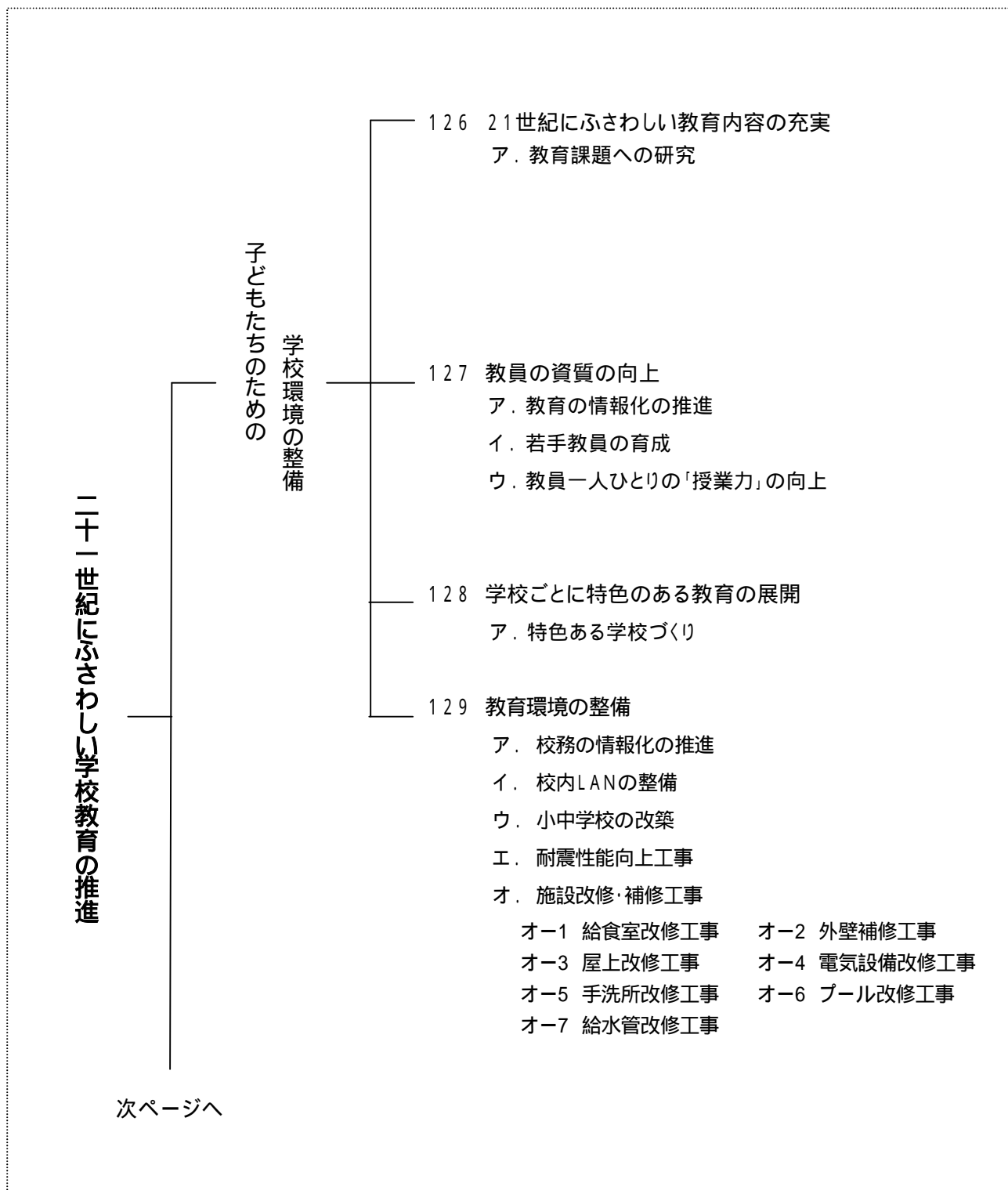
4 21世紀にふさわしい学校教育の推進

【施策の考え方】

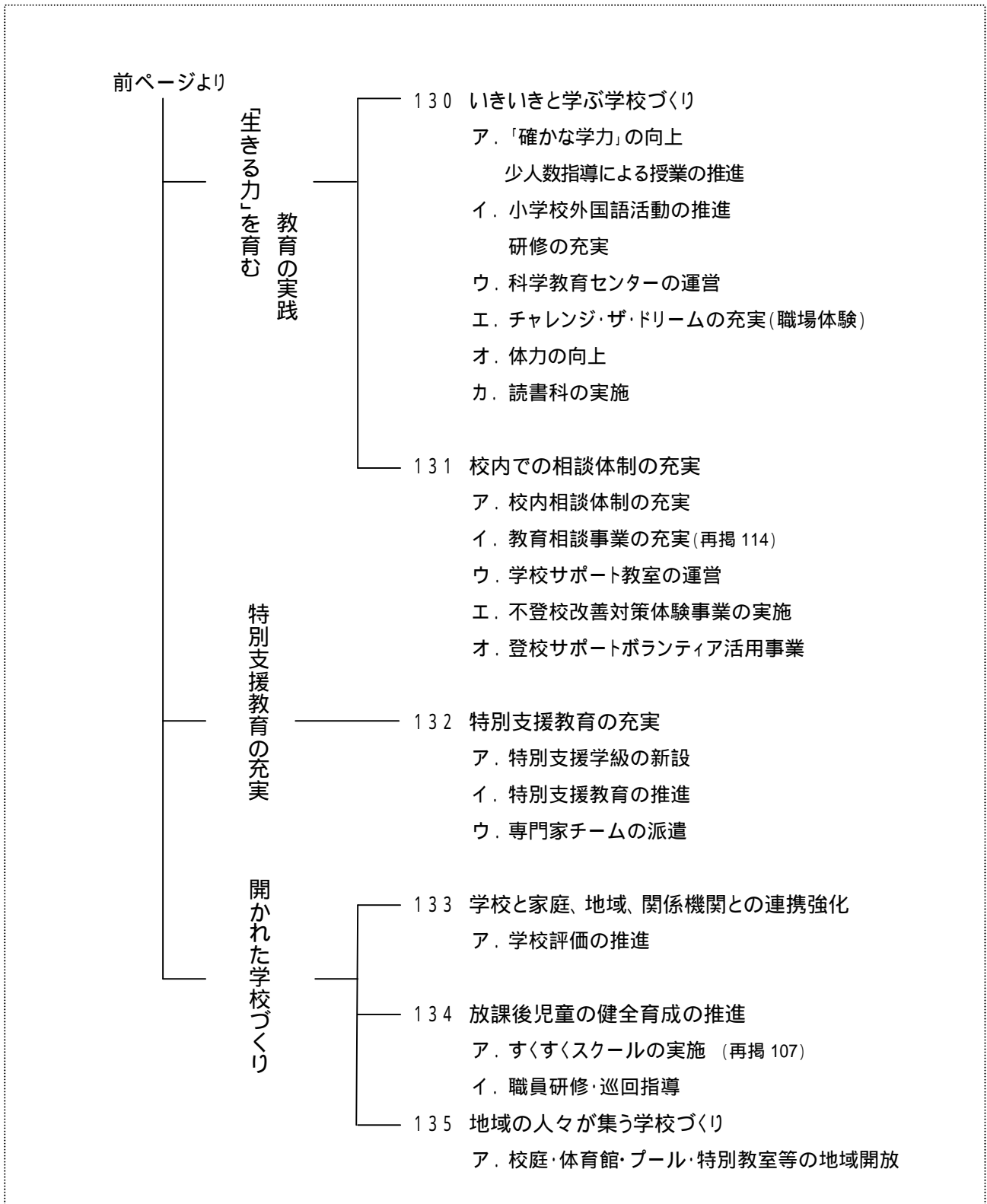
次代を担っていく子どもたちが、未来への夢や目標を抱き、創造的で活力ある社会をめざして果敢に取組み、世界の中で信頼される人間として成長するように21世紀にふさわしい学校教育を推進します。

このため、時代の変化に対応できる教育の展開、特色ある学校づくり、基礎学力の向上をめざした先進的取組み、校内での相談体制の充実等による笑顔で通える学校づくり、学校と家庭、地域、関係機関との連携強化、子どもの居場所づくり等による開かれた学校づくりを進めます。

【施策体系図】



次ページへ



(1)子どもたちのための学校環境の整備

126 21世紀にふさわしい教育内容の充実

区の重点的な教育課題について、研究項目(各教科等における指導法の充実、個別の教育課題への取り組み、特別支援教育の充実等)を指定して研究を行い、普及・啓発を図ります。

施策コード	126	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
教育課題への対応	研究奨励校の指定 教育課題実践推進校の 指定	教育課程実践推進校 の指定	同左	
事業費	2,800千円	2,800千円	2,800千円	

127 教員の資質の向上

第二次江戸川区学校教育情報化推進計画に基づき、教員や児童生徒によるICTの積極的かつ効果的な活用を推進し、「わかる授業」や「確かな学力の向上」に取組み、教育の質を向上させます。また、特別支援学級のICTの環境を整備し、各障害及び各学習の特性に合ったICTを活用することで学習の意欲を高めます。

「東京都若手教員育成研修」として1年次（初任者）～3年次の3年間を通じた研修内容の充実に努めるとともに、各校のOJTの推進を図ります。また、教員の職層に応じた研修や本区の教育課題を踏まえた研修を行い、教員の指導力の向上に努めます。

施策コード	127	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
教育の情報化の推進	「教育の情報化」 推進委員会の運営	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
若手教員の育成	1～3年次研修の 体系化	同左	同左	
事業費	965千円	965千円	965千円	
教員一人ひとりの 「指導力」の向上	教員の職層に応じた 研修内容の充実	同左	同左	
	教育課題に対応した 研修内容の充実	同左	同左	
事業費	2,380千円	2,380千円	2,380千円	

128 学校ごとに特色のある教育の展開

総合的な学習の時間をはじめ、クラブ・部活動、学校行事の他、ボランティア活動等、各学校の創意ある教育活動を推進します。

施策コード	128	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
特色ある学校づくり	総合的な学習時間充実	同左	同左	
	ボランティア活動の推進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

129 教育環境の整備

平成26年9月に策定した第二次江戸川区学校教育情報化推進計画に基づき、1人1台の校務用パソコンを

活用して児童生徒及び教員間の情報を共有し、更なる校務の効率化を図り教育の質を向上させます。さらに学校ホームページや連絡メール配信システムなどICTを効果的に活用し、家庭・地域との連携を強化することで、開かれた学校づくりを推進します。また、すべての教科において児童生徒と教員が、安全かつ気軽に、日常的にICTを利用できる環境を整備し、1人1台の情報端末時代に向けたICT環境のあり方に関する研究・検討を進めていきます。

老朽化の進んでいる学校施設の改築を実施し、安全・安心な施設整備を行います。また、改築に際しては、環境に配慮した学校づくりを進めるとともに、実情にあわせて地域のニーズに配慮した施設整備を行っていきます。なお、年次計画については、建設業界等の動向も注視しながら、改築時期を見極めていきます。また、26年度まで計画事業にあった学校緑化については、改築時に今後も検討していきます。

施策コード		129			年次計画		
計画事業内容		27年度		28年度		29年度	
校務の情報化の推進		区立全小中学校		同左		同左	
事業費		352,047千円		344,000千円		340,000千円	
校内LANの整備		区立全小中学校		同左		同左	
事業費		438,870千円		450,000千円		460,000千円	
小中学校の改築		改築工事 2校		改築工事 3校		改築工事 1校	
事業費		3,712,000千円		5,213,000千円		2,000,000千円	
耐震性能向上工事		小学校 5校					
事業費		424,000千円		千円		千円	
施設改修補修工事	給食室改修工事	小学校 1校		中学校 1校		小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	107,741千円		108,000千円		216,000千円	
	外壁補修工事	小学校 4校 中学校 1校		小学校 2校 中学校 2校		小学校 3校 中学校 1校	
	事業費	355,147千円		284,000千円		284,000千円	
	屋上改修工事	小学校 1校 中学校 1校		小学校 1校 中学校 1校		小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	115,174千円		116,000千円		116,000千円	
	電気設備改修工事	中学校 2校		小学校 1校 中学校 1校		小学校 2校	
	事業費	60,000千円		60,000千円		60,000千円	
	手洗所改修工事	小学校 2校		小学校 3校 中学校 3校		小学校 2校 中学校 4校	
	事業費	132,192千円		396,000千円		396,000千円	
	プール改修工事	小学校 2校		小学校 1校 中学校 1校		小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	190,080千円		190,000千円		190,000千円	
	給水管改修工事	中学校 4校		小学校 1校 中学校 3校		小学校 1校 中学校 1校	
	事業費	104,298千円		264,000千円		132,000千円	

(2)「生きる力」を育む教育の実践

130 いきいきと学ぶ学校づくり

「全国学力・学習状況調査」や「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を各校で分析し、自校の「確かな学力向上推進プラン」において改善策を公表していきます。また、東京都教育委員会の指導方法工夫改善加配を活用して、小学校（算）、中学校（数、英）の少人数によるきめの細かい指導の充実を図り、学力向上を図ります。

国の動向を見据え、小学校3、4年生等への導入も視野に入れ、ALTの活用計画を立案するとともに、教員の指導力向上のための研修や資料等の充実をさせていきます。

チャレンジ・ザ・ドリームは、ここ数年、協力事業所が、1,600～1,700事業所で定着しつつあり、今後も学校、協力事業所各団体の意見等を反映させ、課題を明らかにして改善に取り組んでいきます。

児童・生徒の体力や生活リズムの実態を把握し、学校教育活動全体を通じた体育・健康教育を推進するとともに、体力の向上を図ります。

平成26年度に完全実施となった読書科について、指導方法や評価等、更なる充実を図ります。

ALT:外国人英語科指導助手

施策コード	130	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
「確かな学力」の向上	各学校独自の「確かな学力向上推進プラン」を策定		同左	同左
	「全国学力・学習状況調査」全校実施		同左	同左
	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」全校実施		同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
少人数指導による授業の推進	小学校 算数 中学校 数学、英語		同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
小学校外国語活動の推進	国の動向を踏まえたALTの設置計画の立案		国の動向を踏まえたALTの設置	ALTの設置調整
研修の充実	英語教育推進リーダーを活用した研修の実施		同左	同左
事業費	70,036千円	千円	千円	千円
科学教育センター	小学校 9センター 中学校 5センター		同左	同左
	科学教育センター推進委員会の運営		同左	同左
事業費	20,258千円	20,258千円	20,258千円	20,258千円

チャレンジ・ザ・ドリームの充実(職場体験)	実施及び検討	同左	同左
事業費	4,177千円	4,177千円	4,177千円
体力の向上	体力テストの全校実施	同左	同左
	生活リズム向上校公開座の全校実施	同左	同左
	体力向上委員会の運営	同左	同左
	オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定	同左	同左
事業費	7,500千円	7,500千円	7,500千円
読書科の実施	読書活動指導法研修	同左	同左
	学校図書館司書教諭研修	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

131 校内での相談体制の充実

平成25年度より都費のスクールカウンセラーが全校配置されており、今後は、緊急時等の派遣について、教育研究所の心理士を活用し、きめの細かい相談体制を維持していきます。

いじめや不登校、発達等の様々な問題に対して、児童・生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導等を行うため、スクールカウンセラーと連携しつつ、校内の相談体制の整備を図ります。併せて、関係機関との連携を深め、教育研究所の機能を充実させます。

また、学校サポート教室において、不登校の児童・生徒に対して、基礎学力の向上、生活リズムの定着及びコミュニケーション能力を高める指導を行うとともに、学校及び家庭との協力を得ながら、子どもたちの学校復帰を支援します。併せて、地域ボランティアの協力を得ながら、不登校の傾向にある子どもたちの自主・自律性の向上を支援するとともに、登校サポートボランティアを学校に派遣し、不登校の解消へつなげていきます。

スクールカウンセラー：学校において児童・生徒の悩みの相談に応じる等教員の児童・生徒理解について指導・助言を行う人。

登校サポートボランティア：登校はできても教室へ入ることのできない児童・生徒や付添いの支援があれば登校できる児童・生徒への登校支援を行うボランティア。

施策コード	131	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
校内相談体制の充実		スクールカウンセラーの配置（小・中学校全校派遣）	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
教育相談事業の充実 再掲114		相談室4ヶ所	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
学校サポート教室の運営		6ヶ所	同左	同左
事業費		6,966千円	6,966千円	6,966千円
不登校改善対策体験事業の実施		10事業	検討・実施	同左
事業費		1,562千円	1,562千円	1,562千円
登校サポートボランティア活用事業		実施	同左	同左
事業費		6,613千円	6,613千円	6,613千円

「-」：事業費は、教育相談事業の充実(施策コード114)の中で計上しています。

(3) 特別支援教育の充実

132 特別支援教育の充実

児童・生徒数の増加に伴い、必要に応じて特別支援学級を設置していきます。また、個々の児童・生徒の障害に応じた教育活動を推進するために、研究校を指定して、区の特別支援教育をレベルアップしていきます。さらに、専門研修では、都立特別支援学校との連携を図り、内容の充実を図ります。

通常学級に在籍している発達障害のある児童生徒は年々増加しています。その子ども達への望ましい教育

的対応について専門家から意見の提示や助言を受けることで個々の児童生徒への支援につながっており、これからも新たな専門家の確保に努めながら事業を展開していきます。

特別支援教育：障害のある幼児児童生徒の自立、社会参加に向けた主体的な取組等を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活及び学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

施策コード	132	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
特別支援学級の新設	春江小学校(知的) 東葛西小学校(情緒) 小岩第五中学校(知的)	新田小学校(知的) 小学校(言語) 対象校は未定		
事業費	17,989千円	7,173千円	千円	
特別支援教育の推進	エンカレッジルーム の設置	エンカレッジルームを 活用した教育の充実	同左	
	特別支援教育研修	同左	同左	
	専門研修の実施	同左	同左	
事業費	2,130千円	2,130千円	2,130千円	
専門家チームの派遣	推進	同左	同左	
事業費	1,066千円	1,066千円	1,066千円	

(4)開かれた学校づくり

133 学校と家庭、地域、関係機関との連携強化

適切な学校評価に基づいた、学校経営が推進できるよう、学校関係者への理解啓発及び学校評価の改善に努めます。

施策コード	133	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
学校評価の推進	学校関係者評価委員 による学校評価の 実施	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

134 放課後児童の健全育成の推進

共育・協働による未来への人づくりを推進するため、平成17年3月に策定した江戸川区次世代育成支援行動計画に基づき、子どもたちの健やかな成長に努める。また、学校適正配置の方針に基づき、年少人口の減少に適切に対応していく。

さらに、配慮を要する児童への適切な対応を行うため臨床心理士を派遣し、職員のスキルアップを図るとともに、すくすくスクールの運営を適切に行います。

施策コード	134	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
すくすくスクールの充実 再掲107		地域・学校との連携強化	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
職員研修・巡回指導		実施(10校・3回)	同左	同左
事業費		624千円	624千円	624千円

「-」:事業費は、すくすくスクールの充実(施策コード107)の中で計上しています。

135 地域の人々が集う学校づくり

区立幼稚園・小学校・中学校の施設を学校教育に支障がない範囲内において、広く区民に開放し、健康・体力の維持及び増進、また文化的教育活動の高揚に努め、区民相互の親睦を図るとともに、区民の利便に供します。

施策コード	135	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
校庭・体育館・プール・特別 教室などの地域開放		小学校73校 中学校33校	小学校71校 中学校33校	同左
事業費		45,354千円	44,500千円	44,500千円

第2節

学びと協働による 区民文化づくり

- 1 人生を豊かにする生涯学習
 - (1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供
 - (2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用
- 2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動
 - (1)ボランティア立区の推進
 - (2)時代にふさわしいコミュニティの形成
- 3 創造性豊かな江戸川文化
 - (1)「江戸川文化」の創造
- 4 男女共同参画社会の推進
 - (1)性別に関係しない機会平等の社会づくり
- 5 世界の人々との交流と共生
 - (1)「地球人」の意識づくり
 - (2)世界からの人々が共生する地域社会の構築
 - (3)世界平和のためのまちづくり
- 6 安心できる消費生活
 - (1)安心できる消費生活への支援
 - (2)参加型消費者の支援

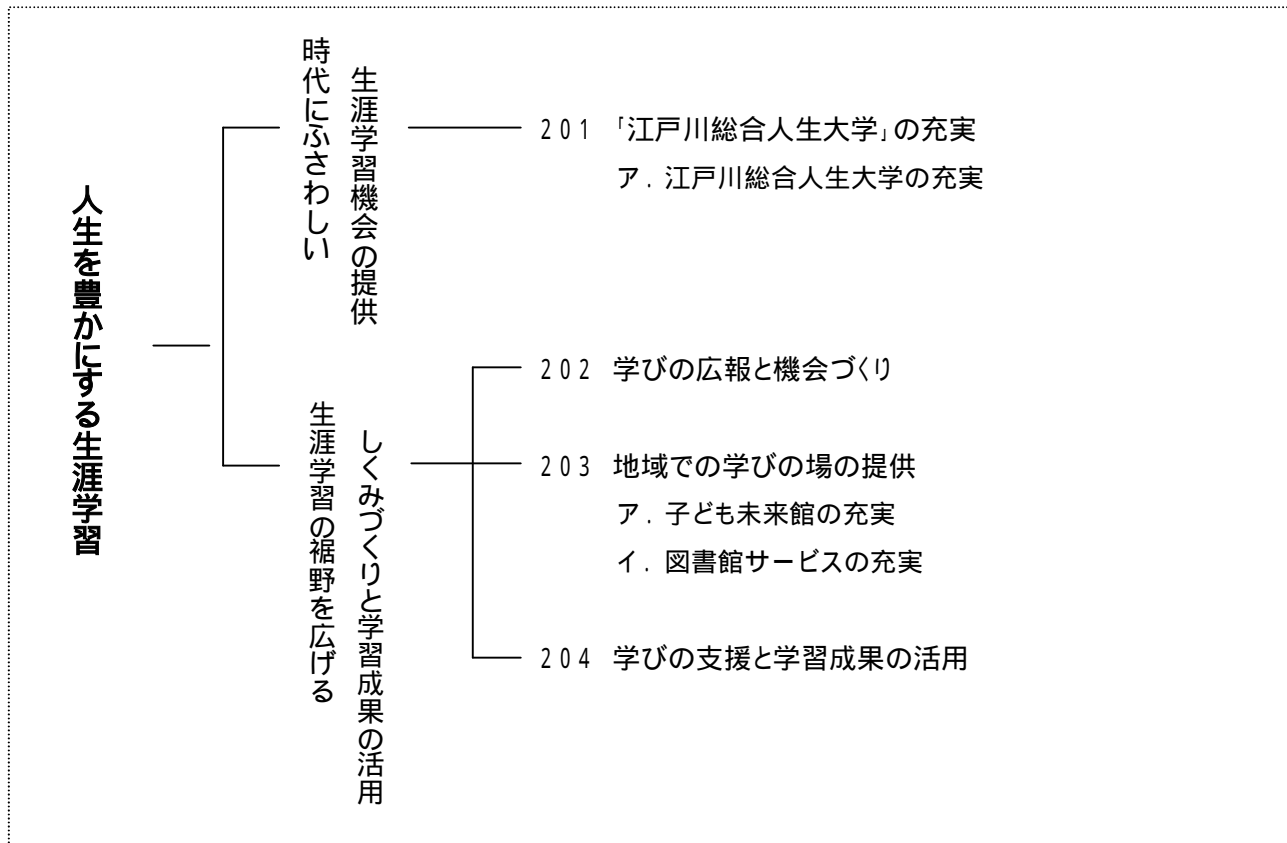
1 人生を豊かにする生涯学習

【施策の考え方】

豊かな人生とより良い地域社会を目指し、多くの区民が実りある生涯学習に取り組めるように、様々な学習の場及び機会を提供します。

また、情報の提供、相談サービス、図書館等の施設の充実等、区民の自主的な学習活動を支援するための環境づくりを行います。さらに、学習する人々の励みにもなり、地域の教育力の向上、活性化等にも繋がるよう、学習によって得られた知識、技術、経験等を活かして地域社会に寄与できるよう支援します。

【施策体系図】



(1)時代にふさわしい生涯学習機会の提供

201 「江戸川総合人生大学」の充実

開学から10年を迎え、共育・協働の場として、地域での実践に向けたより実効性の高い内容にするために、時代や社会状況の変化にあわせ、カリキュラム等の検討を行います。また、大学での学びと実践をとおして、自分らしい地域貢献を見つけるためにより効果的に学べるカリキュラム等の充実を図ります。

施策コード	201	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		カリキュラム等の検討	カリキュラム等の充実	同左
江戸川総合人生大学の充実		カリキュラム等の検討	カリキュラム等の充実	同左
事業費		43,167千円	43,167千円	43,167千円

(2)生涯学習の裾野を広げるしくみづくりと学習成果の活用

202 学びの広報と機会づくり

一人でも多くの区民が生涯学習に参加できるように、情報技術等の活用を図り、総合人生大学、国、都、民間機関等が実施する講座等を紹介します。また、気軽に学びを体験できる機会の提供に努めます。さらに、生涯学習の裾野を広げるために、実際に学んでいる人が、学びの楽しさ、充実感等を周囲の人に伝えられるよう、その促進を図ります。

203 地域での学びの場の提供

子ども未来館では、ゼミを中心とした半年から通年のプログラムを実施し、子どもの継続的な学び活動を進めます。また、地域の人材に加え大学や企業、研究機関等と積極的に連携し、学校では学びにくい分野の探究型プログラムを開発、実施します。さらに、篠崎子ども図書館との一体的運営により、平日プログラムの充実を図ります。

また、時代のニーズに対応した図書資料の充実を努め、区民の様々な情報収集の要求に応えられるよう、高度なレファレンスサービスを提供します。

施策コード	203	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		プログラムの充実	同左	同左
子ども未来館の充実		プログラムの充実	同左	同左
事業費		47,551千円	47,551千円	47,551千円
図書館サービスの充実		図書館資料の充実	同左	同左
事業費		210,922千円	210,922千円	210,922千円

204 学びの支援と学習成果の活用

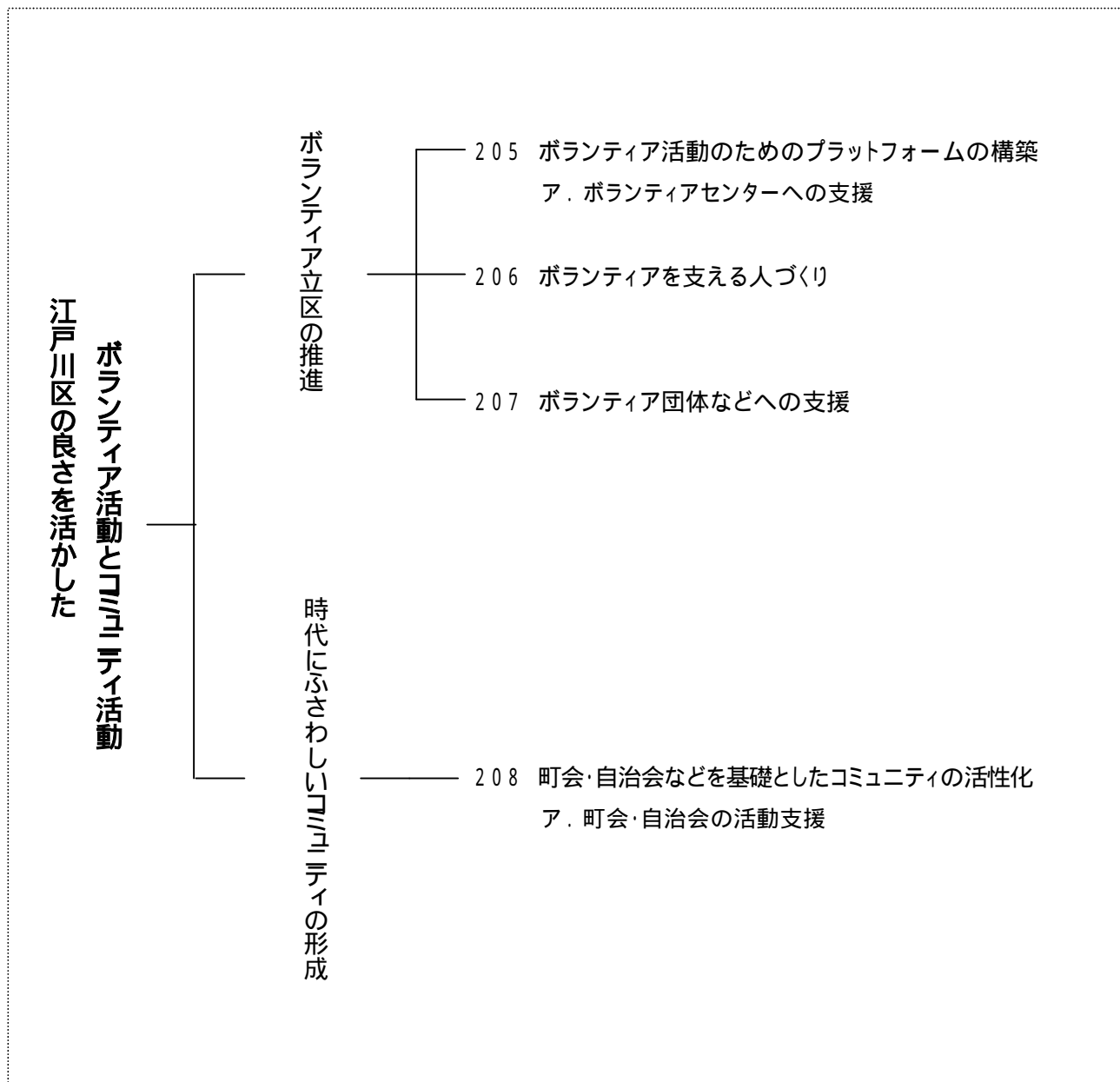
総合人生大学等における学びを契機とした区民の自発的な学習を促進するため、学習サークルを育成し、学習サークル間の連携を促進する等の、学びのネットワークづくりを支援します。また、一定の学びの成果を得た区民が、その成果を発表する場、他の区民に教える機会等の整備に努めます。

2 江戸川区の良さを活かしたボランティア活動とコミュニティ活動

【施策の考え方】

地域社会において、区民の自主的な取組みを必要とする新たな課題が生じています。このため、区民一人ひとりがボランティアとして、活躍できるようなしくみづくりを行い、自立性の高い、思いやりと支えあいのある、豊かなコミュニティをつくります。また、町会・自治会を基礎としつつ、テーマコミュニティ等、様々なコミュニティが自主的に活発に活動できるような環境を整えます。

【施策体系図】



(1) ボランティア立区の推進

205 ボランティア活動のためのプラットフォームの構築

ボランティア活動の自主性、自立性の更なる向上を推進するため、民間活力である「公益財団法人えどがわボランティアセンター（以下、えどがわボランティアセンターと表記）」への支援を行います。また、えどがわボランティアセンターと連携し、ボランティア団体間の交流促進、災害時の活動拠点整備等を機動的・広域的に実施していきます。

プラットフォーム：様々なボランティア活動を支える共通の土台。

施策コード	205	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
公益財団法人えどがわボランティアセンターへの支援	活動支援	同左	同左	
事業費	28,668千円	29,000千円	29,200千円	

事業費には、各ボランティア団体への活動費助成、各種講座等経費を含みます。

206 ボランティアを支える人づくり

えどがわボランティアセンターと実行委員会が共催でボランティアフェスティバルを開催し、ボランティアの普及・ネットワークづくりに努めます。また、ボランティア活動を支える知識や技能習得の機会を提供するため、えどがわボランティアセンターによる各種ボランティア養成講座や出前ボランティア体験事業等を支援し、人材育成に努めます。

207 ボランティア団体などへの支援

ボランティア活動室の提供やボランティア保険の加入促進等を通じて、区民が安心・安全にボランティア活動を行うことができる環境づくりに努めます。

(2)時代にふさわしいコミュニティの形成

208 町会・自治会などを基礎としたコミュニティの活性化

地域コミュニティの更なる向上に向け、町会・自治会等の地域団体による活動が活発に行われるように環境づくりを行います。安全で安心して暮らしていけるよう地域住民による地域防災力の向上など区民の自主的な取り組みを側面から支援していきます。

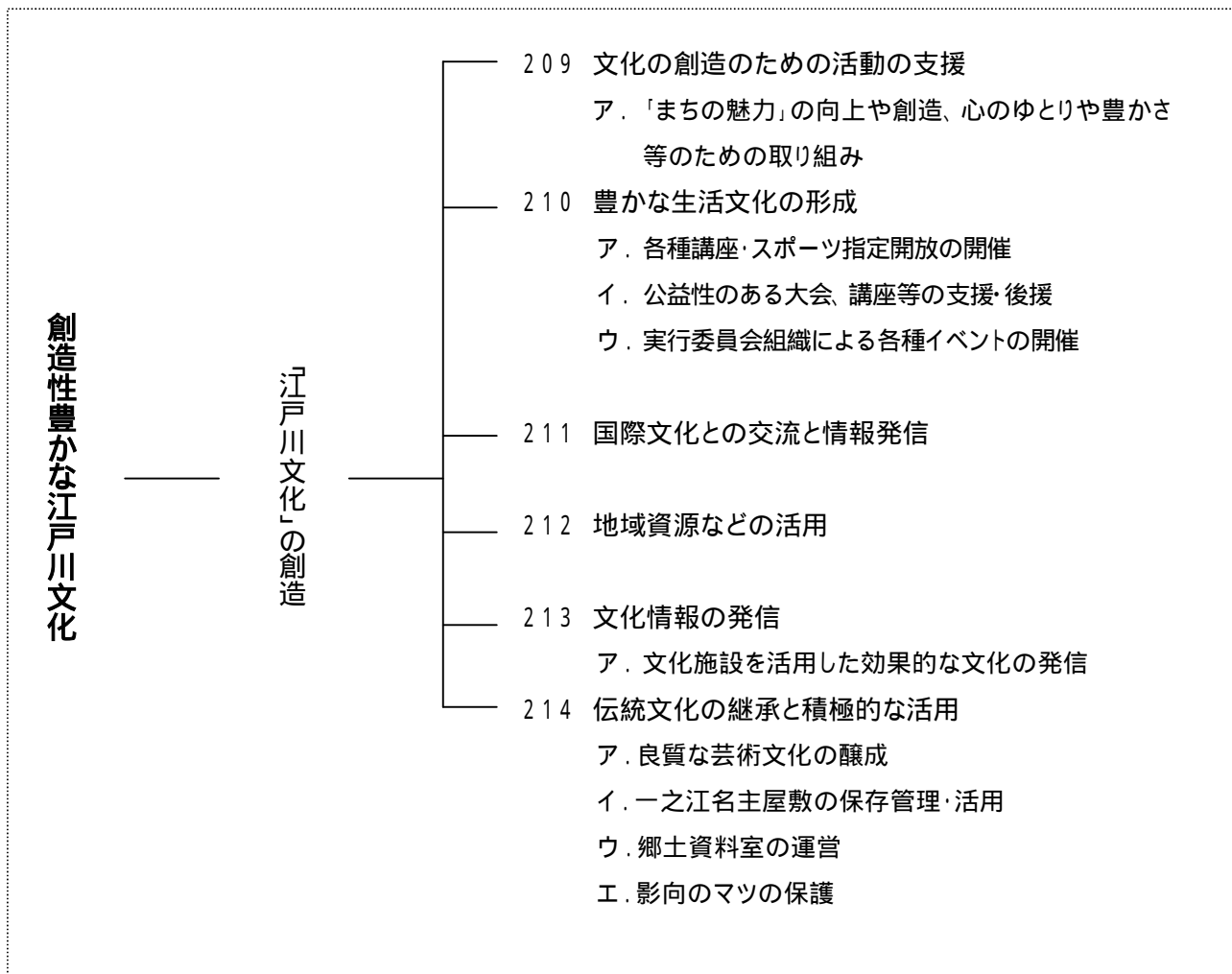
施策コード	208	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
町会・自治会の活動支援	活動支援	同左	同左	
事業費	158,283千円	158,283千円	158,283千円	

3 創造性豊かな江戸川文化

【施策の考え方】

区は、都心から至近な位置にありながら、水と緑に恵まれ、地域の中で住み、働き、学び、憩うことができる等、うるおいと楽しさのある魅力的な都市として発展しています。このような中で、文化財、伝統工芸等の伝統文化を継承し、様々な地域の資源、特長等を活かして新たな生活文化を創造し、魅力あふれる「江戸川文化」として世界に向けて発信していく等、創造性の豊かな江戸川文化を育みます。

【施策体系図】



(1) 「江戸川文化」の創造

209 文化の創造のための活動の支援

区内で活動するサークル連合会等の文化団体の活動支援や、江戸川区文化祭・文化賞表彰等を実施し、区民の文化向上につなげます。

施策コード	209	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
「まちの魅力」の向上や創造、心のゆとりや豊かさなどのための取り組み		実施	同左	同左
事業費		22,497千円	22,497千円	22,497千円

210 豊かな生活文化の形成

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。また、各種団体と連携し実行委員会を組織し、マラソン大会等区民が安心して楽しめるイベントを開催していきます。

施策コード	210	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
各種講座・スポーツ指定開放の開催	開催	同左	同左	
事業費	15,734千円	15,734千円	15,734千円	
公益性のある大会、講座等の支援・後援	支援	同左	同左	
事業費	11,709千円	11,709千円	11,709千円	
実行委員会組織による各種イベントの開催	実行委員会による各種イベントの開催	同左	同左	
事業費	4,374千円	4,374千円	4,374千円	

211 国際文化との交流と情報発信

国際的な文化イベントの開催、区民の多彩な文化交流への支援等により、親善及び相互理解が図れる機会を充実するとともに、世界に向けて江戸川文化に関する情報を発信します。

212 地域資源などの活用

区の概要を紹介する冊子を作成し、区の魅力を広く紹介します。また、多くの人々が集まるイベント等の積極的な誘致活動を展開し、地域を舞台とする様々な交流を推進します。

213 文化情報の発信

篠崎文化プラザで行う企画展示や、タワーホール船堀・総合文化センターで行うコンサートや演劇、グリーンパレスで行うイベントや発表会等、文化施設から江戸川区らしい文化の発信を行っていきます。

施策コード	213	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
文化施設を活用した効果的な文化の発信	実施	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

214 伝統文化の継承と積極的な活用

芸術文化の質の向上を図り、良質な「江戸川文化」を育むことで、江戸川区に住みたい、江戸川区に行きたいと思われるような文化を醸成していきます。また、一之江名主屋敷の保存管理や仏教美術品の調査、影向のマツの保護等を行うことにより、区の文化財の適切な保全・継承に努めます。

郷土資料室のイメージアップと来館者の増加を図るため、企画展(年間2回)を開催します。さらに、収蔵資料を利用して、ミニ展示及び手仕事体験などのイベントを開催します。また、データベースを活用して、来館者への閲覧やホームページによる情報発信によりレファレンスサービスを充実していきます。

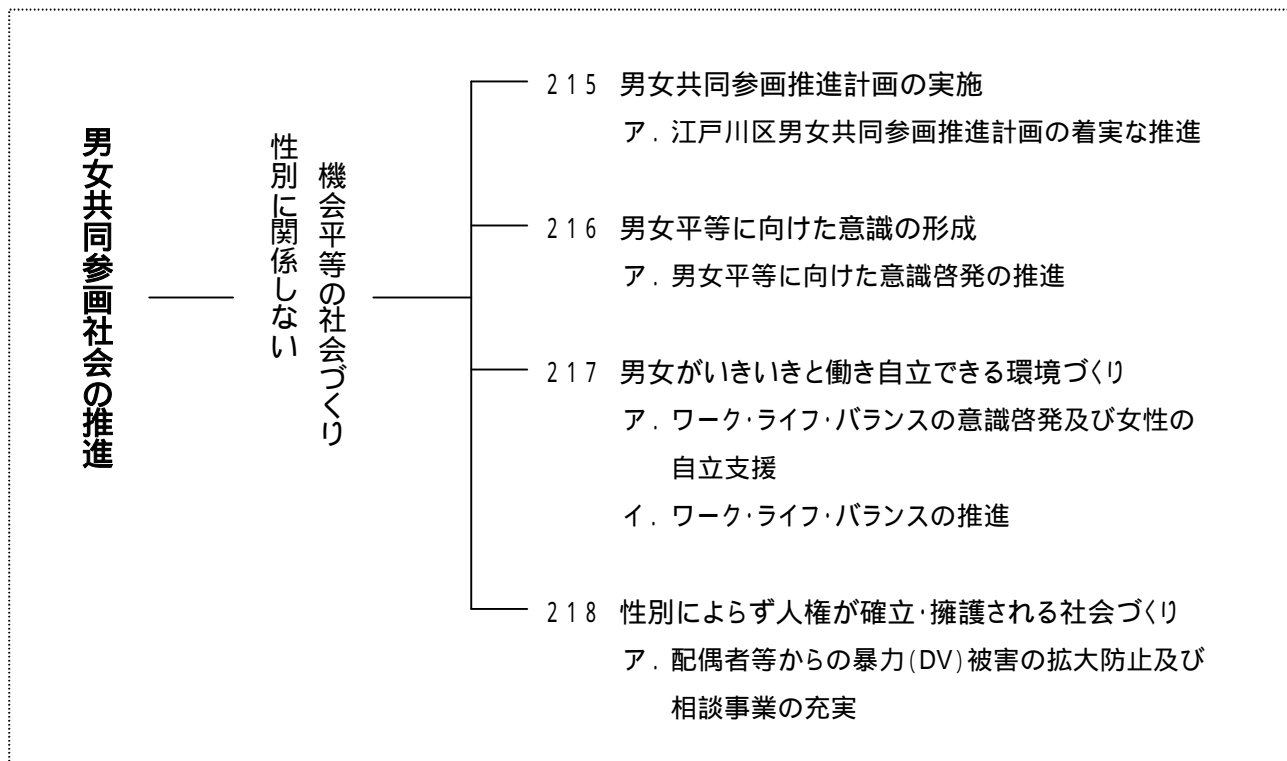
施策コード	214	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
良質な芸術文化の醸成	実施	同左	同左	
事業費	404千円	437千円	404千円	
一之江名主屋敷の 保存管理・活用	施設及び敷地景観 の維持管理 体験教室の開催	同左	同左	
事業費	27,565千円	30,244千円	14,065千円	
郷土資料室の運営	企画展の開催 収蔵品を活用した 体験イベントの開催	同左	同左	
事業費	6,304千円	6,304千円	6,304千円	
影向のマツの保護	保護・指導	同左	同左	
事業費	144千円	144千円	144千円	

4 男女共同参画社会の推進

【施策の考え方】

男女がお互いに尊重しあい、その能力と個性を發揮できる地域社会の実現をめざして、男女平等の意識づくりを進め、区民と力を合わせて環境整備を行います。

【施策体系図】



(1) 性別に関係しない機会平等の社会づくり

215 男女共同参画推進計画の実施

区民等と区との協働による男女共同参画社会の実現に向けて、「江戸川区男女共同参画推進計画」の着実な推進を図ります。

施策コード	215	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
江戸川区男女共同参画推進計画の着実な推進		推進	推進 次期計画の検討	推進
事業費		0千円	0千円	0千円

216 男女平等に向けた意識の形成

男女がともに尊重しあい、それぞれの能力と個性が充分發揮できる社会の実現を目指し、より広い視野で男女共同参画の知識を区民全体に浸透させていくための意識啓発を継続していきます。

施策コード	216	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
男女平等に向けた意識啓発		講演会等の開催 情報誌の発行	同左	同左
事業費		1,023千円	1,023千円	1,023千円

217 男女がいきいきと働き自立できる環境づくり

仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの意識啓発を進めます。また、男女それぞれが仕事と家庭生活を両立できるよう、女性の自立のための就労支援講座や男性の子育て支援のための講座等を実施するなどにより、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発を進めます。

施策コード	217	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
ワーク・ライフ・バランスの意識啓発及び女性の自立支援	講演会の開催 ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発のための講座等の実施	同左	同左	
事業費	490千円	490千円	490千円	
ワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進協議会の開催	同左	同左	
	産業賞での企業表彰	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、ワーク・ライフ・バランスの推進(施策コード606)の中で計上しています。

218 性別によらず人権が確立・擁護される社会づくり

男女が互いに人権を尊重し、あらゆる暴力をなくすため、家庭、地域、学校、職場など多方面にわたり、特に女性に対する暴力について理解を深め、暴力根絶の意識を広めるとともに、被害者保護のため、関係機関との連携を強化するほか、配偶者等からの暴力に関する相談、被害者支援の充実を図ります。

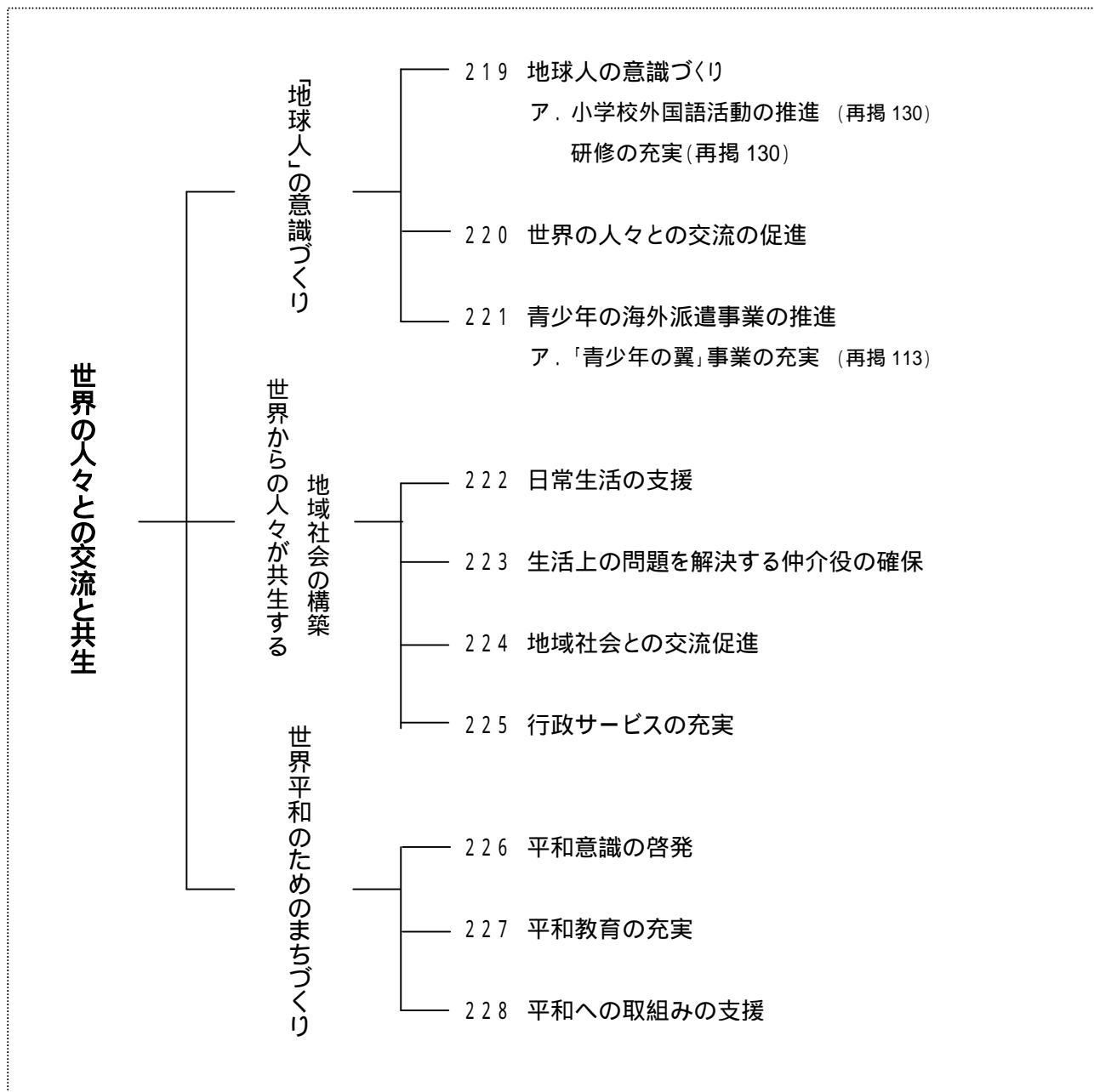
施策コード	218	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
配偶者等からの暴力(DV)被害の拡大防止及び相談事業	DV被害者等からの相談の実施	同左	同左	
	講座開催等による啓発活動の実施	同左	同左	
	DVネットワーク会議の開催	同左	同左	
事業費	2,020千円	2,020千円	2,020千円	

5 世界の人々との交流と共生

【施策の考え方】

区内に住む世界からの人々が増加しています。環境、平等地球規模の課題に対して、区民一人ひとりが、同じ地球に住む「地球人」としての発想を持ち、ともに暮らしていける環境を整えます。

【施策体系図】



(1) 「地球人」の意識づくり

219 地球人の意識づくり

国の動向を見据え、小学校3、4年生等への導入も視野に入れ、ALT の活用計画を立案するとともに、教員の指導力向上のための研修や資料等の充実をさせていただきます。

ALT: 外国人英語科指導助手

施策コード	219	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
小学校外国語活動の推進 再掲130	国の動向を踏まえた A L T の設置計画の 立案	国の動向を踏まえた A L T の設置	A L T の設置調整	
研修の充実 再掲130	英語教育推進リーダ ーを活用した研修の 実施	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、小学校外国語活動の推進(施策コード130)の中で計上しています。

220 世界の人々との交流の促進

地域まつりやイベントにおいて、本区の地域性や特長等を PR するとともに、各国の文化の紹介を通じて相互理解の促進に努めます。区内交流団体の実施する交流事業への支援や、区内在住外国人や諸外国からの来訪者と中高生を中心とした区民との交流機会を拡大します。

また、近年広がりつつある外国人コミュニティと地域との交流拡大を支援することで、より安心して住みよい地域を目指します。

221 青少年の海外派遣事業の推進

青少年を世界各国へ派遣し、ホームステイや文化体験等の幅広い体験を通して国際感覚を培った次代を担う人材の育成を図ります。また、青少年の翼に参加した団員が、その後も地域等でさらに活躍できるよう支援します。

施策コード	221	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
青少年の翼事業の充実	派遣先 5か国 派遣人数 100名	同左	同左	
事業費	51,080千円	51,080千円	51,080千円	

(2) 世界からの人々が共生する地域社会の構築

222 日常生活の支援

世界からの人々が、ひとりの区民として区で安心した生活ができるように、日本語指導ボランティアによる支援をはじめ、日常生活における様々な相談及び生活支援を行います。また、えどがわボランティアセンターとの協働により、様々な活動を行っている民間交流団体、ボランティアの人々等のネットワーク化を図るとともに、効果的な支援ができるように条件整備を進めます。

223 生活上の問題を解決する仲介役の確保

文化や生活習慣の違いに起因する様々な問題について、相互に意見交換し、解決策を見出せるように、地域において仲介役のできる人を確保します。また、トラブルや不当な差別を招くことがないように、情報提供と相談に努めます。

224 地域社会との交流促進

世界からの人々が気軽に地域活動に参加できる、開かれた地域社会づくりを促進し、相互交流を通じて地域コミュニティがさらに活発になることを目指します。

225 行政サービスの充実

永住や就労等の長期滞在者が増加傾向にある中、引き続き子育て・教育・医療・年金等安心して生活するための相談体制や行政サービスをさらに充実していきます。

また、区内在住外国人を対象とした防災情報の外国語によるきめ細かな提供等、関係部署と連携しながら支援を充実していきます。

(3) 世界平和のためのまちづくり

226 平和意識の啓発

水と緑に囲まれた郷土を次世代に守り伝えていくため、生命の尊さと平和の大切さを考える機会をもつことは重要であり、「江戸川区平和都市宣言」の趣旨を踏まえて、各種のイベントなど多様な機会を通じて、区民への本区及び本区以外での平和活動などの取り組みの情報提供と意識啓発に努めます。

227 平和教育の充実

戦争の悲惨な体験をされた人々の話しは、大変貴重な証言であり、様々な機会を通じて、世代を問わず伝えていきます。

228 平和への取り組みの支援

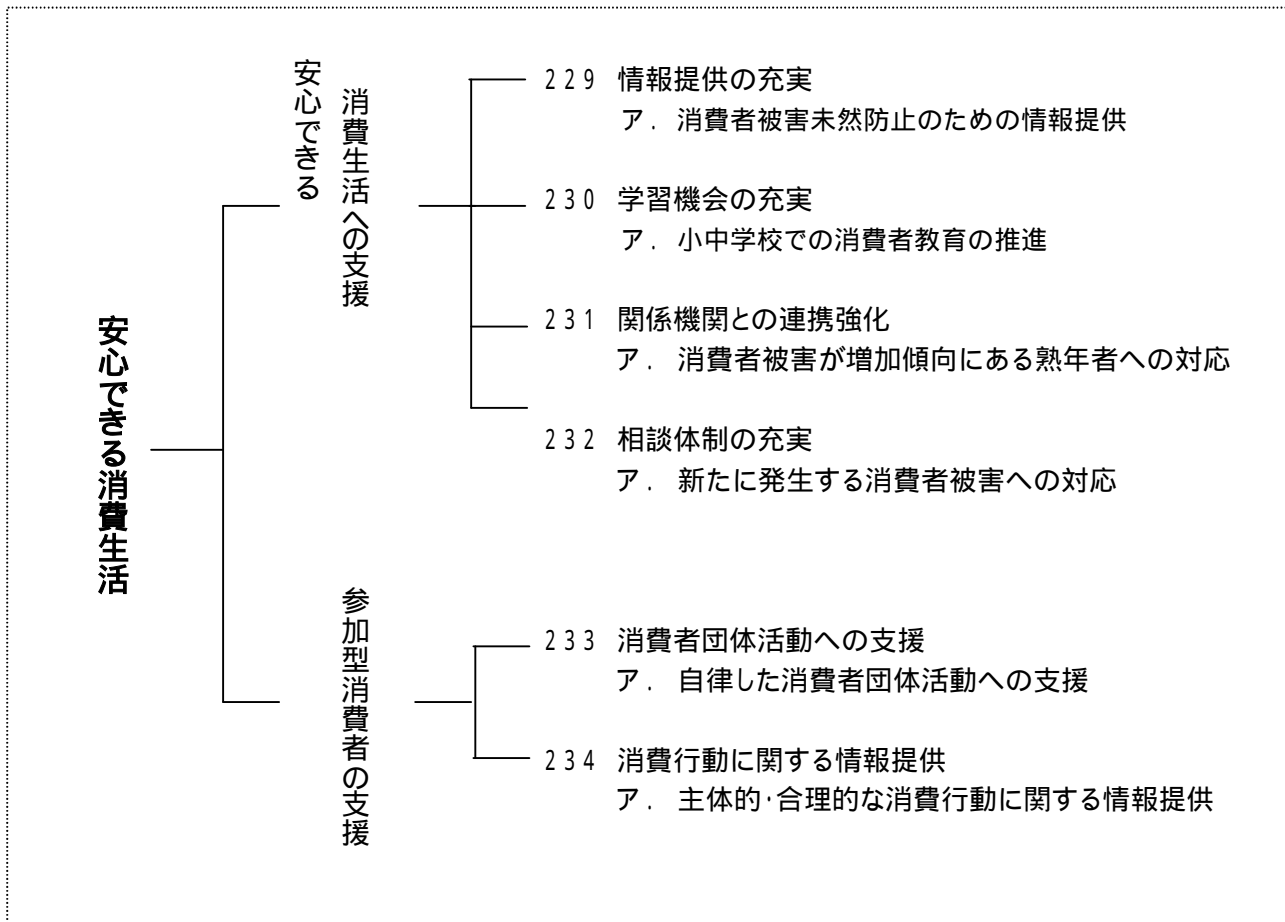
戦争の悲惨さ、生命の尊さなどについて、区民が改めて考える機会を提供すべく、区民の自主的な取り組みを支援していきます。

6 安心できる消費生活

【施策の考え方】

区民の消費生活における被害を防止し、区民が安全に消費生活を営むことができるようにします。また、消費者である区民が自ら主体的・合理的行動をすることにより消費生活の安全・安心を得ることができるようにします。

【施策体系図】



(1) 安心できる消費生活への支援

2.2.9 情報提供の充実

消費者教室、ホームページや各種情報紙、イベント等により、消費者被害の事例や被害を未然に防止するための情報提供を行います。

また、区民が消費生活において、適切に商品を選択し、使用・利用できるよう、消費者教育や情報提供を充実していきます。

施策コード	2.2.9	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
消費者被害未然防止のための 情報提供	講師派遣		同左	同左
	ホームページの運用		同左	同左
	消費生活情報紙の 発行		同左	同左
事業費		1,347千円	1,347千円	1,347千円

230 学習機会の充実

インターネットを利用したオンラインゲームによるトラブルや架空・不当請求など、小・中学生が対象となる相談が増えてきています。このことから、相談の多い中学生を対象に教育委員会と連携を図り、学校でのセーフティ教室を活用して未然防止を図っていきます。また、PTAにも消費者被害の未然防止の情報提供を行っていきます。

施策コード	230	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
小中学校での消費者教育の推進	関係部署との連携強化		同左	同左
	情報紙「ニュースレター」の発行		同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

231 関係機関との連携強化

熟年相談室・民生委員など熟年者関係機関と連携をとり、熟年者の見守り体制の充実を図っていきます。また、熟年者にはリズム運動会場等で対面による消費者被害未然防止の情報提供を行っていきます。

施策コード	231	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
消費者被害が増加傾向にある熟年者への対応	関係部署・機関との連携		同左	同左
	情報紙「みまもり・ねっと」の発行		同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

232 相談体制の充実

インターネット取引、金融取引等高度化・複雑化する契約・解決困難相談の増加に対して、弁護士等による専門的助言を活用するとともに、相談員に上記事例に適切な研修の機会を提供していきます。

施策コード	232	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
新たに発生する消費者被害への対応	弁護士相談の活用		同左	同左
	関係部署・機関との連携		同左	同左
事業費		495千円	495千円	495千円

(2) 参加型消費者の支援

233 消費者団体活動への支援

消費者団体が自主的・自立的に活動を展開し、区民の消費生活の向上に寄与できるよう、各種情報提供や学習支援を行います。

施策コード	233	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
自立した消費者団体活動への支援	消費者教室の実施	同左	同左	
	消費生活情報紙の発行	同左	同左	
	協働事業の実施	同左	同左	
事業費	196千円	196千円	196千円	

234 消費行動に関する情報提供

消費者教室、ホームページや各種情報紙、イベントにより、自ら主体的・合理的に行動する区民へ情報提供を継続的に実施し、さらなる意識向上を図ります。

施策コード	234	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
主体的・合理的な消費行動に関する情報提供	消費者教室の実施	同左	同左	
	消費生活情報紙の発行	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、消費者被害未然防止のための情報提供(施策コード229)及び自立した消費者団体活動への支援(施策コード233)の中で計上しています。

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) がん予防対策の推進
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

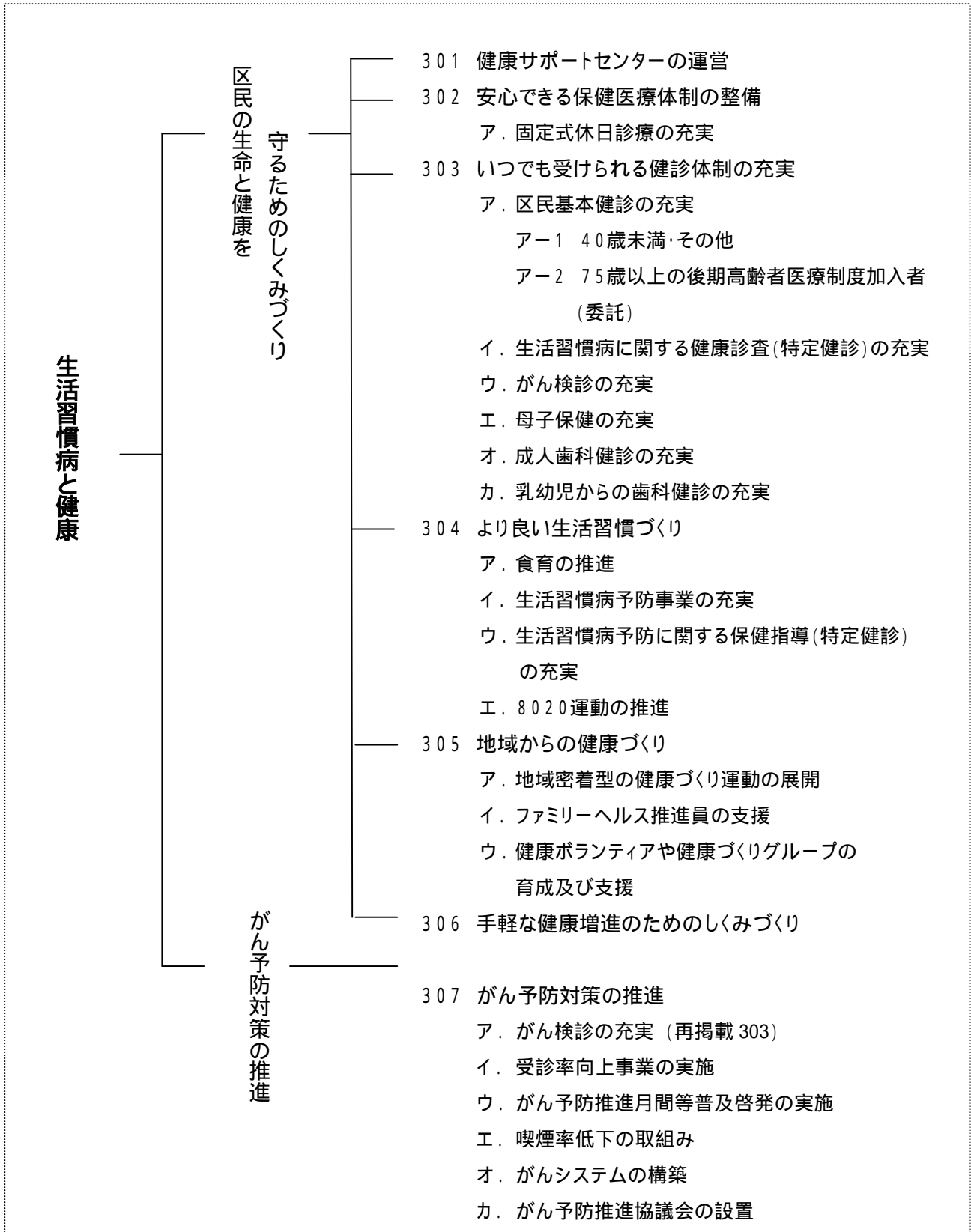
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化に伴い、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃の生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

固定式休日診療を江戸川区医師会夜間・休日急病診療所で実施します。また、従来の輪番制との連携を図ることにより、区民が安心できる医療体制の充実に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
固定式休日診療の充実		固定式休日診療事業の充実	同左	同左
事業費		30,478千円	30,478千円	30,478千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

健康寿命の延伸を阻害し、介護の要因となる生活習慣病を予防するため、若年層から生活習慣病予防を意識づけさせるとともに、受診対象世代の人口動態に合わせたより受診しやすい受診体制の構築を検討します。

併せて、効果的な受診勧奨を行うなど受診率向上に努めます。

また、妊婦健診や乳幼児期からの健康づくりを進め、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他	12,750人	12,900人	13,050人
	事業費	99,393千円	100,658千円	101,924千円
	75歳以上の後期高齢者医療制度加入者(委託)	37,600人	39,700人	42,200人
	事業費	400,646千円	423,004千円	449,641千円
生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の充実		60,500人	62,800人	63,400人
事業費		715,026千円	742,171千円	749,262千円
がん検診の充実		123,900人	125,400人	126,900人
事業費		926,080千円	937,208円	948,238千円
母子保健の充実		妊婦健康診査受診費助成	同左	同左
		乳幼児健診の実施 42,550人	同左	同左
事業費		676,377千円	676,377千円	676,377千円
成人歯科健診の充実		6,500人	6,550人	6,600人
事業費		54,841千円	55,263千円	55,684千円

乳幼児期からの 歯科健診の充実	乳幼児歯科事業 の実施 24,700人	同左	同左
事業費	52,772千円	52,770千円	52,770千円

304 より良い生活習慣づくり

健康で生き生きとした生活を送るため、「食」に関わる団体等との連携を通じた食育を推進します。その中で、親子・中学生を対象としたメニューグランプリ、関係団体の取り組みを推進するための食育講演会等を実施し、「食育」を更に地域へ広げていきます。

また、生活習慣病の予防には、口腔の健康は食べることに直結し運動機能を支える点でも重要であるため、乳幼児から学齢期、成人熟年へとあらゆる年代へのアプローチに歯科キャラクターを活用し、8020運動の推進を地域と連携して推進します。

健康寿命の延伸のためには、若い世代からの生活習慣が大切であり、子どもの健診等の機会を捉えて、その保護者への生活習慣改善（禁煙、栄養、運動、口腔ケアなど）を促します。

8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
食育の推進	食育推進連絡会を中心とした食育の推進	同左	同左	
事業費	2,031千円	2,031千円	2,031千円	
生活習慣病予防事業の充実	セミナー、イベント、相談・指導等の実施	同左	同左	
	食生活改善の支援	同左	同左	
事業費	2,172千円	2,172千円	2,172千円	
生活習慣病予防に関する保健指導(特定保健指導)の充実	2,343人	2,593人	2,765人	
事業費	50,376千円	55,750千円	59,448千円	
8020運動の推進	周知・啓発	同左	同左	
事業費	824千円	253千円	253千円	

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び介護予防を図るため、ウォーキングの啓発や推進、健康課題に関する地域出前講座を実施するなど地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケアや口腔の機能維持向上等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供する中、受講者同士の自主的なグループ活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくりグループなどの拡充・支援に努めます。また、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
地域密着型の健康づくり運動の展開	健康ウォーキング大会・各種健康講座等の開催	同左	同左	
事業費	1,404千円	1,404千円	1,404千円	
ファミリーヘルス推進員の支援	活動支援 8団体340名	同左 委嘱式	活動支援 8団体340名	
事業費	8,646千円	9,246千円	8,646千円	
健康ボランティアや健康づくりグループの育成及び支援	ボランティア・健康づくりグループの育成及び支援	同左	同左	
事業費	205千円	205千円	205千円	

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

(2)がん予防対策の推進

307 がん予防対策の推進

がん検診は、特に働き盛り・子育て世代で罹患が増加する大腸がん・乳がん・子宮頸がんについて、効果的な受診勧奨を行うなど受診率向上に努めます。

平成24年に策定されたがん予防推進計画に基づき行われてきたがん予防対策の効果について検証し、計画の見直しにつなげます。

施策コード	307	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
がん検診の充実 再掲303	123,900人	125,400人	126,900人	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
受診率向上事業の実施	クーポン事業の実施 勧奨効果の検証	効果的な勧奨の実施	同左	
事業費	13,171千円	5,156千円	5,156千円	
がん予防推進月間等 普及啓発の実施	効果的な啓発の実施 中学校出前教室の実施	啓発効果の検証 がん教育の取組	効果的な啓発の実施 がん教育の取組	
事業費	2,060千円	2,060千円	2,060千円	
喫煙率低下の取り組み	普及啓発の実施	同左	同左	
事業費	396千円	396千円	396千円	
がんシステムの運用	システムの運用 受診勧奨への活用	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」：事業費は、がん検診の充実(施策コード303)の中で計上しています。

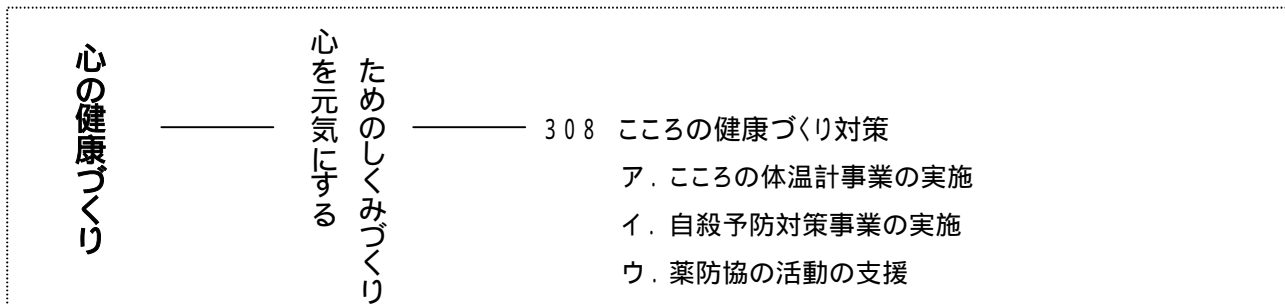
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化する中で、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

308 こころの健康づくり対策

こころの健康を維持する施策として、早期発見できる環境の構築を継続し、「こころの体温計事業」を実施します。また、自殺防止対策の人材育成として、地域の方々や全区職員を対象とした「いのち見守り隊養成講座」を実施します。「いのち見守り隊」の早期サインの気づきにより、自殺を未然に防止します。

自殺防止連絡協議会及び当事者支援事業(総合相談会、自殺未遂者支援)では、全庁内各部署、各種相談支援事業所などの地域の関係機関が連携して、相談・支援につなげます。

東京都薬物乱用防止推進江戸川区地区協議会(薬防協)の事務所として、教育委員会や学校、警察と連携し薬物乱用防止の普及啓発活動を推進します。

施策コード	308	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
こころの体温計事業の実施	メンタルヘルスチェックシステム		同左	同左
事業費		389千円	389千円	389千円
自殺防止対策事業の実施	自殺防止連絡協議会 当事者支援(総合相談会、自殺未遂者支援) 普及啓発事業(キャンペーン等) 人材育成(いのち見守り隊養成講座の実施)		同左	同左
事業費		2,532千円	2,532千円	2,532千円
薬防協の活動の支援	薬物乱用防止の普及啓発活動の実施		同左	同左
事業費		790千円	790千円	790千円

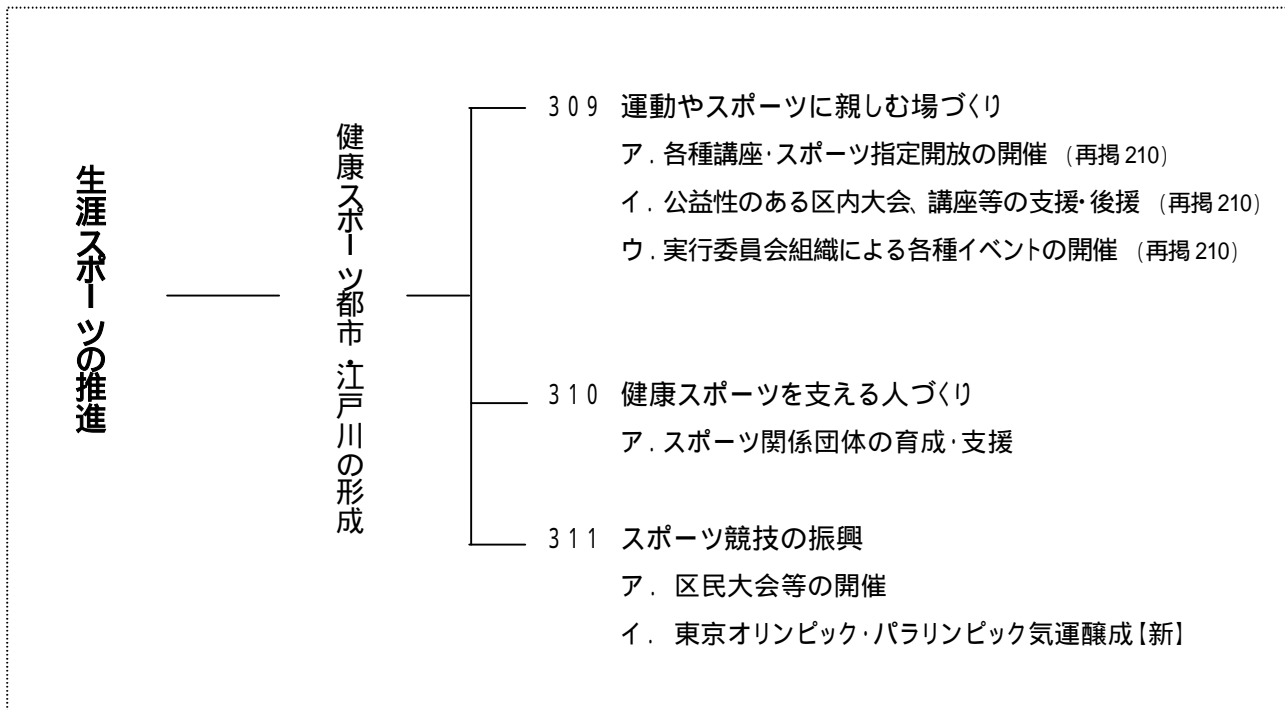
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体
の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが
大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカー
グラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さら
に、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

309 運動やスポーツに親しむ場づくり

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を
図っていきます。また、各種団体と連携し実行委員会を組織し、マラソン大会等区民が安心して楽しめるイベント
を開催していきます。

施策コード	309	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
各種講座・スポーツ指定開放 の開催 再掲210		開催	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
公益性のある大会、講座等 の支援・後援 再掲210		支援	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

実行委員会組織による 各種イベントの開催 再掲210	実行委員会による各種 イベントの開催	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、各種講座・スポーツ指定開放の開催・公益性のある大会、講座等の支援・後援・実行委員会組織による各種イベントの開催(施策コード210)の中で計上しています。

310 健康スポーツを支える人づくり

地域スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進員等健康スポーツを支える人づくりに努めていきます。

施策コード	310	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
スポーツ関係団体の 育成・支援	育成・支援	同左	同左	
事業費	11,033千円	11,033千円	11,033千円	

311 スポーツ競技の振興

区民大会等を通して相互交流と日頃の練習成果を発揮する場として実施し、スポーツ競技の振興を図っていきます。

東京オリンピック・パラリンピックについては、2020年開催に向けた気運醸成のための区民一体となった取り組みを実施していきます。

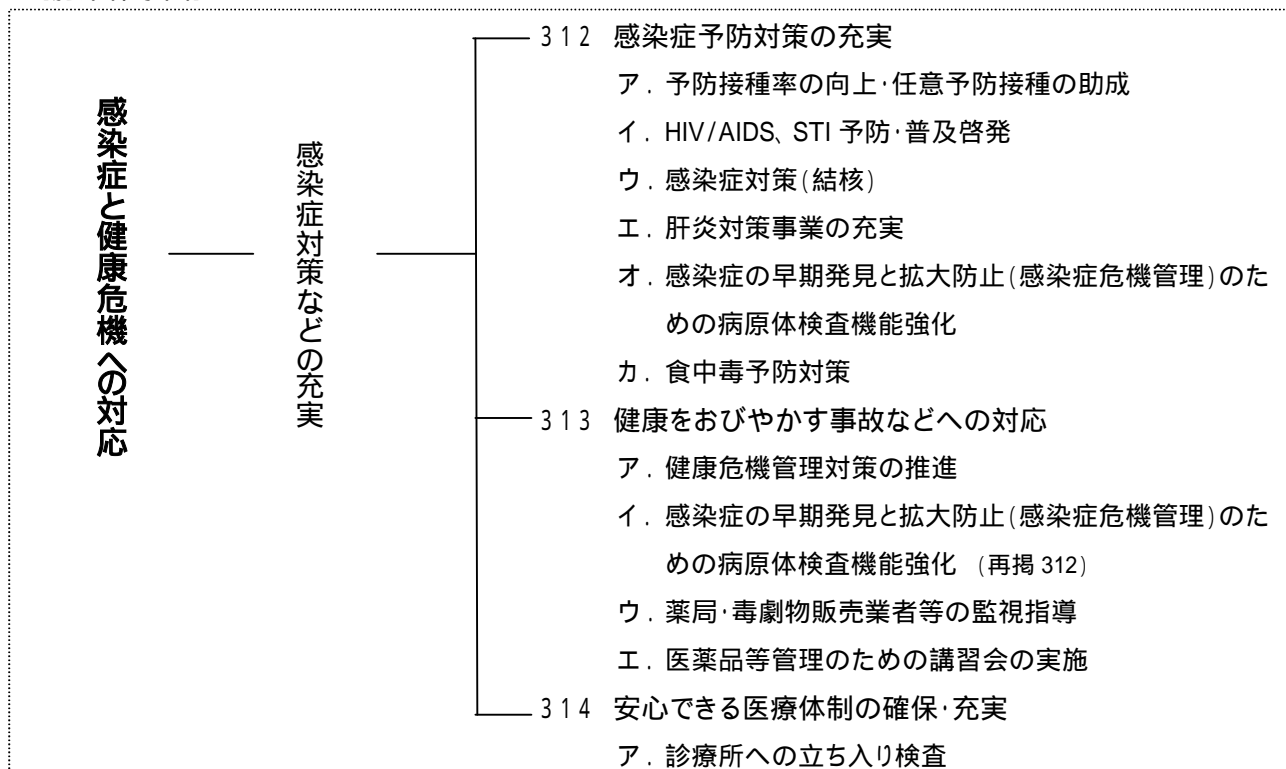
施策コード	311	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
区民大会等の開催	体育会と共催により 実施	同左	同左	
事業費	18,674千円	18,674千円	18,674千円	
東京オリンピック・ パラリンピック気運醸成 【新】	実施	同左	同左	
事業費	10,000千円	***千円	***千円	

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

312 感染症予防対策等の充実

疾病を防ぐには、効果的な予防接種の取り組みが必要となり、法による定期予防接種の接種率を向上させるための取り組みや、子宮頸がん(20歳)予防等任意の予防接種についての費用の助成を行っていきます。

また、国が定期予防接種化を予定している、B型肝炎、おたふくかぜ、ロタウイルス予防接種の実施についても、予防接種法改正等を踏まえた対応を行います。

HIV/AIDS及びSTI、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。また、B型及びC型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、東京都健康安全研究センターおよび地方衛生研究所全国協議会等とも連携して専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

肉の生食による腸管出血性大腸菌などの食中毒及びノロウイルスによる食中毒について、重点的に予防対策を行っていきます。食中毒の発生と関連の深い業態を中心に立入検査を実施し、食品衛生講習会などで、事故発生時の細かい検証事例を挙げて集中的に指導を行っていきます。

HIV(Human Immunodeficiency Virus)/AIDS:後天性免疫不全症候群。HIVはその原因となる病原体。
STI(性感染症):性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	312	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
予防接種率の向上・任意予防接種の助成	定期予防接種の勧奨と任意予防接種の助成	同左	同左	
事業費	1,631,784千円	1,631,784千円	1,631,784千円	
HIV/AIDS、STI予防・普及啓発	HIV/AIDS、STI予防・普及啓発の推進	同左	同左	
事業費	3,812千円	3,812千円	3,812千円	
感染症対策(結核)	感染症対策(結核)	同左	同左	
事業費	198,350千円	198,350千円	198,350千円	
肝炎対策事業の充実	肝炎健診の実施・保健指導	同左	同左	
事業費	10,144千円	10,144千円	10,144千円	
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左	
事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
食中毒予防対策	重点監視指導の実施(対象734施設)	同左	同左	
事業費	5,170千円	5,170千円	5,170千円	

313 健康をおびやかす事故などへの対応

感染症に関する正しい知識、感染予防策について情報提供を行います。また、連絡会の開催や通知により、医療機関、関係機関との連携及び情報共有を図ります。あわせて、対応体制の整備を図ります。

感染症発生時を想定した訓練を継続的に実施し、連携をより緊密にしていきます。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、東京都健康安全研究センターおよび地方衛生研究所全国協議会等とも連携して専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

施策コード	313	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
健康危機管理対策の推進	情報提供 関係機関との連携 訓練の実施	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化 再掲312	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

薬局・毒劇物販売業者等の 監視指導	薬局・毒劇物販売業者 等の監視指導の実施 (430件)	同左	同左
事業費	2,180千円	2,180千円	2,180千円
医薬品等管理のための講習 会の実施	薬局等に対する講習会 の実施(1回)	同左	同左
事業費	40千円	10千円	20千円

「-」:事業費は、HIV/AIDS、STI予防・普及啓発、感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化(施策コード312)の中で計上しています。

314 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施について、平成19年度から有床診療所、平成22年度から医科無床診療所、平成24年度からは歯科診療所の立入検査を実施しています。また、医師会・歯科医師会等との連携に向けた取り組みを強化し、医療機関の自主管理体制を構築していきます。

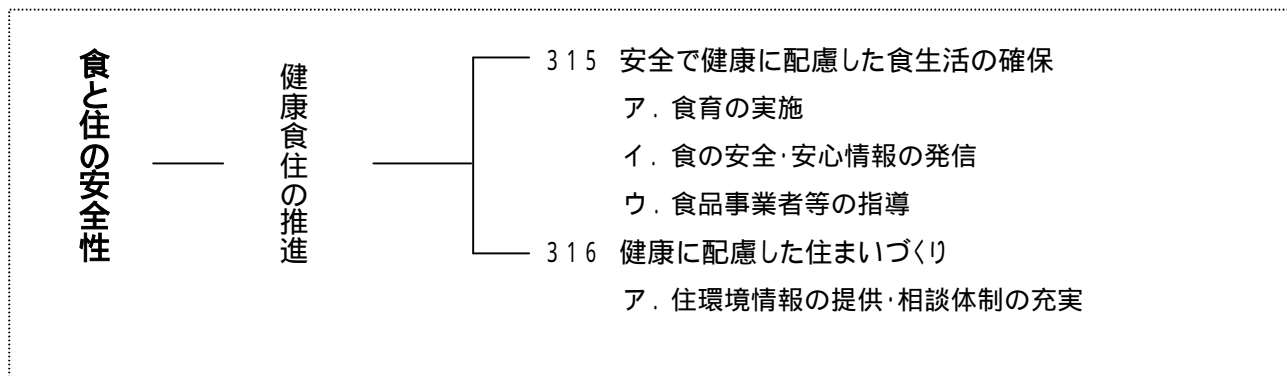
施策コード	314	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
診療所への立入検査		40施設	同左	同左
事業費		400千円	400千円	400千円

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

315 安全で健康に配慮した食生活の確保

迅速かつ正確でわかりやすい最新の食品衛生情報を、ホームページ、ツイッター、情報誌など広く媒体を活用して発信していきます。食品衛生推進会議の提言や、区民からの意見収集により得られた知見を業務に反映させていきます。

食品衛生法の遵守と、食品安全基本法にある関係者の責務及び役割について指導します。自主管理の意識向上と情報収集の重要性を説明し、食品衛生協会への加入を呼びかけます。食品製造業を中心とした監視指導体制を構築し、HACCPの段階的導入及び食品表示法の施行に対応していきます。

HACCP:食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
食の安全・安心情報の発信		ホームページなどの 情報提供の充実	同左	同左
事業費		1,170千円	1,170千円	1,170千円
食品事業者等の指導		事業者講習会受講の 指導(年間16回)	同左	同左
事業費		8,710千円	8,710千円	8,710千円

316 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査の実施や感染症を媒介する害虫を含めた発生源対策を指導するなど、安全な住まいに関する情報の提供と相談体制の充実を図ります。

施策コード	316	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
住環境情報の提供・ 相談体制の充実	ダニアレルゲン検査 (200件)	同左	同左	
	衛生害虫の防除・駆除 方法の普及啓発	同左	同左	
事業費	540千円	540千円	540千円	

〔2〕 高齢の人々・障害のある人々のために

1 高齢の人々の生きがいと健康

- (1)「生涯現役」の環境づくり
- (2)高齢の人々の健康づくり

2 高齢の人々の生活支援

- (1)高齢の人々が安心できる生活支援
- (2)介護サービスの充実

3 障害のある人々の生活支援

- (1)障害に関する生活支援
- (2)精神障害のある人々の社会復帰への支援
- (3)発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

4 福祉のまちづくり

- (1)ユニバーサルデザインの促進
- (2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

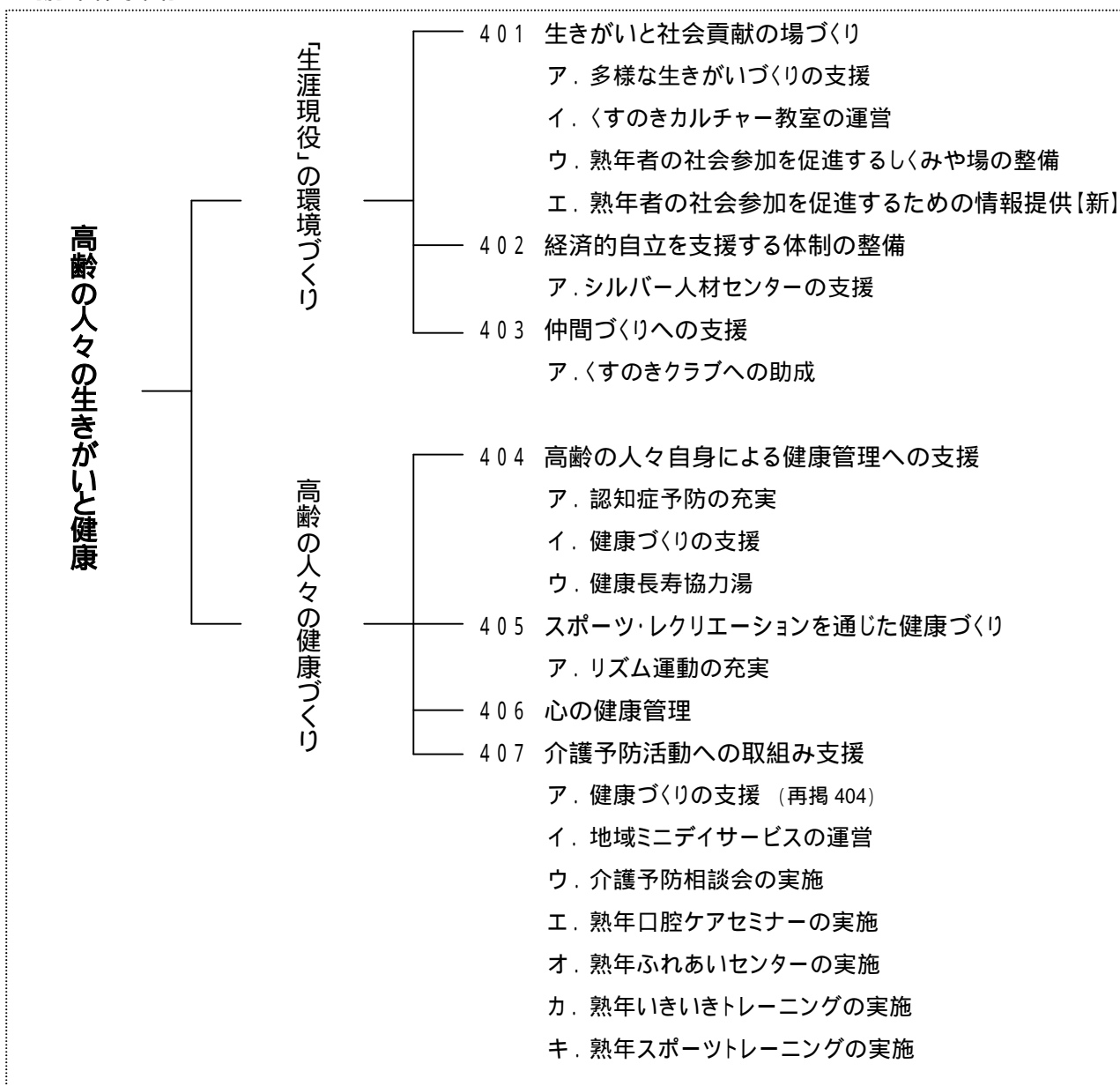
1 高齢の人々の生きがいと健康

【施策の考え方】

熟年者にとって、健康であるとともに、「生涯現役」として、自己の経験を活かして、いつまでも地域社会で活躍できることは、生きがいのある人生を送るうえで重要な考え方の一つです。

これまでも区は、くすのきカルチャー教室をはじめとする学習機会の提供やリズム運動等のスポーツ・レクリエーション事業、シルバー人材センターの生きがい就労事業、くすのきクラブや総合人生大学等の社会参加促進事業をとおして、熟年者の生きがいづくりを進めてきました。今後も、これらの取組みを基礎に、熟年者の多様化するニーズに対応した生きがいづくりを支援するとともに、介護予防を推進し、健康で生きがいのある生活を支える施策の展開を図ります。

【施策体系図】



(1) 「生涯現役」の環境づくり

401 生きがいと社会貢献の場づくり

リズム運動大会さわやか体育祭、熟年文化祭等、熟年者が生きがいをもって健康で元気な生活を送れる場の提供の充実を図っていきます。また、くすのきカルチャー教室については、自身の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、社会貢献活動のきっかけとなる学習の機会の提供に努めます。

熟年者の社会参加を促進するため、多様化するニーズの調査研究を行い、的確な支援策を講じていきます。また、65歳に到達する熟年者を対象に、社会参加のきっかけとなるツールとして、地域資源を盛り込んだ情報誌を提供します。

施策コード	401	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
多様な生きがいづくりの支援	継続	同左	同左	
事業費	16,684千円	18,146千円	18,146千円	
くすのきカルチャー教室の運営	正規教室 100 自主活動教室 330	同左	同左	
事業費	191,858千円	191,858千円	191,858千円	
熟年者の社会参加を促進する仕組みや場の整備	調査研究	適宜実施	同左	
事業費	0千円	千円	千円	
熟年者の社会参加を促進するための情報提供【新】	実施	継続	同左	
事業費	11,880千円	11,880千円	11,880千円	

402 経済的自立を支援する体制の整備

公益社団法人シルバー人材センター江戸川区高齢者事業団と協力し、民間企業への就業開拓等を積極的に行い、会員数の増加に応じた就業の確保を図ることで、就労を通じた熟年者の生きがいづくりを支援していきます。

施策コード	402	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
シルバー人材センターへの支援	会員数 4,300人 就業会員数 2,300人	会員数 4,300人 就業会員数 2,400人	会員数 4,300人 就業会員数 2,500人	
事業費	155,026千円	155,026千円	155,026千円	

403 仲間づくりへの支援

くすのきクラブの活動を通して、熟年者が地域において健康で生きがいのある生活を送れるように支援していきます。併せて活動の一層の活性化を図るため、多様な機会を通じて、くすのきクラブのPRを図り、加入者の増加に結び付けていきます。

施策コード	403	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
くすのきクラブへの助成	201クラブ	202クラブ	203クラブ	
事業費	52,922千円	52,922千円	52,922千円	

(2) 高齢の人々の健康づくり

404 高齢の人々自身による健康管理への支援

専門医による、もの忘れに関する相談を実施するとともに、認知症予防に関する講習会の開催、相談や支援等を行い、認知症の予防に努めます。また、運動・栄養指導、口腔保健、閉じこもり予防等に関する講座等も開催し、熟年者の生活機能低下の防止を図ります。

65歳以上の熟年者が、入浴料金の半額程度で公衆浴場を利用できるように助成することで、健康増進と地域の人々や世代間の交流を促進していきます。

施策コード	404	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
認知症予防の充実	相談の実施	同左	同左	
事業費	3,739千円	3,739千円	3,739千円	
健康づくりの支援	口腔保健、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左	
事業費	918千円	918千円	918千円	
健康長寿協力湯	利用者数 延1,255,000人	利用者数 延1,260,000人	利用者数 延1,265,000人	
事業費	268,848千円	268,848千円	268,848千円	

405 スポーツ・レクリエーションを通じた健康づくり

熟年者の生きがいづくりや仲間づくりの支援を図るとともに、介護予防を推進するため、リズム運動の参加人員の拡大に努めます。

施策コード	405	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
リズム運動の充実	参加実人員 10,600人	参加実人員 10,850人	参加実人員 11,000人	
事業費	132,088千円	132,088千円	132,088千円	

406 心の健康管理

高齢の人々が感じる老いへの不安、孤独感等に、きめ細かく対応する相談体制を整備します。

407 介護予防活動への取組み支援

運動・栄養指導、口腔保健等に関する講座等を地域で開催し、熟年者の生活機能の低下の防止を図り、介護が必要となる状態を予防します。また、熟年者の閉じこもりの予防等を図るため、地域ミニデイサービスを充実させます。介護が必要となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します

65歳以上の高齢者に対して、国保、長寿、福祉の各健診と同時に「生活機能に関する基本チェックリスト」を実施し、生活支援サービス事業対象候補者を選定します。候補者に対し、地域包括支援センター(熟年相談室)で事業の案内や介護等に関する相談ができることを周知し、呼びかけます。

健診未受診者に対しては、地域包括支援センター(熟年相談室)にて同チェックリストを実施し、受診者と同様に対応します。

施策コード	407	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
健康づくりの支援 再掲404		口腔保健、栄養、 運動指導等 の健康講座・教室の開催	同左	同左
事業費		千円	千円	千円
地域ミニデイサービスの 運営		37か所	38か所	39か所
事業費		1,894千円	2,004千円	2,114千円
介護予防相談の充実		実施	同左	同左
事業費		3,025千円	千円	千円
熟年口腔ケアセミナーの 実施		実施	同左	同左
事業費		4,461千円	千円	千円
熟年ふれあいセンターの 実施		4か所51クラス 25名 定員	同左	同左
事業費		250,260千円	千円	千円
熟年いきいきトレーニングの 実施		実施	同左	同左
事業費		109,791千円	千円	千円
熟年スポーツトレーニングの 実施		定員480名	同左	同左
事業費		5,812千円	千円	千円

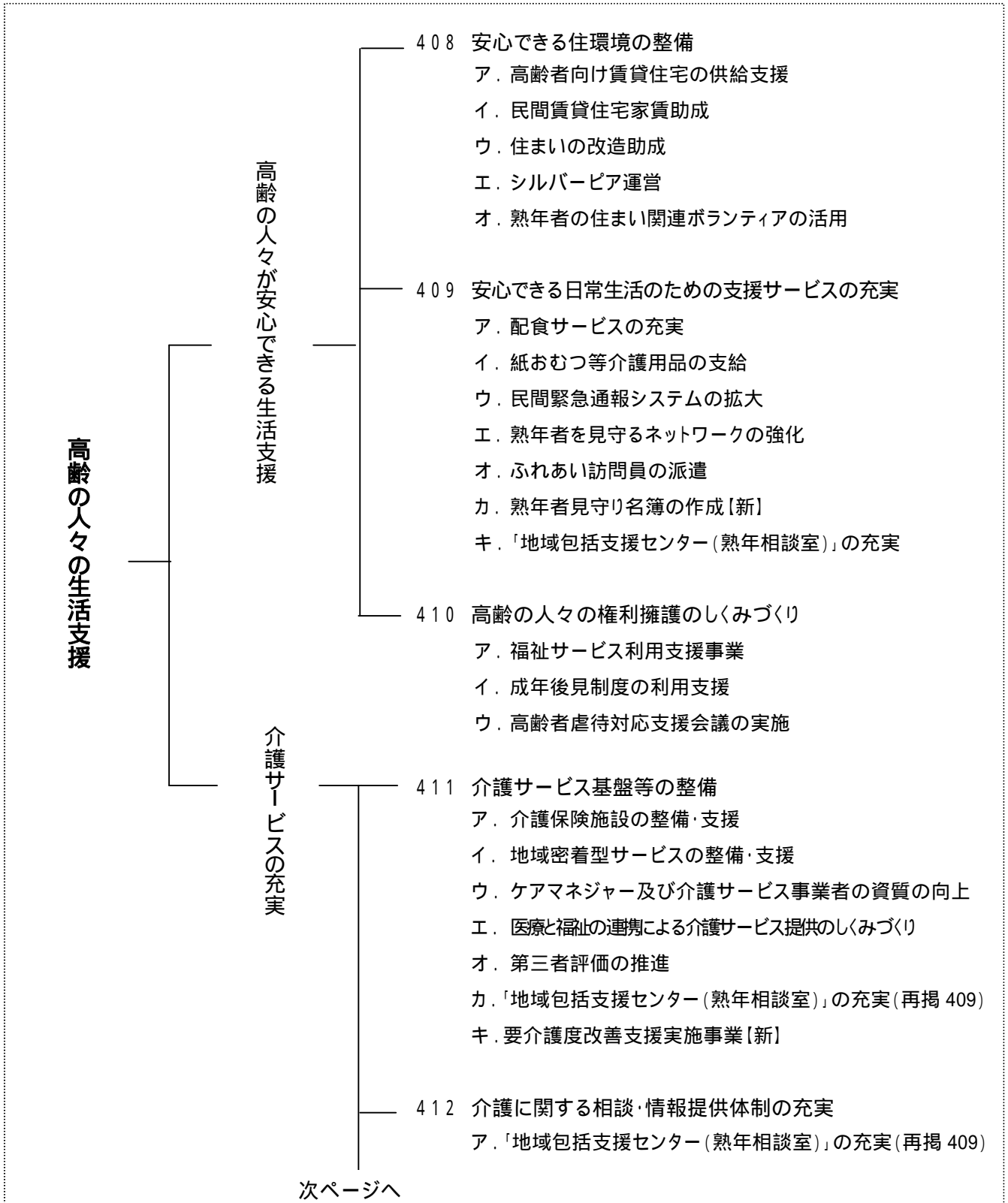
「-」:事業費は、健康づくりの支援(施策コード404)の中で計上しています。

2 高齢の人々の生活支援

【施策の考え方】

高齢の人々が、日常生活を安心して送れるようきめ細かな支援を行います。また、介護が必要となったときに、住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、介護サービスの基盤整備を進めるとともに、保健・医療・福祉の一体的なサービス提供のしくみづくり、介護の相談体制の充実等を図り、適切なサービスが提供できる体制を整備します。

【施策体系図】



前ページより

- 413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - ア. 介護に関する人材・ボランティア団体の育成
 - イ. 社会福祉士等卒後連携事業
- 414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実
 - ア. 認知症地域ネットワーク活用事業の実施
 - イ. 認知症サポーター養成講座の実施
 - ウ. 「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(再掲409)

(1) 高齢の人々が安心できる生活支援

408 安心できる住環境の整備

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成、住まいの改造助成、シルバーピア運営等の実施を推進することにより、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	408	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
高齢者向け賃貸住宅の供給支援	高齢者向け賃貸住宅の供給支援	同左	同左	同左
事業費	66,612千円	69,000千円	69,000千円	69,000千円
民間賃貸住宅家賃助成	250件	同左	同左	同左
事業費	83,016千円	83,000千円	83,000千円	83,000千円
住まいの改造助成	150件	同左	同左	同左
事業費	51,330千円	51,330千円	51,330千円	51,330千円
シルバーピア運営	50世帯	同左	同左	同左
事業費	6,522千円	6,500千円	6,500千円	6,500千円
熟年者の住まい関連ボランティアの活用	ボランティアの活用	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円

409 安心できる日常生活のための支援サービスの充実

民生委員、地域包括支援センター等と連携を図りながら、熟年者の安否確認等を行う地域ネットワーク体制の充実を図るとともに、民間緊急通報システムを活用し、熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられる体制づくりに努めます。また、食事づくりが困難な熟年者に対する配食サービスの実施により、いきがいと潤いのある生活の維持を図ります。

見守りネットワークの互助の体制づくりを目的として「熟年者見守り名簿」を作成し、希望する町会・自治会等に名簿を提供します。

施策コード	409	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
配食サービスの充実	一般向け配食 利用者310人/月	同左	同左	
	虚弱者向け配食 利用者430人/月	虚弱者向け配食 利用者435人/月	虚弱者向け配食 利用者440人/月	
事業費	48,135千円	48,347千円	48,561千円	
紙おむつ等介護用品の支給	延べ64,263人	延べ66,834人	延べ68,839人	
事業費	376,370千円	391,425千円	403,168千円	
民間緊急通報システムの拡大	設置数1,180か所	設置数 1,300か所	設置数 1,420か所	
事業費	20,532千円	22,897千円	25,057千円	
熟年者を見守るネットワークの強化	運営体制の強化	同左	同左	
事業費	1,150千円	1,150千円	1,150千円	
ふれあい訪問員の派遣	訪問員数120人 対象世帯の拡大	訪問員数122人 同左	訪問員数125人 同左	
事業費	5,098千円	5,134千円	5,188千円	
熟年者見守り名簿の作成 【新】	32,000世帯 (38,000人)	新たに対象となった 方を調査・追加	同左	
事業費	9,915千円	千円	千円	
「地域包括支援センター (熟年相談室)」の充実	体制整備及び 事業の充実	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

410 高齢の人々の権利擁護のしくみづくり

社会福祉協議会の安心生活センターを権利擁護の中核的な機関として位置づけ、社会福祉協議会による法人後見事業、区長申立て及び職能後見人等への報酬助成事業を実施します。また、熟年者支援ネットワークの

検討部会(高齢者権利擁護・虐待事例検討会)として開催し、関係機関との連携を密にしていきます。

成年後見制度:判断能力の不十分な認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を保護するための民法上の制度。

施策コード	410	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
福祉サービス利用支援事業	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 55件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 60件	相談事業等の充実 安心生活サポート事業 65件	
事業費	3,891千円	3,891千円	3,891千円	
成年後見制度の利用支援	法人後見 40件(累計) 区長申立て 50件 職能後見人等への 報酬助成 25件	法人後見45件(累計) 区長申立て 55件 職能後見人等への 報酬助成 25件	法人後見 50件(累計) 区長申立て 60件 職能後見人等への 報酬助成 25件	
事業費	7,793千円	7,793千円	7,793千円	
高齢者虐待対応支援会議の 実施	高齢者虐待対応 支援会議の実施	同左	同左	
事業費	321千円	千円	千円	

(2)介護サービスの充実

411 介護サービス基盤等の整備

「江戸川区介護保険事業計画」に基づき、適切な介護サービスの基盤整備を支援します。併せて、地域密着型サービス事業者に対する第三者評価の実施の支援、介護支援専門員及び介護サービス事業者に対する研修等を実施し、介護サービスの質の向上に努めます。また、平成27年度より特別養護老人ホームと介護老人保健施設の施設サービスにより入所者の要介護度を改善した事業者に対する支援を行います。

施策コード	411	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
介護保険施設の整備・支援	介護老人福祉施設 2ヶ所の整備支援	介護老人福祉施設 1ヶ所開設	同左	
事業費	千円	千円	千円	
地域密着型サービスの 整備・支援	小規模多機能型 居宅介護等の整備	整備支援	同左	
事業費	62,000千円	千円	千円	
ケアマネジャー及び介護サ ービス事業者の資質の向上	介護事業者向け研修の 充実	同左	同左	
事業費	7,715千円	千円	千円	
医療と福祉の連携による介護 サービス提供のしくみづくり	介護連絡ノートの 普及・推進	同左	同左	
事業費	840千円	千円	千円	

第三者評価の推進	地域密着型サービス第三者評価受審費用助成	同左	同左
事業費	13,960千円	千円	千円
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
要介護度改善支援実施事業【新】	翌年度交付対象事業者の確認(事業初年度)	奨励金交付 翌年度交付対象事業者の確認	同左
事業費	0千円	千円	千円

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

412 介護に関する相談・情報提供体制の充実

地域包括支援センター(熟年相談室:現在18センター、8分室)については、地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮するため、地域の実情に合わせて相談体制を強化します。

また、介護保険制度改正により、新たな地域包括支援事業として位置付けられた3事業の充実を図ります。

○在宅医療と介護の連携・・・居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の研修や課題抽出のための会議を実施

○認知症施策の推進・・・認知症地域支援推進の配置等、地域の実情に合わせて相談体制を強化

○生活支援サービスの体制整備・・・地域包括ケアシステムの中核機関を担うための体制を整備急速に高齢化する地域の熟年者やその家族を継続的・包括的に支える地域包括ケアシステムの中核機関として、その機能を十分に発揮する体制の整備

施策コード	412	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左	同左
事業費	88,600千円	千円	千円	千円

413 介護に関する人材・ボランティア団体の育成

ボランティアセンターとの連携を図りながら、介護に関する人材・ボランティア団体を育成します。

また、区が、区内の専門学校卒業生を最長3年間、福祉・介護支援員(非常勤職員)として雇用し、福祉及び介護分野における多様な問題に対応できる人材として育成します。

施策コード	413	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
介護に関する人材・ボランティア団体の育成	熟年介護サポーターの育成・活動内容の拡充	同左	同左	同左
事業費	3,391千円	千円	千円	千円

社会福祉士等卒後連携事業	採用数5人(予定)	継続	同左
事業費	19,141千円	千円	千円

414 認知症の高齢の人々に対する支援の充実

江戸川区医師会地域包括支援センター(熟年相談室)を中心として、認知症への理解を広く地域に浸透させるとともに、認知症ホットライン、総合窓口相談の設置、地域包括支援センター(熟年相談室)や介護サービス事業者等からの相談対応、認知症の早期発見、早期対応に努めます。併せて地域の関係機関との連携を推進します。また、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症に対する社会的な理解を深めるとともに、認知症サポーターの活躍の場等を検討します。

施策コード	414	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
認知症地域ネットワーク活用事業の実施	実施	同左	同左	
事業費	7,236千円	千円	千円	
認知症サポーター養成講座の実施	1,800人	同左	同左	
事業費	1,360千円	766千円	1,360千円	
「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実再掲412	体制整備及び事業の充実	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」:事業費は、「地域包括支援センター(熟年相談室)」の充実(施策コード412)の中で計上しています。

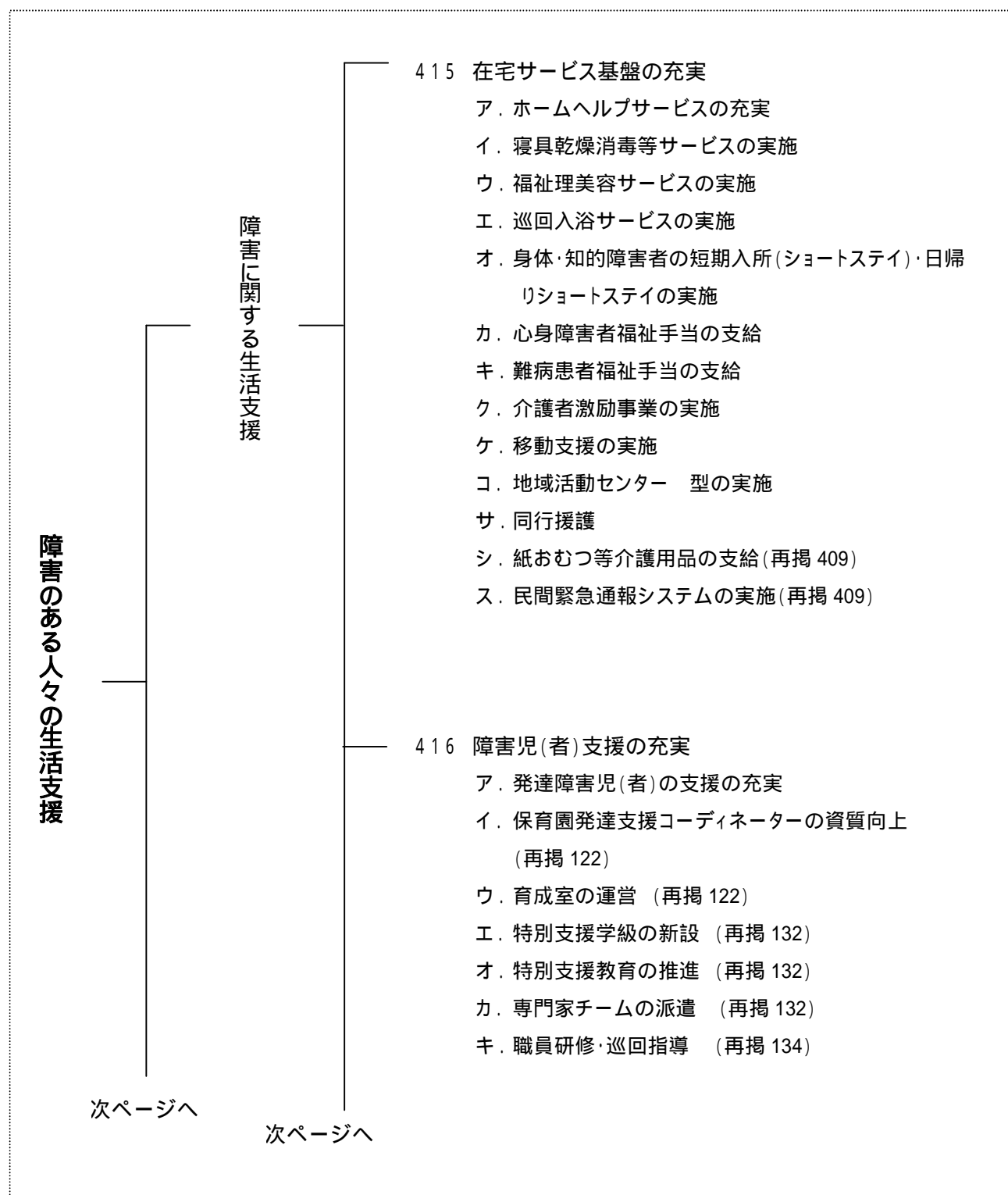
3 障害のある人々の生活支援

【施策の考え方】

身体、知的及び精神障害のある人々とその家族が、地域の中で自立して生活ができ、安心して毎日が暮らせるよう、地域生活支援の充実を図ります。また、生きがいをもって生活を営める環境を整えるため、職業訓練や就労の場づくり、安心して住める多様な住宅の整備、施設の充実等を進めます。

特に精神障害のある人々については、地域生活を支援するサービスの基盤整備を図り、医療と連携した生活相談、訓練等を通じた社会復帰を支援します。

【施策体系図】



前ページより

前ページより

- 4 1 7 障害のある人々の健康支援
 - ア. 江戸川区口腔保健センターへの事業補助
 - イ. 中途障害者へのリハビリテーションの実施
 - ウ. リハビリテーション相談
リハビリテーション関係者に対する支援と連携の推進
 - エ. 在宅リハビリテーション指導の実施
- 4 1 8 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実
 - ア. 地域自立支援協議会の開催
- 4 1 9 職業訓練と就労の場づくり
 - ア. 障害者就労支援センターの運営
- 4 2 0 生きがいと社会貢献の場づくり
 - ア. 福祉タクシー券の助成
 - イ. 自動車燃料費の助成
 - ウ. 自動車運転教習費の助成
 - エ. 身体障害者用自動車改造費の助成
- 4 2 1 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備
 - ア. 知的障害者グループホーム等の運営支援
 - イ. 民間賃貸住宅家賃助成
 - ウ. 住まいの改造助成
- 4 2 2 身近な地域での施設整備
 - ア. 区立障害者施設の充実
- 4 2 3 自助グループなどへの支援
 - ア. 家族会が主体的に活動するための支援
- 4 2 4 社会復帰への支援
 - ア. 心の専門グループワークの実施
 - イ. 総合的相談体制の整備
 - ウ. 医療と連携した社会復帰支援
 - エ. 自立のための支援施策の充実
 - オ. 就労訓練や就労の場づくり
 - カ. 作業・レクリエーション・交流等を通じた居場所づくり
- 4 2 5 精神障害のある人々についての理解促進
 - ア. 民間事業者やNPO等サービス供給主体の指導・育成・相談体制の整備

精神障害のある人々の
社会復帰への支援

次ページへ

前ページより

発達障害者(児)への
ライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

- ア. 早期発見のための乳幼児健診の充実 (再掲 303)
- イ. 発達障害支援会議の運営 (再掲 416)
- ウ. 乳幼児施設等巡回支援事業 (再掲 416)
- エ. 発達障害支援民間事業所支援力向上研修費助成事業
- オ. 支援者向け情報ガイドの配付
- カ. サポートファイルの配付・普及(再掲 416)
- キ. 発達障害相談センター相談事業の充実 (再掲 416)
- ク. 各種講座の企画の実施(再掲 416)
- ケ. 理解普及啓発事業の実施 (再掲 416)
- コ. 保育園発達支援コーディネーターの資質向上(再掲 122)
- サ. 育成室の運営 (再掲 122)
- シ. 特別支援学級の新設 (再掲 132)
- ス. 特別支援教育の推進 (再掲 132)
- セ. 専門家チームの派遣 (再掲 132)
- ソ. 教育相談事業の充実 (再掲 114)
- タ. 職員研修・巡回指導 (再掲 134)

(1) 障害に関する生活支援

415 在宅サービス基盤の充実

障害者の社会参加の促進及び生活の質の向上を図るため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、障害福祉サービスの基盤整備の支援及び地域生活支援事業の充実に努めます。

施策コード	415	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
ホームヘルプサービスの充実		実施	同左	同左
事業費		4,668,110千円	千円	千円
寝具乾燥消毒等サービスの 実施		実施	同左	同左
事業費		9,983 千円	10,065 千円	10,293 千円
福祉理美容サービスの実施		実施	同左	同左
事業費		9,983 千円	8,501 千円	8,501 千円
巡回入浴サービスの充実		実施	同左	同左
事業費		54,193千円	55,277千円	56,383千円

身体・知的障害者の短期入所(ショートステイ)・日帰りショートステイの実施	実施	同左	同左
事業費	192,117千円	千円	千円
心身障害者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	2,173,860千円	2,186,493千円	2,199,777千円
難病患者福祉手当の支給	実施	同左	同左
事業費	106,200千円	101,421千円	96,858千円
移動支援の実施	実施	同左	同左
事業費	591,933千円	千円	千円
地域活動センター型の実施	実施	同左	同左
事業費	80,608千円	千円	千円
同行援護	実施	同左	同左
事業費	114,673千円	千円	千円
紙おむつ等介護用品の支給 再掲409	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
民間緊急通報システムの実施 再掲409	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

地域活動支援センター型:創作的活動等の提供等の他に、機能訓練、社会的適応訓練、入浴等のサービスを実施する機関。
「-」:事業費は、紙おむつ等介護用品の支給、民間緊急通報システムの実施(施策コード409)の中で計上しています。

416 障害児(者)支援の充実

育成室の充実や障害を有する児童一人ひとりに応じた、適切な教育支援ができるよう、特別支援学級の新設等を行います。また、個々の児童・生徒の障害に応じた教育活動を推進するために、研究校を指定して、区の特別支援教育をレベルアップしていきます。専門研修では、都立特別支援学校との連携を図り、内容の充実を図ります。

通常学級に在籍している発達障害のある児童生徒は年々増加しています。その子ども達への望ましい教育的対応について専門家から意見の提示や助言を受けることで個々の児童生徒への支援につながっており、これからも新たな専門家の確保に努めながら事業を展開していきます。

発達障害に関する各部署及び機関が適切に連携し、情報の共有を図ることにより発達障害者(児)への支援等を一層向上させるために各会議を開催します。また、区内で発達障害に関する相談・支援に携わる支援者向けに、他機関の取り組みや事業内容・サービス内容を掲載した支援者向け情報ガイドを作成し配付します。

家庭と支援機関の情報共有、次ステージへの引き継ぎ支援のツールとなるサポートファイル我希望する保護者に配付し、活用講座を開催するとともに、その普及を図ります。

発達障害:発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。

学習障害(LD):基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち

特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

注意欠陥多動性障害(AD/HD):不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	416	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
発達障害児(者)の 支援の充実	発達障害支援会議等 の運営・連携の推進	同左	同左	
	乳幼児施設等巡回支 援事業の実施	同左	同左	
	発達障害支援民間事 業所支援力向上研修 費助成事業の実施	同左	同左	
	支援者向け情報ガイド の配付	同左	同左	
	サポートファイルの配 付・普及	同左	同左	
	発達障害相談センター 相談事業の充実	同左	同左	
	各種講座の企画の 実施と検証	推進	同左	
	理解普及啓発事業の 実施	推進	同左	
事業費	千円	千円	千円	
保育園発達支援コーディネ ーターの資質の向上 再掲122	資質の向上 関係機関との連携強化	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
育成室の運営 再掲122	療育の充実 発達相談の充実 育成室新設準備	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
特別支援学級の新設 再掲132	春江小学校(知的) 東葛西小学校(情緒) 小岩第五中学校(知的)	新田小学校(知的) 小学校(言語) 対象校は未定		
事業費	千円	千円	千円	
特別支援教育の推進 再掲132	エンカレッジルーム の設置	エンカレッジルームを 活用した教育の充実	同左	
	特別支援教育研修	同左	同左	
	専門研修の実施	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

専門家チームの派遣 再掲132	推進	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
教育相談事業の充実 再掲114	相談室4ヶ所	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
職員研修・巡回指導 再掲134	実施(10校・3回)	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

「-」:事業費は、発達障害児(者)の支援の充実(施策コード426)、保育園発達支援コーディネーターの資質の向上、育成室の運営、(施策コード122)、特別支援学級の新設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード132)、教育相談事業の充実(施策コード114)職員研修・巡回指導(施策コード134)の中で計上しています。

417 障害のある人々の健康支援

江戸川区口腔保健センターにおける障害者(児)等の歯科診療の充実と口腔ケアの向上を図るため、引き続き歯科医師会と連携し、運営支援を行います。

理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士が、疾病、外傷や加齢により生活機能に支障を生じた区民のリハビリテーションに関する相談・支援を行います。また、リハビリテーションや介護に関わる事業者などに対して、技術の向上のため知識及び技術の普及を図るとともに、リハビリサービス情報の一元化やネットワークづくりにより、リハビリ関係者が主体的に生活支援などのサービスが提供できる環境づくりを進めます。

施策コード	417	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
江戸川区口腔保健センターへの事業補助	運営支援	同左	同左	同左
事業費		109,786千円	110,839千円	111,708千円
中途障害者へのリハビリテーションの実施	自立支援セミナー(リハビリ教室)の実施 46回	同左	同左	同左
事業費		1,289千円	1,289千円	1,289千円
リハビリテーション相談	随時相談(訪問・電話等) 相談日 年42回	同左	同左	同左
事業費		1,018千円	1,018千円	1,018千円
リハビリテーション関係者に対する支援と連携の推進	講習会の開催 3回 リハビリテーション研修の開催1回 リハビリテーション連絡会の開催	同左	同左	同左
事業費		115千円	115千円	115千円

在宅リハビリテーション指導 の実施	リハビリテーション指導 (訪問・電話等)	同左	同左
事業費	57千円	57千円	57千円

418 障害に関する身近な相談・情報提供体制の充実

障害のある方の地域における自立した生活を支えるため、医療、保健、福祉、教育及び就労等に関わる機関とのネットワーク構築を推進する中核機関として開催し、地域の関係機関との連携等についての協議、障害福祉計画策定に際しての意見聴取等を行います。

施策コード	418	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
地域自立支援協議会の開催		3回	同左	同左
事業費		467千円	467千円	467千円

419 職業訓練と就労の場づくり

一般就労への移行を推進するため、「江戸川区障害福祉計画」に基づき、企業、養護学校、公共職業安定所等の関係機関との連携を図りながら、就労支援等に努めます。

施策コード	419	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
障害者就労支援センターの 運営		実施	同左	同左
事業費		66,418千円	66,418千円	66,418千円

420 生きがいと社会貢献の場づくり

障害者の自立と社会参加の拡大を図るため、外出困難な身体又は知的障害者に対し、タクシーの乗車に係る料金の一部を助成するとともに、一定の障害を有する身体障害者が自ら使用する自動車、一定の障害を有する身体障害又は知的障害者(児)の介護者が運転する自動車燃料費の一部を助成します。また、社会参加及び生活圏の拡大を図るため、心身障害者が自動車運転免許を取得する際の教習費の一部を助成します。

施策コード	420	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
福祉タクシー券の助成		実施	同左	同左
事業費		218,267千円	226,775千円	228,979千円
自動車燃料の助成		実施	同左	同左
事業費		63,225千円	65,144千円	67,070千円
自動車運転教習費の助成		実施	同左	同左
事業費		2,000千円	2,000千円	2,000千円
身体障害者用自動車改造費 の助成		実施	同左	同左
事業費		3,000千円	3,000千円	3,000千円

421 障害のある人々が安心して住める多様な住宅の整備

障害者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して生活が続けられるよう、グループホーム等の運営支援を行います。また、住まいの改造等、住居の整備を支援します。

施策コード	421	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
知的障害者グループホーム等の運営支援	実施	同左	同左	
事業費	20,701千円	千円	千円	
民間賃貸住宅家賃助成	実施	同左	同左	
事業費	5,804千円	5,804千円	5,804千円	
住まいの改造助成	実施	同左	同左	
事業費	6,668千円	6,668千円	6,668千円	

422 身近な地域での施設整備

民間事業者等のノウハウや経営手法を活用することにより、利用者のニーズに対応したきめ細かなサービスの提供を行っていきます。

施策コード	422	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
区立障害者施設の充実	区立障害者施設の指定管理者による運営	同左	同左	
事業費	2,501,602千円	2,501,602千円	2,501,602千円	

(2) 精神障害のある人々の社会復帰への支援

423 自助グループなどへの支援

家族が互いの悩みや気持ちを分かち合い、精神的な負担を軽減することで、生き生きとした生活に結びつくよう、交流の場づくりや学習会・講演会の開催等の活動を支援していきます。

施策コード	423	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
家族会が主体的に活動するための支援	活動費の助成	同左	同左	
事業費	200千円	200千円	200千円	

424 社会復帰への支援

精神障害者とその家族が、地域で安心して暮らすための総合的・包括的な支援体制づくりをすすめ、入院生活から地域移行に向けた相談支援、個々のニーズに応じた就労支援、日中活動の場の整備等を推進していきます。また、病気の再発・悪化防止に留意し、保健医療福祉等の連携を密にして、きめ細やかな支援体制を構築します。

施策コード	424	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
心の専門グループワークの実施	8ヶ所	同左	同左	
事業費	11,601千円	11,601千円	11,601千円	
総合的相談体制の整備	地域活動支援センター型と相談支援事業所の役割分担の明確化	地域活動支援センター型と相談支援事業所の整備	同左	
事業費	71,034千円	71,034千円	71,034千円	
医療と連携した社会復帰支援	地域移行及び地域定着の推進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
自立のための支援施策の充実	地域生活安定化支援・居住支援・自立生活体験事業の実施	同左	同左	
事業費	29,596千円	29,596千円	29,596千円	
就労訓練や就労の場づくり	就労支援事業の実施、就労移行事業所等への運営費等助成	同左	同左	
事業費	71,015千円	71,015千円	71,015千円	
作業・レクリエーション・交流などを通じての居場所づくり	地域活動支援センター型の運営費補助	同左	同左	
事業費	41,725千円	41,725千円	41,725千円	

地域活動支援センター 型: 創作的活動等の提供等の他に、精神保健福祉士等を配置し、関係機関等との連携を図りながら、相談支援等を実施する事業所。

地域活動支援センター 型: 創作的活動等の提供等の他に、レクリエーションやミーティング等を実施する事業所。

425 精神障害のある人々についての理解促進

サービス事業者の新規開拓と資質向上を目指し、精神障害者に対する正しい知識と支援法を学ぶための講座を開催します。また、地域住民の障害者に対する理解の促進を図り、支援施設・事業所等で活動するボランティア育成を進めます。

施策コード	425	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
民間事業者やNPOなどサービス提供主体の指導・育成・相談体制の整備	事業者研修・ボランティア養成講座の開催	同左	同左	
事業費	124千円	124千円	124千円	

(3) 発達障害者(児)へのライフステージに応じた支援

426 発達障害者(児)への支援

乳幼児健診や集団の場等において、早期発見できる体制の充実を図ります。

発達障害相談センターは、江戸川区の発達障害支援の窓口として相談事業の充実を図り、ライフステージにおける一貫した支援を継続するため、必要に応じ各機関と連絡調整を行うコーディネーター機能を担います。また、発達障害に関する各部署及び機関が適切に連携し、情報の共有を図ることにより、発達障害者(児)への支援等を一層向上させるため、各会議を開催します。

家庭と支援機関の情報共有、次ステージへの引き継ぎ支援のツールとなるサポートファイルを希望する保護者に配付し、活用講座を開催するとともに、その普及を図ります。

区内の乳幼児施設等に心理相談員を派遣する巡回支援事業、支援者向け情報ガイドの作成・配付及び児童発達支援事業所等が実施する研修等への助成など支援者への支援を実施します。

併せて、発達障害への理解を普及するため、リーフレットの配布や講演会を実施します。

また、育成室は、集団療育、個別療育、相談等を実施し、障害児の成長を支援していきます。さらに、新設の育成室開設に向けて準備していきます。

発達障害児の増加に対応するため、小・中学校に特別支援学級の新設、エンカレッジルームの活用及び専門家の派遣など、教育研究所の相談とともに、特別支援教育の推進を図ります。

発達障害・発達障害者支援法第2条の定義に基づき、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(AD/HD)その他これに類する脳機能の障害であってその症状が低年齢において出現するもの。
 学習障害(LD):基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すもの。

注意欠陥多動性障害(AD/HD):不注意、多動性及び衝動性を中心とした症状とする発達障害。

施策コード	426	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
早期発見のための乳幼児健診の充実 再掲303	実施	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	
発達障害支援会議の運営 再掲416	連携の推進	同左	同左	
事業費	260千円	千円	千円	
乳幼児施設等巡回支援事業 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	7,927千円	千円	千円	
発達障害支援民間事業所支援力向上研修費助成事業 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	1,000千円	千円	千円	
支援者向け情報ガイドの配付 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	120千円	千円	千円	
サポートファイルの配付・普及 再掲416	実施	同左	同左	
事業費	571千円	千円	千円	

発達障害相談センター 相談事業の充実 再掲416	実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
各種講座の企画の実施 再掲416	実施・検証	推進	同左
事業費	417千円	千円	千円
理解普及啓発事業の実施 再掲416	リーフレット配付・講演 会等の実施	同左	同左
事業費	878千円	878千円	878千円
保育園発達支援コーディネーターの資質の向上 再掲122	資質の向上 関係機関との連携強化	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
育成室の運営 再掲122	療育の充実 発達相談の充実 育成室新設準備	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
特別支援学級の新設 再掲132	春江小学校(知的) 東葛西小学校(情緒) 小岩第五中学校(知的)	新田小学校(知的) 小学校(言語) 対象校は未定	
事業費	千円	千円	千円
特別支援教育の推進 再掲132	エンカレッジルーム の設置	エンカレッジルームの 活用した教育の充実	同左
	特別支援教育研修	同左	同左
	専門研修の実施	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
専門家チームの派遣 再掲132	推進	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
教育相談事業の充実 再掲114	相談室4ヶ所	同左	同左
事業費	千円	千円	千円
職員研修・巡回指導 再掲134	実施(10校・3回)	同左	同左
事業費	千円	千円	千円

「-」:事業費は、母子保健の充実(乳幼児健診の実施)(施策コード303)、保育園発達支援コーディネーターの資質の向上、育成室の運営、教育相談事業の充実(施策コード114)、特別支援学級の新設・移設、特別支援教育の推進、専門家チームの派遣(施策コード132)、職員研修・巡回指導(施策コード134)の中で計上しています。

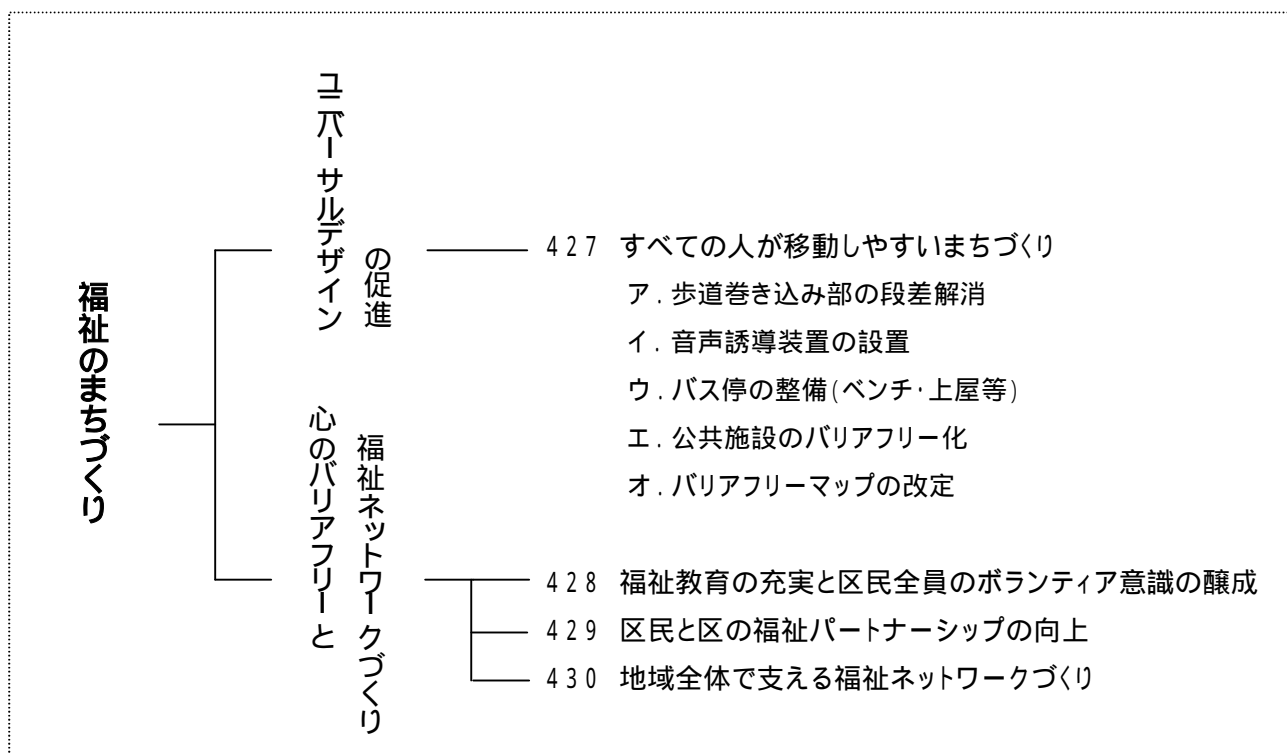
4 福祉のまちづくり

【施策の考え方】

歩道の拡幅、道路段差の解消、公共施設のバリアフリー化等を推進し、年齢、障害の有無等に関わりなく、区民誰もが活動の場を広げ、社会参加のしやすいまちづくりを進めます。

また、すべての区民がたすけあい、支えあい、ともに生きる社会をつくるために、子どもの頃から福祉の関心を高めるよう地域社会、学校、職場等のあらゆる場で心のバリアフリーを推進し、区民全員のボランティア意識の醸成、福祉ネットワークの形成等に取り組めます。

【施策体系図】



(1)ユニバーサルデザイン の促進

427 すべての人が移動しやすいまちづくり

バリアフリー のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーターや自動扉の設置、多目的手洗所への改修等のバリアフリー化を推進します。また、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

誰もが安心して街に出かけ施設利用ができるように、バリアフリーマップの改定版を作成し、周知及び活用に努めます。

ユニバーサルデザイン：年齢、性別、能力の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

バリアフリー：人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	427	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
歩道巻き込み部の段差解消		道路改修及び占用工事にあわせて改修	同左	同左
事業費		50,000千円	50,000千円	50,000千円
音声誘導装置の設置		設置工事4基	設置工事2基	同左
事業費		2,808千円	1,404千円	1,404千円

バス停の整備 (ベンチ・上屋等)	0ヶ所	2ヶ所	同左
事業費	0千円	11,016千円	11,016千円
公共施設のバリアフリー化	手洗所改修2施設	手洗所改修6施設	同左
事業費	132,192千円	396,000千円	396,000千円
バリアフリーマップの改定	2000冊作成	配布	同左
事業費	5,500千円	0千円	0千円

(2)心のバリアフリーと福祉ネットワークづくり

428 福祉教育の充実と区民全員のボランティア意識の醸成

福祉教育の充実により区民全員のボランティア意識の醸成を図ります。

429 区民と区の福祉パートナーシップの向上

地域で福祉を支えられるように、区民と区の福祉パートナーシップの向上に取り組めます。

430 地域全体で支える福祉ネットワークづくり

すべての人が地域の中で安心して社会生活が送れるよう、地域福祉を担う関係機関等の連携を強化していきます。

第4節

区民参加による環境づくり

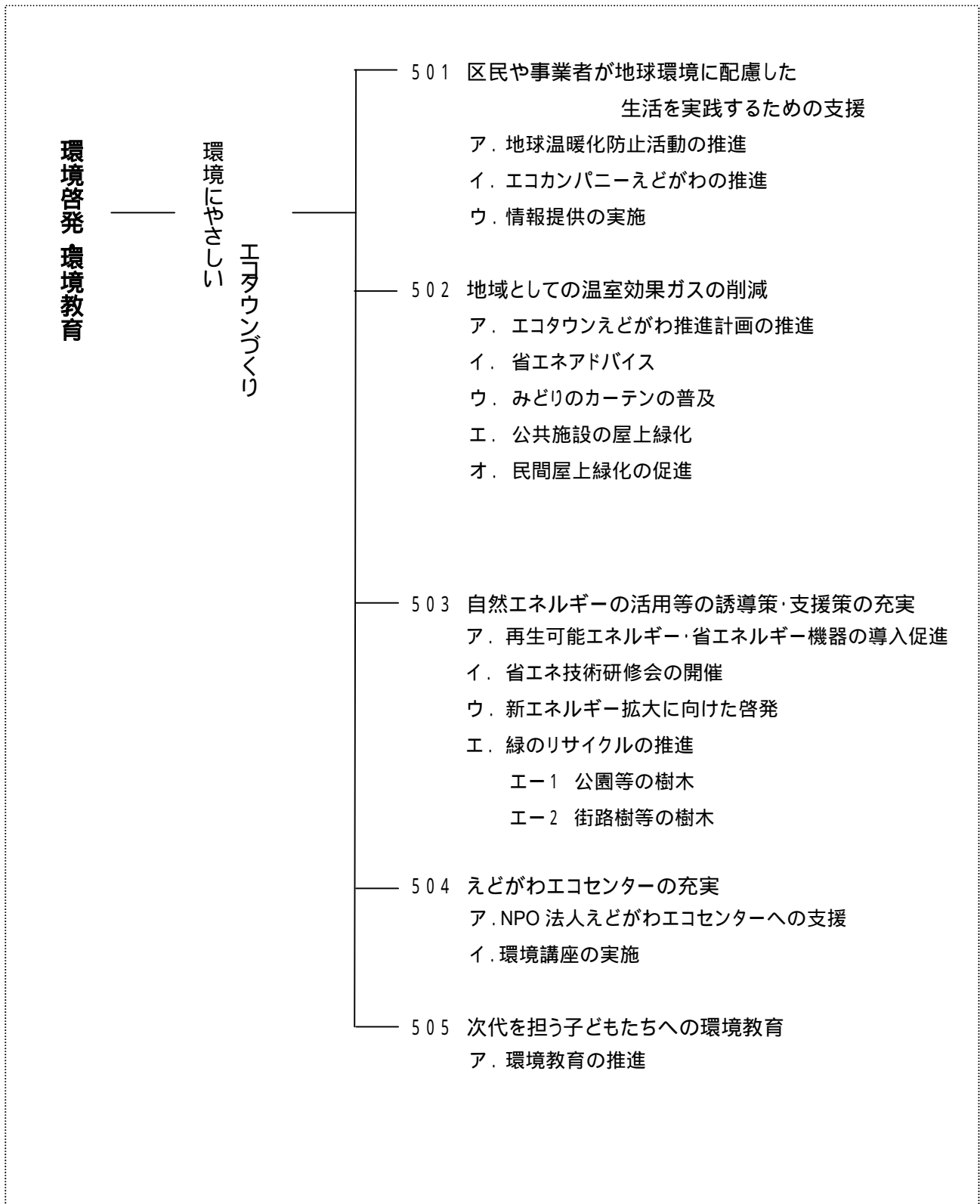
- 1 環境啓発・環境教育
 - (1) 環境にやさしいエコタウンづくり
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
 - (1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
 - (2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
 - (1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
 - (2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - (1) 生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係性をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、えどがわエコセンターと連携し、環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取組みにつなげます。

【施策体系図】



(1)環境にやさしいエコタウンづくり

501 区民や事業者が地球環境に配慮した生活を実践するための支援

地球温暖化防止を図るため、えどがわエコセンター と連携し、省エネ・省資源・ごみ減量等にみんなが取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大します。併せて、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取組みを支援します。

えどがわエコセンター：江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

「エコカンパニーえどがわ」事業：環境活動の取組みに対する宣言をした事業所を、「環境取組事業所」として登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
地球温暖化防止活動の推進		もったいない運動えどがわの拡大	同左	同左
事業費		1,227千円	1,227千円	1,227千円
エコカンパニーえどがわの推進		登録事業所の拡大	同左	同左
		事業者の取組支援	同左	同左
事業費		244千円	244千円	244千円
情報提供の実施		情報紙発行支援及びホームページの充実	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」：事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

502 地域としての温室効果ガスの削減

地域をあげて地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画 の推進に努めます。また、省エネアドバイス 等により活動を拡大します。

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例 に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装、保水性舗装 を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象 の抑制を図ります。

エコタウンえどがわ推進計画：地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

省エネアドバイス：中小事業者を対象に節電アドバイザーを派遣し、それぞれの事業所にあった対策を提案する事業。

住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

透水性舗装：雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

保水性舗装：道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

ヒートアイランド現象：都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
エコタウンえどがわ推進計画の推進		推進本部の運営	同左	同左
		計画の推進	同左	同左
事業費		74千円	74千円	74千円
省エネアドバイス		都や国の省エネ診断事業の紹介	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

みどりのカーテンの普及	モニター事業	同左	同左
	区民への周知	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
公共施設の屋上緑化	2 施設	3 施設	1 施設
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
民間屋上緑化の促進	促進件数100件	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)、小中学校の改築(施策コード129)の中で計上しています。

503 自然エネルギーの活用等の誘導策・支援策の充実

住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を促進するため、えどがわエコセンターで実施する太陽エネルギー利用講習会への支援や、機器の導入に対する補助・支援制度の周知を行います。

省エネ技術研修会を開催し、環境に配慮した事業所の運営を支援するとともに、省エネルギー機器の効果等の紹介を行うことにより導入を促進します。

水素・燃料電池をテーマとした講演会の開催等をとおして、新エネルギー拡大について区民の意識向上を図ります。

剪定枝、枯損木、倒木等の発生材を、緑のボランティア団体や保育園・小中学校などでの樹名板や各種工作用の材料として有効活用を図ります。

施策コード		503	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入促進		区民への情報提供	同左	同左	
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円	
省エネ技術研修会の開催		省エネ技術研修会の開催	同左	同左	
事業費		74千円	74千円	74千円	
新エネルギー拡大に向けた啓発		水素・燃料電池について講演会等を開催	同左	同左	
事業費		200千円	200千円	200千円	
緑のリサイクルの推進	公園等の樹木	リサイクル率 100% 剪定枝のチップ化 1,000 m ³ 落ち葉の腐葉土化 300 m ³	同左	同左	
	事業費	16,240千円	16,240千円	16,240千円	
	街路樹等の樹木	樹名板 500枚 工作教材等10 m ³	同左	同左	
	事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

504 えどがわエコセンターの充実

区民、事業者及び区が連携・協働した環境活動の輪をさらに広げるため、その中心となるえどがわエコセンターの活動を支援します。また、えどがわエコセンターで実施する学習会等の環境講座を支援するとともに、地域の環境学習リーダーを育成するための「おきがる環境講座」等の実施を委託します。

施策コード	504	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
NPO法人えどがわエコセンターへの支援		活動支援	同左	同左
事業費		43,672千円	43,672千円	43,672千円
環境講座の実施		各種環境講座	同左	同左
		人材育成事業	同左	同左
事業費		1,043千円	1,043千円	1,043千円

505 次代を担う子どもたちへの環境教育

えどがわエコセンターで実施するグリーンプラン推進校 事業や、小・中学校の環境学習事業等を支援します。また、「学校版もったいない運動」と連携し、環境教育のさらなる拡大を図ります。

さらに、諸団体等が地域で行っている環境に関する活動に対して支援を行います。

グリーンプラン推進校：えどがわエコセンターと協働し、学校における環境学習を推進するモデル校。

施策コード	505	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境教育の推進		グリーンプラン推進校の拡大及び小中学校の環境学習支援	同左	同左
		学校版もったいない運動との連携	同左	同左
		地域の実情に合わせた活動の支援	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

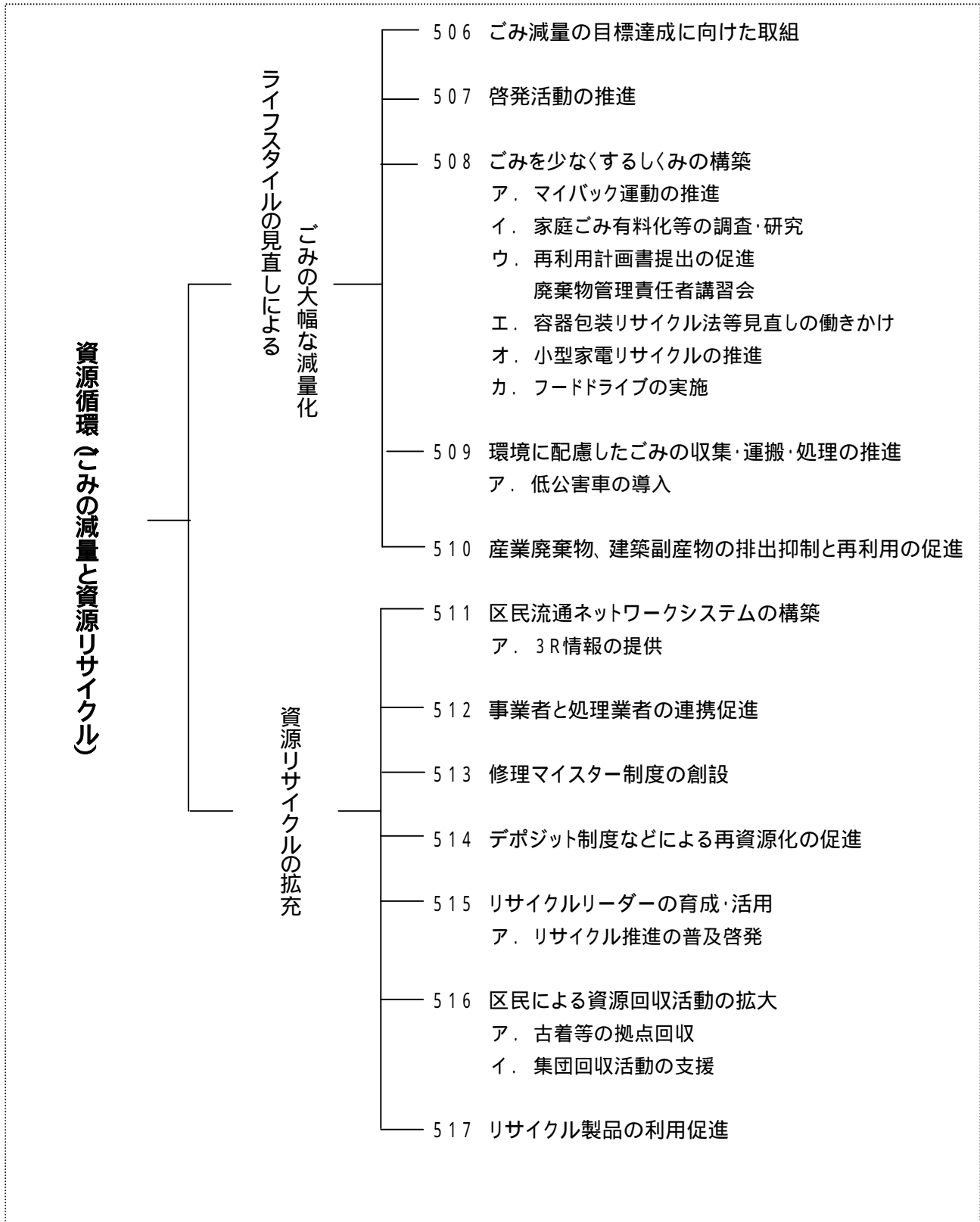
「-」：事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により減少傾向にあります。ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

506 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成33年度までに平成12年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

507 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取組みを拡大するため、学校、町会・自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

508 ごみを少なくするしくみの構築

えどがわエコセンターと連携を図りつつ、スーパー、コンビニ等の事業者、区民、区が一体となり、マイバッグの利用を促進し、ごみの減量を推進します。また、効果的なごみ減量施策のあり方について、学識経験者・区民・事業者の代表による廃棄物減量等推進審議会等で調査・研究します。

さらに、事業用面積が1,000㎡を超える大規模事業所を対象に、再利用計画書の作成・提出を促すとともに、廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者におけるごみの発生抑制、事業者処理責任の徹底を促進するとともに、拡大生産者責任に基づいて、事業者が主体的にリサイクルに取組むよう、国や事業者に働きかけを行います。また、小型家電リサイクルの推進やフードドライブの実施により、資源化の推進とごみの減量を図ります。

施策コード	508	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
マイバッグ運動の推進	マイバッグ運動推進	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
家庭ごみ有料化等の調査・研究	廃棄物減量等推進審議会の開催 組成調査の実施	同左	同左	同左
事業費	3,040千円	3,040千円	3,040千円	3,040千円
再利用計画書提出の促進 廃棄物管理責任者講習会	実施	同左	同左	同左
事業費	482千円	千円	千円	千円
容器包装リサイクル法等 見直しの働きかけ	実施	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
小型家電リサイクルの推進	実施	同左	同左	同左
事業費	0千円	千円	千円	千円
フードドライブの実施	実施	同左	同左	同左
事業費	29千円	29千円	29千円	29千円

509 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	509	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
低公害車の導入		小型プレス車1台 新大型特殊車1台	耐用年数を越えた車両 の買い替え時に導入	同左
事業費		22,626千円	千円	千円

510 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2) 資源リサイクルの拡充

511 区民流通ネットワークシステムの構築

区民の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))の取組みを促進するために、わかりやすい情報を情報紙や区ホームページ等を活用して提供します。

施策コード	511	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
3R情報の提供		3R店舗情報の提供 リサイクルバンク情報の 提供	同左	同左
事業費		243千円	243千円	243千円

512 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

513 修理マイスター 制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成について研究します。

マイスター:ドイツのものづくりの「親方」。「親方の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

514 デポジット制度 などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取組みについて研究します。

デポジット制度:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

515 リサイクルリーダーの育成・活用

資源の有効利用を促進するためにリサイクル施設見学会等の開催や分別・リサイクルの情報誌発行し、リサイクルの取り組みを広めます。

施策コード	515	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
リサイクル推進の普及啓発		リサイクル施設見学会等の実施 リサイクル情報誌の発行	同左	同左
事業費		5,626千円	5,626千円	5,626千円

516 区民による資源回収活動の拡大

区内施設を活用した古着等の拠点回収を実施し、ごみ減量と資源化を推進します。また平成27年度からは葛西清掃事務所・葛西清掃事務所小松川分室での常設回収も開始し、利便性の向上を図ります。

地域力を生かし、良質な資源を効率的に回収できる集団回収活動を支援します。実施団体の安定的な運営を図るため、回収量に応じた報奨金の支給や集団回収ニュース等の配布等の支援を行います。

また、集団回収は資源の持ち去り防止対策としても有効なことから、より多くの方に参加していただくよう未実施町会等への働きかけを積極的に進めます。

さらに、回収業者に対しても、安定的な回収のために、資源の市況を参考にしながら支援を行います。

施策コード	516	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
古着等の拠点回収		古着・古布リサイクル回収の実施	同左	同左
事業費		6,761千円	6,761千円	6,761千円
集団回収活動の支援		実施	同左	同左
事業費		80,298千円	80,298千円	80,298千円

517 リサイクル製品の利用促進

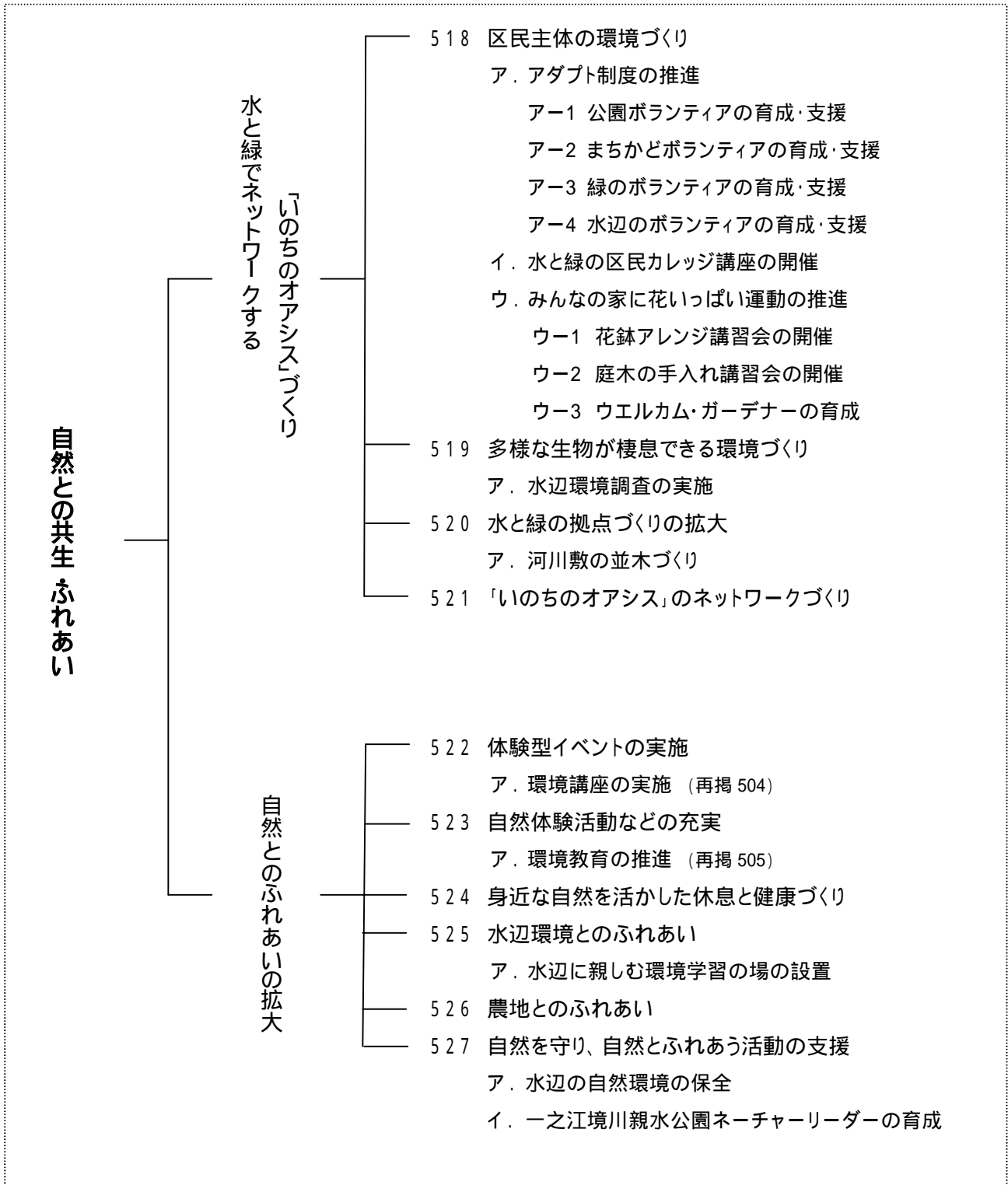
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうるおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

518 区民主体の環境づくり

アダプト制度 を利用した各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、「みんなの家に花いっぱい運動」を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

アダプト活動:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

施策コード		518	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
アダプト制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	4,140千円	4,140千円	4,140千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	ボランティア活動を周知する広報活動	同左	同左	
	事業費	20千円	20千円	20千円	
	緑のボランティアの育成・支援	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左	
	事業費	50千円	50千円	50千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左	
	事業費	20千円	20千円	20千円	
水と緑の区民カレッジ講座の開催		26講座	同左	同左	
事業費		828千円	828千円	828千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	10会場	同左	同左	
	事業費	262千円	262千円	262千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会9会場	同左	同左	
		緑の相談所9会場	同左	同左	
	事業費	118千円	118千円	118千円	
ウェルカム・ガーデナーの育成	5会場	同左	同左		
事業費		649千円	649千円	649千円	

519 多様な生物が棲息できる環境づくり

水辺環境調査をえどがわエコセンターに委託し実施することで現状把握を行い、そのデータを水辺の自然の保全活動に活用していきます。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺環境調査の実施	水辺環境調査		同左	同左
事業費		1,674千円	1,674千円	1,674千円

520 水と緑の拠点づくりの拡大

旧江戸川における堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備を推進します。

施策コード	520	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
河川敷の並木づくり	旧江戸川の桜等植栽計画		設計	実施
事業費		1,000千円	1,000千円	千円

521 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

(2) 自然とのふれあいの拡大

522 体験型イベントの実施

えどがわエコセンターで実施する自然観察会等の環境講座を支援します。

施策コード	522	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境講座の実施 再掲504	環境講座		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、環境講座の実施(施策コード504)の中で計上しています。

523 自然体験活動などの充実

えどがわエコセンターを中心とした、諸団体が地域で行う環境に関する活動に対して支援を行います。

施策コード	523	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境教育の推進 再掲505		地域の実情に合わせた活動の支援	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

524 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

525 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図り、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを推進します。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺に親しむ環境学習の場の設置		環境学習等の場としての活用	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

526 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実を図ります。

527 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

多くの生き物が生息する水辺の自然生態系を保全し、また国や都との連携により復元・再生を図って、より良い水辺づくりを推進します。また、親水公園周辺に生息する生物や植物について学び、自然に親しみながら生物調査と環境学習指導者を育成します。

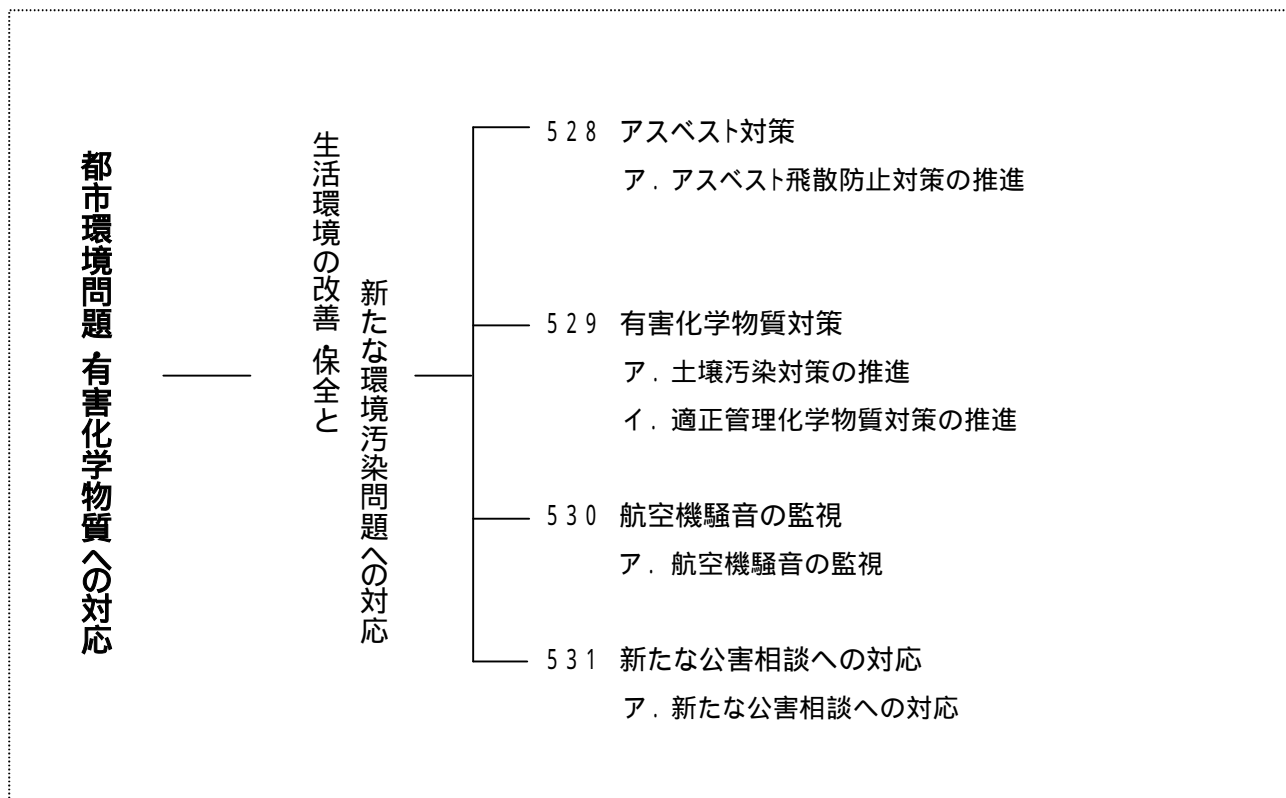
施策コード	527	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺の自然環境の保全		水辺の保全・復元再生	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
一之江境川親水公園 ネイチャーリーダーの育成		ネイチャーリーダーの育成支援等	同左	同左
事業費		140千円	140千円	140千円

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、国及び都と協力しながら、区民、事業者等ともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

528 アスベスト対策

解体工事等における事前調査や作業方法の不備によるアスベスト飛散を防止するため、工事業者に対して適切な工事方法を指導します。また、建築物のアスベスト調査費の助成や、大気環境中のアスベスト濃度を測定するなど、アスベスト対策を推進します。

施策コード	528	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
アスベスト飛散防止対策の推進	建築物等の解体等工事に対する指導		同左	同左
	アスベスト除去等作業に対する指導		同左	同左
	大気環境測定の実施		同左	同左
	アスベスト調査費の助成		同左	同左
事業費		848千円	848千円	848千円

529 有害化学物質対策

有害物質による土壌汚染やVOCによる大気汚染の未然防止のため、適正管理化学物質の適切な取扱い方法や法令に定める制度についての周知徹底を行ない、化学物質対策を推進します。

施策コード	529	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
土壌汚染対策の推進	有害物質取扱事業所 に対する啓発及び指導	同左	同左	
事業費	137千円	137千円	137千円	
適正管理化学物質対策の 推進	適正管理化学物質取 扱事業所に対する啓発 及び指導	同左	同左	
事業費	220千円	220千円	220千円	

530 航空機騒音の監視

羽田空港着陸機の南風悪天候時等における、区上空飛行の状況、及び、騒音影響を確認するため、清新町で航空機騒音の常時測定を継続して実施します。

また、国土交通省に対し、引き続き航空機騒音低減について申し入れを行います。

施策コード	530	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
航空機騒音の監視	着陸機の騒音測定	同左	同左	
	国土交通省への騒音 低減の申し入れ	同左	同左	
事業費	3,605千円	3,605千円	3,605千円	

531 新たな公害相談への対応

空き地や生活騒音などの近隣問題や様々な生活スタイルの多様化等で生じる新たな公害相談について、相談体制を充実させるとともに関係部署との連携を図りながら解決へ導きます。また、地域の中や当事者間で自己解決できるように支援していきます。

施策コード	531	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
新たな公害相談への対応	状況に応じた適切な 対応	同左	同左	
事業費	665千円	665千円	665千円	

第5節

活力を創造する産業づくり

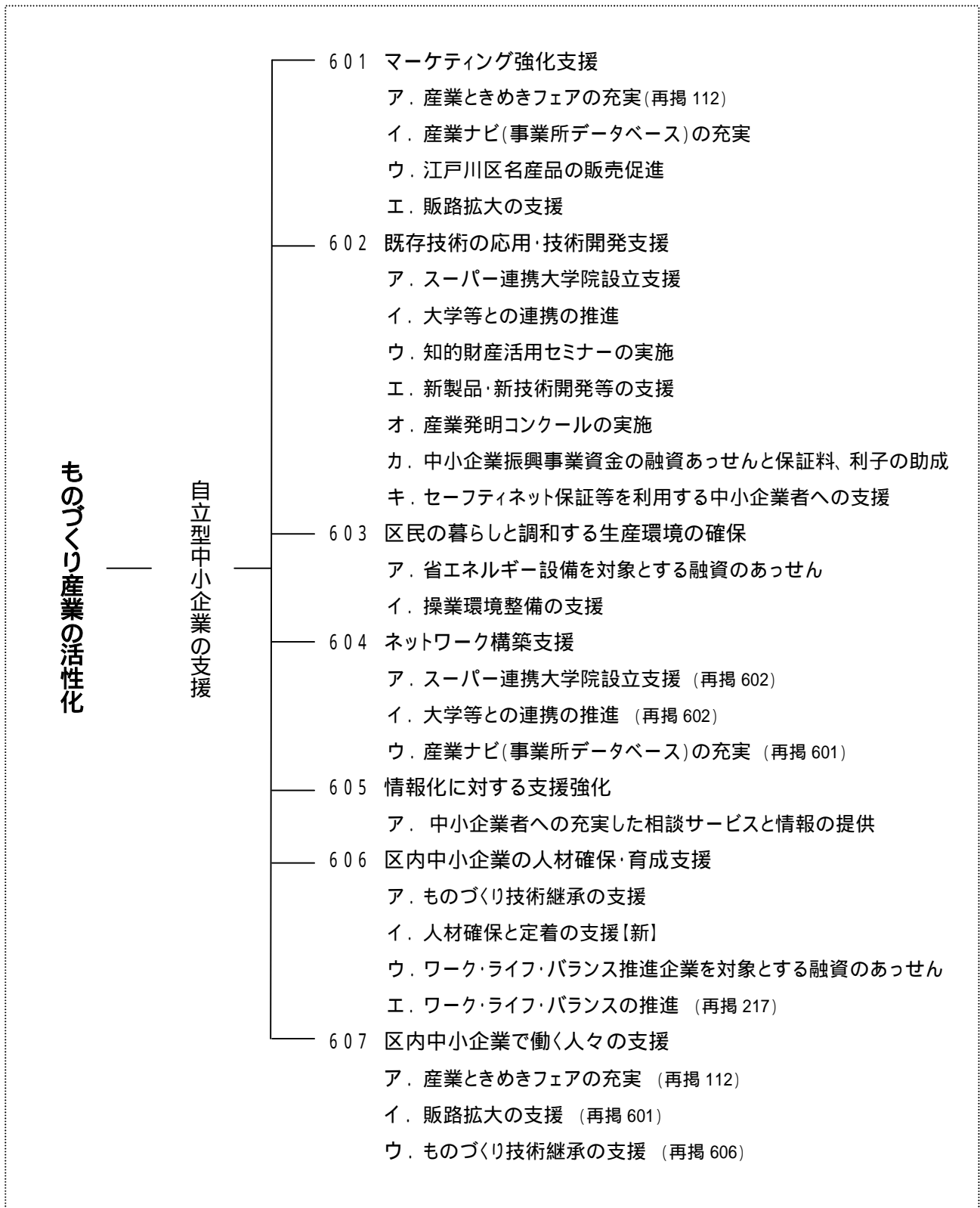
- 1 ものづくり産業の活性化
(1) 自立型中小企業の支援
- 2 商業・生活サービス業の活性化
(1) 新しい商店街への経営革新
- 3 起業家の育成
(1) 情報産業などの起業・育成支援
- 4 都市農業の継承
(1) 特色ある都市農業の展開
- 5 伝統的地場産業の継承、発展
(1) 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興
- 6 次代の産業を担う人材の育成
(1) 次代を担う人材育成の支援
- 7 新たなパートナーシップの確立
(1) 産業界の主体性を重視した行政システム
- 8 働く意欲あふれる環境づくり
(1) 多様な就業の場の確保と支援

1 ものづくり産業の活性化

【施策の考え方】

不透明な景気の状況、技術革新等による経済・産業構造全体の大きな変化等により、区のものづくり産業にとって、厳しい経営環境が続いています。このため、区では、従来の下請加工型企业からの脱却を図り、高付加価値を生み出す企画・提案型企业としての自立を支援するとともに、企業間連携と情報化による競争力の強化、ものづくり技術の継承支援等を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。

【施策体系図】



(1) 自立型中小企業の支援

601 マーケティング強化支援

区内外の企業(主に製造業)を一堂に集め、展示実演などにより優れた製品、技術力を企業並びに区民に広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会の開催によりマッチングの場を提供していきます。また、製作実演・体験コーナーなどを通じて、産業教育の場としても活用していきます。

区内事業所の情報を掲載できるえどがわ産業ナビ(事業所データベース)の内容充実を図り、区内事業所の受発注の拡大及びネットワークの構築を図ります。

伝統工芸品をはじめとする江戸川区名産品のインターネット販売サイト「えどコレ！」等を通じて販売促進を図ります。

区内企業が自社の製品や技術の優秀性を国内外に広く紹介し、販路を拡大していく機会を支援することにより、受発注の拡大を図ります。

施策コード	601	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
産業ときめきフェアの充実 再掲112	実施		同左	同左
事業費		11,617千円	11,617千円	11,617千円
産業ナビ(事業所データベース)の充実	実施		同左	同左
事業費		5,411千円	5,411千円	5,411千円
江戸川区名産品の販売促進	実施		同左	同左
事業費		9,634千円	9,634千円	9,634千円
販路拡大の支援	実施		同左	同左
事業費		3,100千円	3,100千円	3,100千円

602 既存技術の応用・技術開発支援

スーパー連携大学院を区内に誘致することにより、区内中小企業者が企業間及び大学などと連携する機会を提供するほか、区民の学術への関心や地域の活力の高揚を図ります。

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

区内企業のもつ優れた技術を特許・実用新案などの知的財産として活用・保護し、ライセンス契約のノウハウ等を学ぶセミナーを開催することで、オンリーワン企業として販路拡大や新規取引確保の一助とします。

区内製造事業者が産学連携等により新製品・新技術を開発やISOの認証取得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者の技術開発力の向上を図ります。

産業に役立つ製品やアイデアを広く募り、優れたものを表彰し、ものづくり意欲の高揚や技術の進展を図るとともに、景気動向にあわせ、制度を機動的に運用し、中小企業者の資金繰りを支援します。

施策コード	602	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
スーパー連携大学院 設立支援	実施		同左	同左
事業費		3,000千円	千円	千円

大学等との連携の推進	実施	同左	同左
事業費	1,777千円	1,777千円	1,777千円
知的財産活用セミナーの実施	実施	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円
新製品・新技術開発等の支援	実施	同左	同左
事業費	8,162千円	8,162千円	8,162千円
産業発明コンクールの実施	実施	同左	同左
事業費	1,450千円	1,450千円	1,450千円
中小企業振興事業資金の融資あっせん保証料、利子の助成	(融資計画) 2,300件 12,770百万円	同左	同左
事業費	539,908千円	540,000千円	540,000千円
セーフティネット保証等を利用する中小企業者への支援	東京都制度融資(経営セーフ等)利用者への利子補給	同左	同左
事業費	14,541千円	14,500千円	14,500千円

603 区民の暮らしと調和する生産環境の確保

省エネルギー設備等を導入する中小企業者の融資を対象とした優遇制度により、エコタウンえどがわ推進計画 促進します。また、区内中小製造事業者が、操業環境の向上を目的とした取り組み(防音・防振・防臭対策等)に係る経費を助成することにより、事業の継続と住環境改善を図ります。

エコタウンえどがわ推進計画:地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

施策コード	603	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		経営向上資金の あっせん	同左	同左
省エネルギー設備を対象とする融資のあっせん		同左	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
操業環境整備の支援		実施	同左	同左
事業費		25,000千円	25,000千円	千円

「-」:事業費は、中小企業振興事業資金の融資あっせん保証料、利子の助成(施策コード602)の中で計上しています。

604 ネットワーク構築支援

区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の促進を図り、区内企業と大学との連携を支援します。

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

また、えどがわ産業ナビ(事業所データベース)の内容充実を図り、区内事業所の受発注の拡大及びネットワークの構築を図ります。

施策コード	604	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
スーパー連携大学院 設立支援 再掲602	実施	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	
大学等との連携の推進 再掲602	実施	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	
産業ナビ(事業所データベース) の充実 再掲601	実施 (一部機能の拡充)	実施	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、スーパー連携大学院設立支援・大学等との連携の推進(施策コード602)、産業ナビ(事業所データベース)の充実(施策コード601)の中で計上しています。

605 情報化に対する支援強化

中小企業相談室の窓口に加え、専門家の継続的な派遣や、ホームページでの提供情報の充実により、中小企業者の様々な課題の解決を支援します。

施策コード	605	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
中小企業者への充実した 相談サービスと情報の提供	窓口での各種相談 (経営・金融・ものづくり) 専門家の派遣 ホームページ等での 情報提供、相談受付	同左	同左	
事業費	33,135千円	33,135千円	33,135千円	

606 区内中小企業の人材確保・育成支援

ものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。また、人材の確保及び育成の流れを確立し、若手人材の地域への定着を促進することにより、区内中小製造事業者の経営の安定化を図ります。

仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスを推進するため、ワーク・ライフ・バランス推進協議会を開催し、産業賞において事業者の取組みを表彰します。

施策コード	606	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
ものづくり技術継承の支援	実施	同左	同左	
事業費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
人材確保・定着の支援【新】	実施	同左	同左	
事業費	560千円	560千円	560千円	

ワーク・ライフ・バランス推進 を対象とする融資のあっせん	経営向上資金の あっせん	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
ワーク・ライフ・バランスの 推進 再掲217	ワーク・ライフ・バランス 推進協議会の開催	同左	同左
	産業賞での企業表彰	同左	同左
事業費	34千円	34千円	34千円

「-」:事業費は、区内中小企業者の経営安定化への支援(施策コード602)の中で計上しています。

607 区内中小企業で働く人々の支援

区内外の企業(主に製造業)を一堂に集め、展示実演等により優れた製品、技術力を企業並びに区民に広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会の開催によりマッチングの場を提供していきます。また、製作実演・体験コーナー等を通じて、産業教育の場としても活用していきます。

さらに、展示会等への出展経費の一部を助成することにより、区内製造事業者の展示会等への出展を促進し、受発注の拡大を図ります。また、区内製造事業者がものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。

施策コード	607	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
産業ときめきフェアの充実 再掲112	実施	同左	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
販路拡大の支援 再掲601	実施	同左	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
ものづくり技術継承の支援 再掲606	実施	同左	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、産業ときめきフェアの充実、販路拡大の支援(施策コード601)、ものづくり技術継承の支援(施策コード606)の中で計上しています。

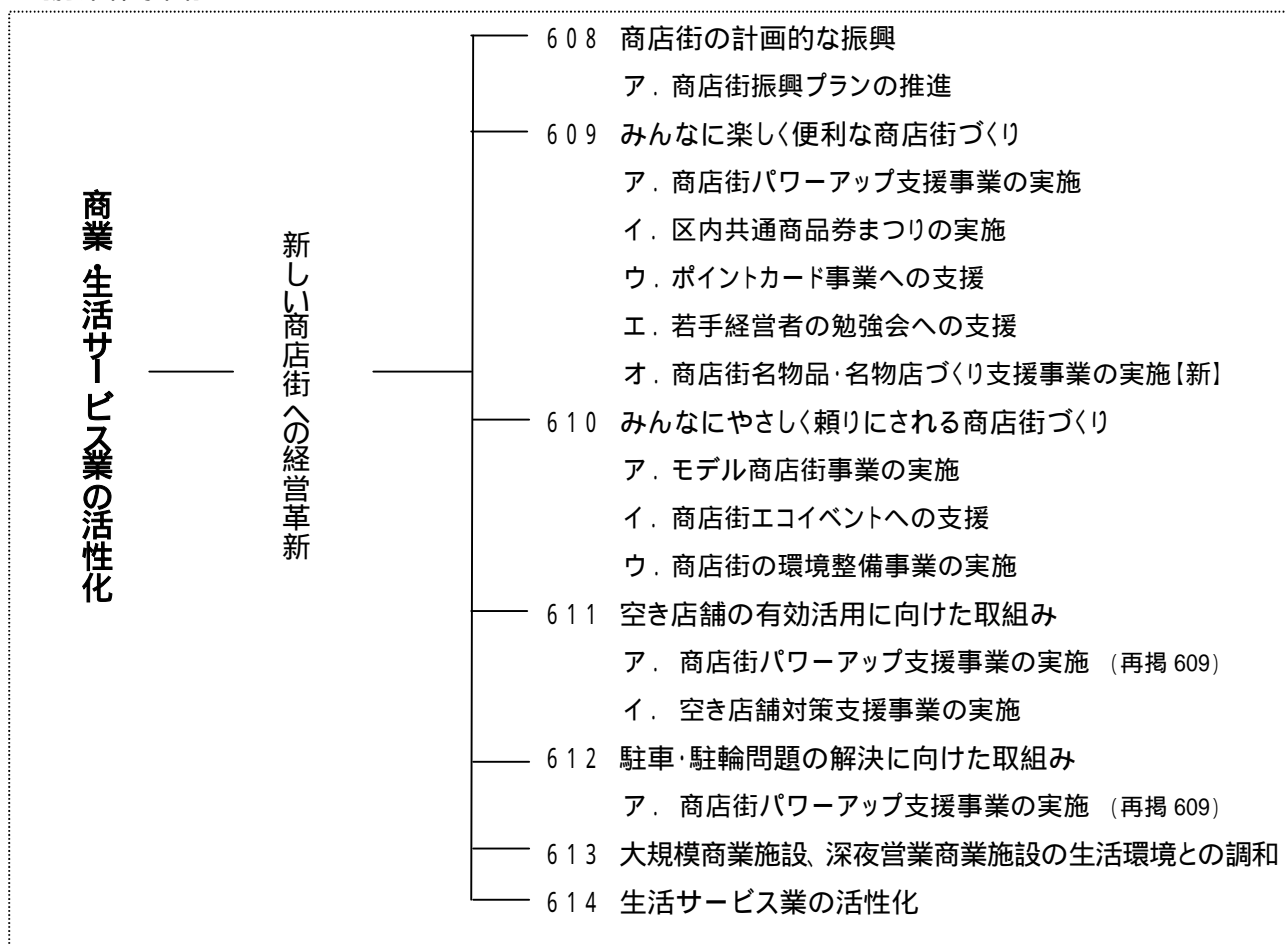
2 商業・生活サービス業の活性化

【施策の考え方】

区内の商店街は、消費の低迷、多様化する消費者ニーズの変化等の影響のため、売上の減少、経営不振による閉店等の厳しい状況に置かれています。

このため、区では、空き店舗の活用等による独自の積極的な取組み、これからの商店街に期待される新たな社会的役割を担える商店街づくり等を支援し、商業・生活サービス業の再生と活性化を図ります。

【施策体系図】



(1)新しい商店街への経営革新

608 商店街の計画的な振興

「地域との協働による商店街づくり」を基本に、各商店街が地域コミュニティの核として生活の楽しみ場の場となり、商店の売上が向上するよう支援していきます。また、振興プラン実現に向けて積極的に取り組む商店街に対して、総合的・重点的に支援していきます。

施策コード	608	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
商店街振興プランの推進	プランに基づいた計画的な事業の推進	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円

609 みんなに楽しく便利な商店街づくり

区の商店街振興プランに基づいて実施されるイベントや活性化事業など、商店街の活性化に向けた計画的な事業に対して支援を行っていきます。また、区内消費の活性化策として、区内共通商品券を活用して区内の商店が割引を行うことで低迷する消費の喚起と区内商店における消費拡大につなげていきます。

再来客効果の高いポイントカード事業を推進することで、商店街への集客力向上を目指していくこととともに、ポイントカードの新規加盟店及び新規利用者の増加に向けた取り組み事業を支援していきます。また、若手経営者を中心とした活動グループを結成し、その自主事業を支援して商店街の組織力強化へ繋げていきます。

東京都中小企業振興公社と連携しながら商店街の集客の核となる個店の魅力ある取り組みを支援することで、商店街全体の活性化を目指していきます。

施策コード	609	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
商店街パワーアップ支援事業の実施	イベントや活性化事業への支援	同左	同左	
事業費	57,203千円	千円	千円	
区内共通商品券まつりの実施	実施予定	同左	同左	
事業費	75,000千円	千円	千円	
ポイントカード事業への支援	事業の実施	同左	同左	
事業費	2,923千円	千円	千円	
若手経営者の勉強会への支援	事業の実施	同左	同左	
事業費	138千円	千円	千円	
商店街名物品・名物店づくり支援事業の実施	事業の実施	同左	同左	
事業費	1,000千円	千円	千円	

610 みんなにやさしく頼りにされる商店街づくり

地域振興にもつなげる活性化策を主体的に実施しようとする商店街を「モデル商店街」に指定し、その計画の実現のために総合的な支援を行うとともに、事業効果を広く区内の商店街にフィードバックし、各商店街を刺激していきます。また、商店街が、エコセンタ - 等と連携して実施する「もったいない運動」など、環境に配慮した事業を一層拡大していきます。

施策コード	610	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
モデル商店街事業の推進	事業の推進	同左	同左	
事業費	0千円	千円	千円	
商店街エコイベントへの支援	事業の推進	同左	同左	
事業費	992千円	千円	千円	

商店街の環境整備事業 の実施	事業への支援	同左	同左
事業費	54,600千円	千円	千円

611 空き店舗の有効活用に向けた取組み

空き店舗の活用事業を積極的に支援し、空き店舗を活かした商店街振興により話題性の高い商店街づくりをめざしていきます。また、空き店舗を抱える区内商店会について、産業ナビを活用して空き店舗情報を集約した物件検索サイトを運営し、出店希望者と商店会とのマッチングを推進していくとともに、出店設備資金を融資することで入居の促進と商店街への加盟を促進して、空き店舗の解消をめざしていきます。

施策コード	611	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
商店街パワーアップ 支援事業の実施 再掲609	イベントや活性化事業 への支援	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	
空き店舗対策支援事業 の実施	産業ナビの活用 設備資金融資	同左	同左	
事業費	1,580千円	千円	千円	

「-」:事業費は、商店街パワーアップ支援事業の実施(施策コード609)の中で計上しています。

612 駐車・駐輪問題の解決に向けた取組み

関係機関と連携を図りながら、駐車場や駐輪場等の整備と利用者のマナー向上の両面からの取り組みを進め、各商店街の地域性に合った方法を協議していきます。

施策コード	612	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
商店街パワーアップ 支援事業の実施 再掲609	イベントや活性化事業 への支援	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、商店街パワーアップ支援事業の実施(施策コード609)の中で計上しています。

613 大規模商業施設、深夜営業商業施設の生活環境との調和

大規模商業施設、深夜営業商業施設等の出店に当たっては、大規模小売店舗立地法、住宅等整備事業における基準等に関する条例に基づき適確な指導を実施するとともに、江戸川区大規模小売店舗連絡会を開催する等、周辺の良い住環境の保持に努めます。

614 生活サービス業の活性化

地域コミュニティにおける役割の一端を担い、区民生活に密着した公衆浴場等の生活サービス業の利用を促進し、その活性化を図ります。

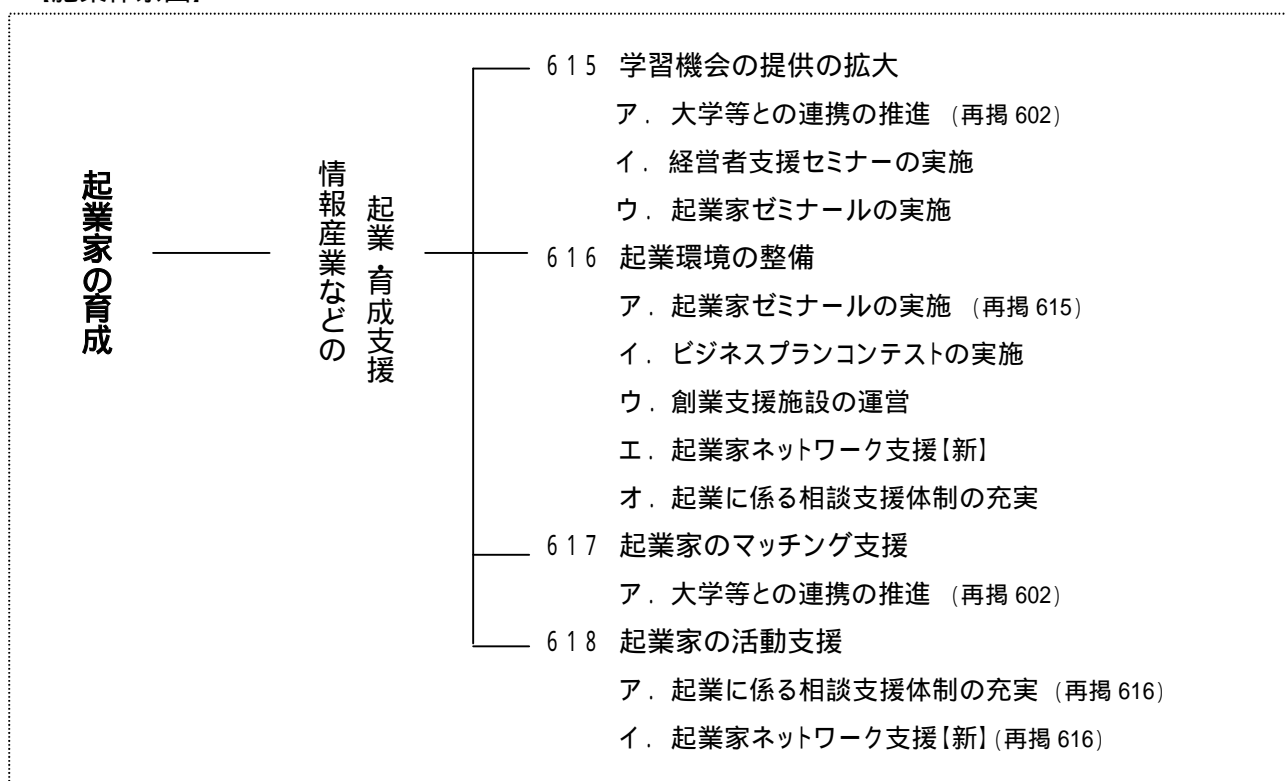
3 起業家の育成

【施策の考え方】

産業のソフト化・サービス化の進展により、情報産業をはじめ、環境関連産業、福祉サービス産業等の新しいビジネスが急成長しており、地域の生活者である区民自身が、自分たちの地域が抱える課題を解決し、地域の活性化に努めています。

このため、区では、情報産業等を区の新たな活力産業と位置づけ、重点的に支援するとともに、よりよい地域社会の実現のためにも、環境関連産業や福祉サービス産業等の新しい起業家を積極的に育成します。

【施策体系図】



(1) 情報産業などの起業・育成支援

615 学習機会の提供の拡大

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

また、営業力強化のポイント等を学ぶセミナーを開催し、区内中小企業の経営基盤強化を図ります。

さらに、起業・経営に必要な基礎知識や手法、実践能力を習得する場を提供し、区産業界を担う起業家の育成・輩出を目指すとともに、受講者相互の交流を図り、将来の区内産業活性化に資するネットワーク作りの基礎をつくります。

施策コード	615	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
大学等との連携の推進 再掲602		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
経営者支援セミナーの実施		実施	同左	同左
事業費		45千円	45千円	45千円

起業家ゼミナールの実施	実施	同左	同左
事業費	2,615千円	2,615千円	2,615千円

「-」:事業費は、大学等との連携の推進(施策コード602)の中で計上しています。

616 起業環境の整備

起業・経営に必要な基礎知識や手法、実践能力を習得する場を提供し、区産業界を担う起業家の育成・輩出を目指すとともに、受講者相互の交流を図り、将来の区内産業活性化に資するネットワーク作りの基礎をつくります。また、独創的で実現性のある優良なビジネスプランでの起業を目指す事業者を支援することで、区内における新たな事業活動の創出を促進し、地域経済活性化の一助とします。

創業支援施設を適正に運営するとともに、新たに創業しようとする方や創業してまもない事業者の企業活動の支援を行うとともに、区内起業家を中心とする若手経営者の連携を支援することにより、区内産業の活性化を図ります。

施策コード	616	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
起業家ゼミナールの実施 再掲615	実施	同左	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
ビジネスプランコンテストの実施	実施	同左	同左	同左
事業費	563千円	563千円	563千円	563千円
創業支援施設の運営	実施	同左	同左	同左
事業費	14,546千円	14,546千円	14,546千円	14,546千円
起業家ネットワーク支援【新】	実施	同左	同左	同左
事業費	102千円	102千円	102千円	102千円
起業に係る相談支援体制の 充実	専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、起業家ゼミナールの実施(施策コード615)、区内中小企業者の経営安定化への支援(施策コード602)、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供(施策コード605)の中で計上しています。

617 起業家のマッチング支援

「産学連携コーディネーション事業」等を通じて、区内企業とコラボ産学官参加大学との情報交流の場及び学習機会を提供し、区内企業と大学とのマッチングを図るとともに共同研究に対する支援を行います。

施策コード	617	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
大学等との連携の推進 再掲602	実施	同左	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、大学等との連携の推進(施策コード602)の中で計上しています。

618 起業家の活動支援

創業支援資金のあっせんと連携して、起業家支援アドバイザー制度により、実践的な事業計画の策定と、営業開始後の継続的な助言を継続的に実施し、堅実な起業者を育成します。

施策コード	618	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
起業に係る相談支援体制の 充実 再掲616		専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
起業家ネットワーク支援【新】 再掲616		実施	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、区内中小企業者の経営安定化への支援(施策コード602)、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供(施策コード605)、起業家ネットワーク支援【新】(施策コード616)の中で計上しています。

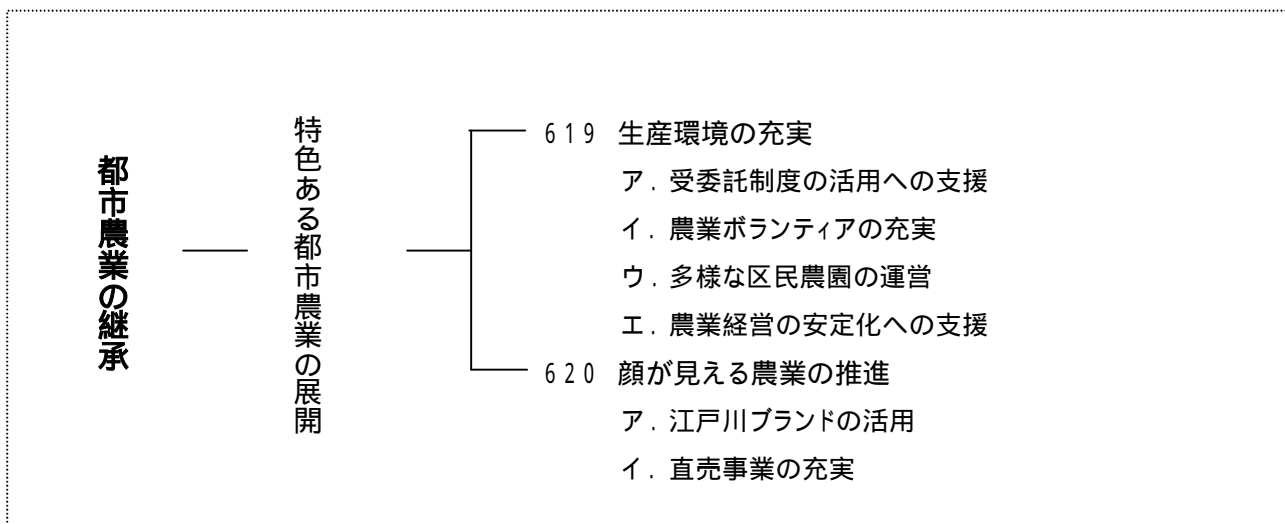
4 都市農業の継承

【施策の考え方】

区の農業は、小松菜や花卉等の特産物を有し、都市農業としては日本一ともいえる高い生産性を誇っています。しかし、農地面積は年々減少を続けているほか、輸入農産物の増加による競争の激化等、区の農業を取り巻く状況はいつそう厳しさを増しており、都市農業の存続が懸念されています。

このため、区では、農地の保全に最大限努めるとともに、小松菜、花卉等の特産物を貴重な地域資源として守り、特色ある地域産業として新たな展開を図ります。

【施策体系図】



(1) 特色ある都市農業の展開

619 生産環境の充実

農地の保全及び安定した農業経営の継続を図るため、農業を支援する融資を検討するとともに、生産緑地の維持及び新規の指定、税制の優遇措置の要望等に努めます。併せて、都市農業の高い生産性を維持するため、都市農業育成事業の充実及び環境に配慮した農業経営の推進を図ります。

また、高齢化、後継者不足等により十分な活動を行えない農家を支援するとともに、区民と農業者の交流を深めることに資するため、農業ボランティア制度の充実等を図り、農家とボランティアの連携を支援します。

農業ボランティア制度：高齢化や後継者不足等の理由により、十分な活動が行えない農家にボランティアを派遣する制度。

施策コード	619	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
受委託制度の活用への支援	実施		同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
農業ボランティアの充実	実施		同左	同左
事業費		647千円	647千円	647千円
多様な区民農園の運営	実施		同左	同左
事業費		4,110千円	4,110千円	4,110千円
農業経営の安定化への支援	農業振興資金のあっせ んと利子等の補給		同左	同左
事業費		174千円	174千円	174千円

620 顔が見える農業の推進

イベントや市場出荷などあらゆる機会において、ロゴマークやキャッチフレーズ・グッズなどのPRを行い、江戸川区農業の基幹である小松菜や花卉などの特産物の魅力を広く周知し、江戸川農業の育成・活性化を推進します。また、小松菜及び小松菜関連商品を活用した小松菜PR・販売促進事業を実施し、農業と商工業(飲食店等)を連携させた区内農業のPRを行います。

ホームページや直売マップの利用を通して直売会や庭先販売等のPR強化を行うとともに、インターネットを活用した新たな販売ルートの開発を行い、農業経営の安定化を図ります。

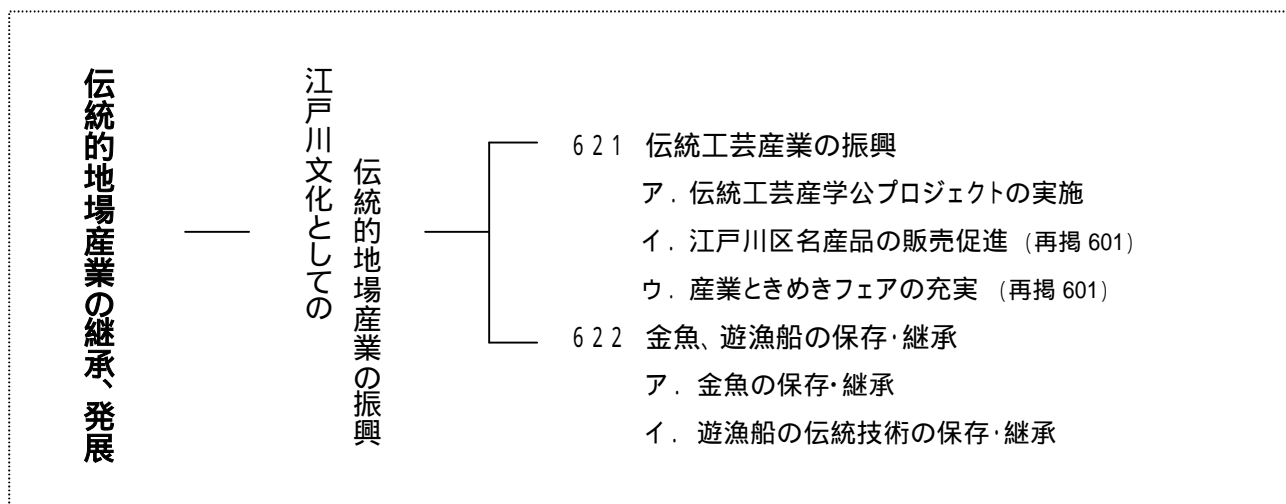
施策コード	620	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
江戸川ブランドの活用		キャンペーン活動の展開	同左	同左
事業費		4,223千円	4,223千円	4,223千円
直売事業の充実		直売事業PRの推進	同左	同左
事業費		368千円	368千円	368千円

5 伝統的地場産業の継承、発展

【施策の考え方】

区には、伝統工芸品、金魚、花火等の長い歳月と人が織りなす伝統的地場産業が存在し、江戸川の独特の文化を形成しています。これからも、伝統工芸品の高度な技術と製品を次代に継承していくために、国及び都等との連携を進め、計画的な振興を図ります。また、金魚は区の伝統ある貴重な地域資源として保存・継承を図ります。

【施策体系図】



(1) 江戸川文化としての伝統的地場産業の振興

621 伝統工芸産業の振興

新製品の開発、販路の拡大、江戸川ブランドの確立等「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」を推進します。併せて、インターネット上のショッピングモールである「えどコレ！」や篠崎文化プラザ内の直営店等により、区内名産品の販売活動等を推進します。

施策コード	621	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
伝統工芸産学公プロジェクトの実施		実施	同左	同左
事業費		8,108千円	8,108千円	8,108千円
江戸川区名産品の販売促進 再掲601		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
産業ときめきフェアの充実 再掲601		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、江戸川区名産品の販売促進、産業ときめきフェアの充実(施策コード601)の中で計上しています。

622 金魚、遊漁船の保存・継承

江戸川区特産の金魚や江戸の風情を今に伝える網舟や屋形船等の遊漁船を区内外に広くPRし、保存・継承を図ります。

施策コード	622	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
金魚の保存・継承		実施	同左	同左
事業費		5,444千円	5,444千円	5,444千円
遊漁船の伝統技術の 保存・継承		実施	同左	同左
事業費		333千円	333千円	333千円

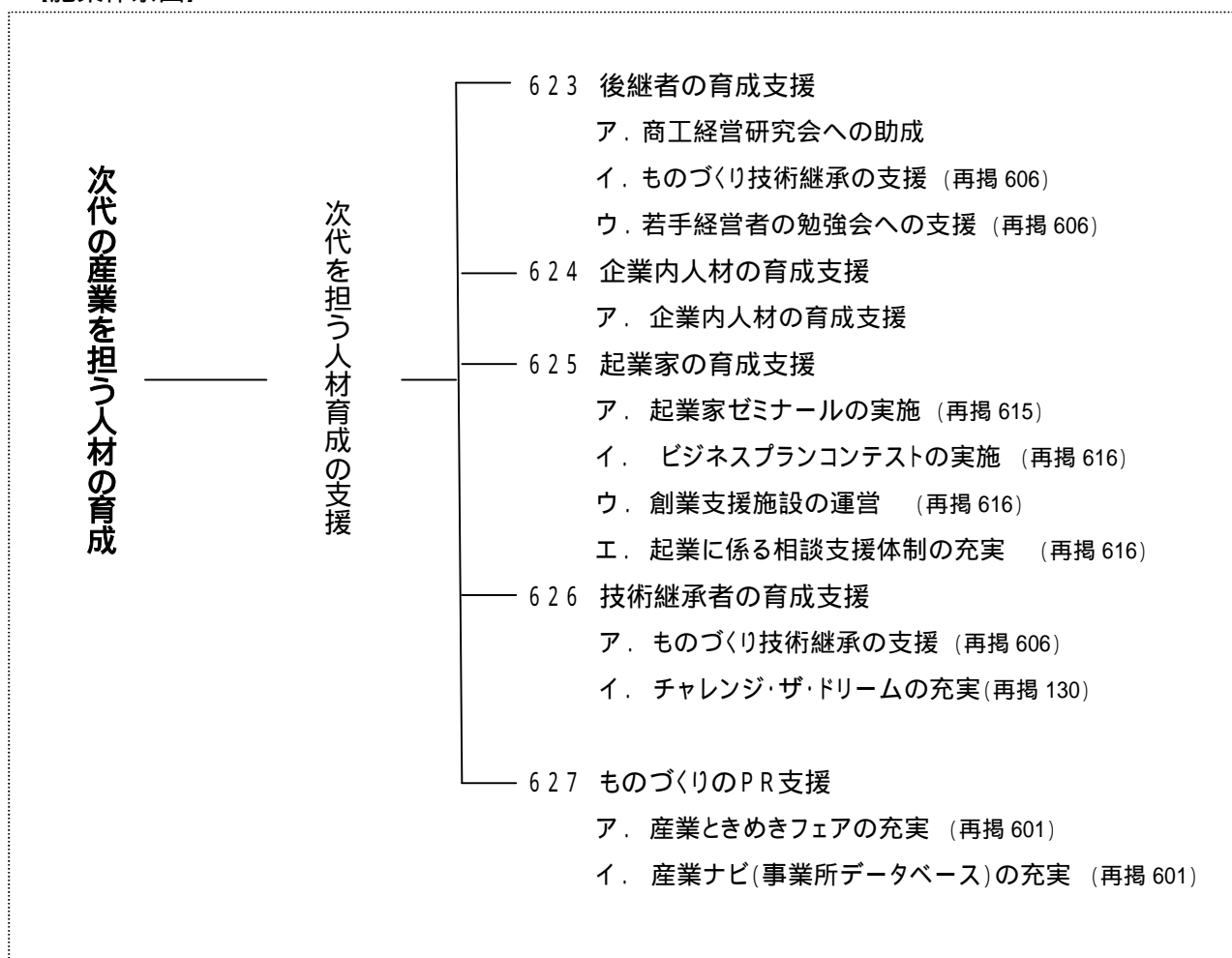
6 次代の産業を担う人材の育成

【施策の考え方】

経営者、技術者等の高齢化により、経営の後継者、技術の継承者の不足等が深刻化しています。優れた技術の喪失や後継者不足による事業所、店舗等の閉鎖はまちの活力の減退の一因となる恐れがあります。

このため、区では、区内産業の活力を維持、発展させていくために、学校と地域の連携による産業教育の充実を図るとともに、後継者の確保、新しい産業を創出する若手人材の育成、若い技術者への技術の継承等の次代を担う人材育成を支援します。

【施策体系図】



(1)次代を担う人材育成の支援

6.2.3 後継者の育成支援

商店街等が自主的に実施する研修会や勉強会を支援し、次代を担う後継者育成を支援します。

区内製造事業者がものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。また、若手経営者を中心とした活動グループを結成し、その自主事業を支援して商店街の組織力強化へ繋げていきます。

施策コード	6.2.3	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		講師の派遣	同左	同左
事業費		600千円	600千円	600千円

ものづくり技術継承の支援 再掲606	実施	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
若手経営者の勉強会 への支援 再掲606	事業の実施	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、ものづくり技術継承の支援(施策コード606)、若手経営者の勉強会への支援(施策コード609)の中で計上しています。

624 企業内人材の育成支援

区内製造事業者がものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。

施策コード	624	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
ものづくり技術継承の支援 再掲606	実施	同左	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、ものづくり技術継承の支援(施策コード606)の中で計上しています。

625 起業家の育成支援

起業・経営に必要な基礎知識や手法、実践能力を習得する場を提供し、区産業界を担う起業家の育成・輩出を目指すとともに、受講者相互の交流を図り、将来の区内産業活性化に資するネットワーク作りの基礎をつくります。また、独創的で実現性のある優良なビジネスプランでの起業を目指す事業者を支援することで、区内における新たな事業活動の創出を促進し、地域経済活性化の一助とします。

創業支援施設を適正に運営するとともに、新たに創業しようとする方や創業してまもない事業者の企業活動の支援を行います。また、創業支援資金のあっせんと連携して、起業家支援アドバイザー制度により、実践的な事業計画の策定と、営業開始後の継続的な助言を継続的に実施し、堅実な起業者を育成します。

施策コード	625	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
起業家セミナーの実施 再掲615	実施	同左	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
ビジネスプランコンテスト の実施 再掲616	実施	同左	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
創業支援施設の運営 再掲616	実施	同左	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

起業に係る相談支援体制の 充実 再掲616	専門家の派遣 創業支援資金の あっせん	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、起業家ゼミナールの実施(施策コード615)、ビジネスプランコンテストの実施(施策コード616)、創業支援施設の運営(施策コード616)、中小企業者への充実した相談サービスと情報の提供(施策コード605)の中で計上しています。

626 技術継承者の育成支援

区内製造事業者がものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。

職場体験を実施するチャレンジ・ザ・ドリームは、ここ数年、協力事業所が、1,600~1,700事業所で定着しつつあります。今後も学校、協力事業所各団体の意見等を反映させ、課題を明らかにして改善に取り組んでいきます。

施策コード	626	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
ものづくり技術継承の支援 再掲606		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
チャレンジ・ザ・ドリーム の充実 再掲130		実施及び検討	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、ものづくり技術継承の支援(施策コード606)、チャレンジ・ザ・ドリーム(施策コード130)の中で計上しています。

627 ものづくりのPR支援

区内外の企業(主に製造業)を一堂に集め、展示実演などにより優れた製品、技術力を企業並びに区民に広く紹介するとともに、ビジネス情報交換会の開催によりマッチングの場を提供していきます。また、製作実演・体験コーナーなどを通じて、産業教育の場としても活用していきます。

区内事業所の情報を掲載できるえどがわ産業ナビ(事業所データベース)の内容充実を図り、区内事業所の受発注の拡大及びネットワークの構築を図ります。

施策コード	627	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
産業ときめきフェアの充実 再掲601		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円
産業ナビ(事業所データベース)の充実 再掲601		実施	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

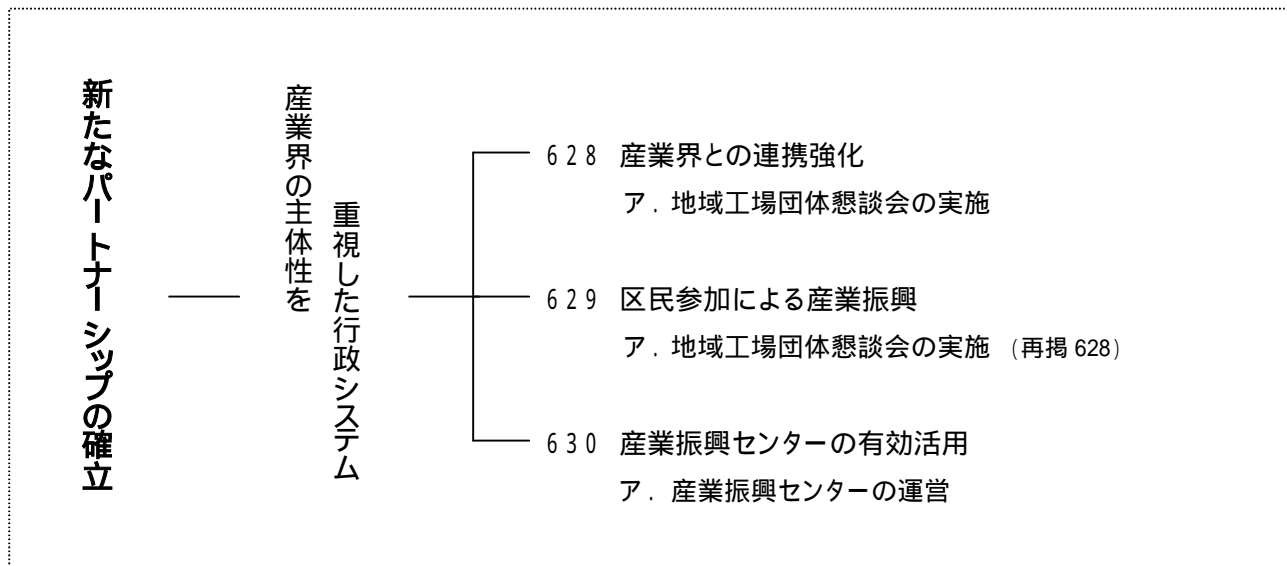
「-」:事業費は、産業ときめきフェアの充実(施策コード601)、産業ナビ(事業所データベース)の充実(施策コード601)の中で計上しています。

7 新たなパートナーシップの確立

【施策の考え方】

区では、多くの区民の声を活かしながら、産業政策の立案等を行ってきました。これからも、行政、産業関係者、各企業、消費者としての区民等を含めた、それぞれの立場での意見を交換しながら施策の方向を見出していく政策形成を進めるとともに、よきパートナーとして区内産業を下支えする効果的なしくみづくりを図ります。

【施策体系図】



(1) 産業界の主体性を重視した行政システム

628 産業界との連携強化

629 区民参加による産業振興

地域工場団体との懇談を通じて、区内企業の現状を把握し、産業構造の変化に伴う諸課題の解決を図り、効果的な産業振興施策の企画立案に反映させます。

施策コード	628・629	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
地域工場団体懇談会の実施		実施	同左	同左
事業費		15千円	15千円	15千円

630 産業振興センターの有効活用

区内各産業関係者が有効に産業振興センターを活用できるよう運営の充実を図ります。

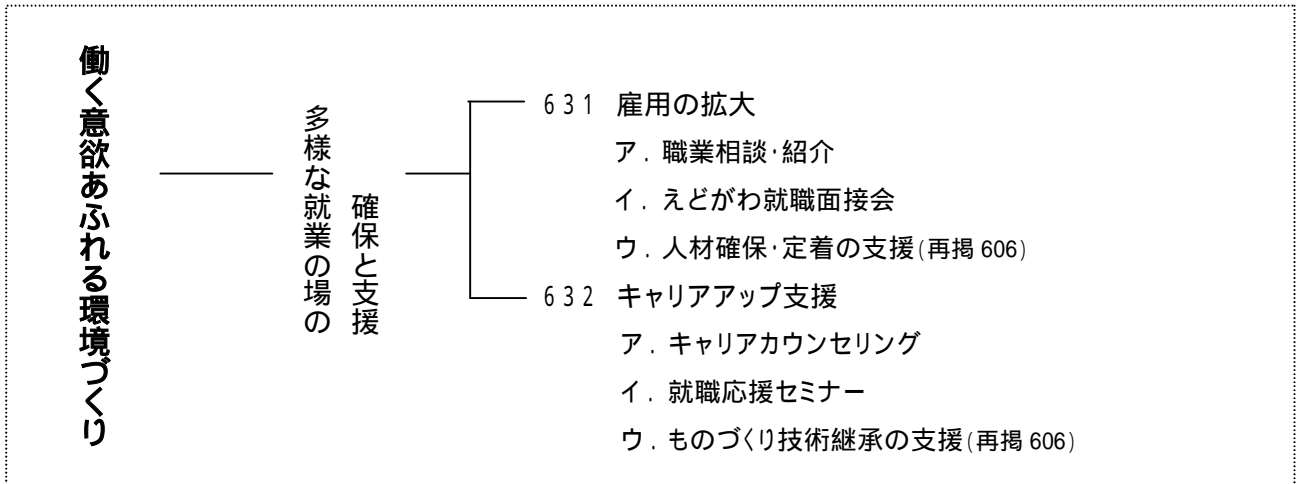
施策コード	630	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
産業振興センターの運営		運営	同左	同左
事業費		129千円	129千円	129千円

8 働く意欲あふれる環境づくり

【施策の考え方】

区内中小企業で働く人々が安心していきいきと働けることが、まちのにぎわいと活力を創造します。そのために、労働環境の改善、福祉制度の充実等を図り、働く意欲あふれる環境づくりを推進します。また、一部では厳しい雇用情勢が続いており、新しい時代にあわせて、区民の就業の場を柔軟に確保することが必要であり、多様な就労支援を図ります。

【施策体系図】



(1) 多様な就業の場の確保と支援

631 雇用の拡大

ハローワークとの連携を図りながら、「ほっとワークえどがわ」の就業相談、中高年齢者・若年者を対象とした就職面接会の開催等の就労支援を行います。

人材の確保及び育成の流れを確立し、若手人材の地域への定着を促進することにより、区内中小製造事業者の経営の安定化を図ります。

施策コード	631	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
職業相談・紹介	フルタイム・パート・内職の職業相談・紹介		同左	同左
	就職情報の提供		同左	同左
	出張相談の実施		同左	同左
事業費		7,138千円	7,138千円	7,138千円
えどがわ就職面接会	対象年齢、業種等を絞った面接会及び小規模面接会の開催		同左	同左
事業費		140千円	140千円	140千円
人材確保・定着の支援 再掲606	実施		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、人材確保・定着の支援(施策コード606)の中で計上しています。

632 キャリアアップ支援

「ヤングほっとワークえどがわ」において、若年者を対象としたキャリアカウンセリング等を実施します。併せてニート・フリーターをもつ保護者を対象とした就職応援セミナーを開催します。

また、ハローワークとの連携を図りながら、若年者を対象とした就職応援セミナーを開催します。

さらに、求職者を対象とした就職ガイダンスセミナーの開催や、若年者の就労に向けてのヒューマンスキル向上のため、「若者きずな塾」を開催します。平成27年度からは月2回を月3回に増やして実施します。

区内製造事業者がものづくり技術の継承に係る研修会等の開催や資格修得等に要する経費の一部を助成することにより、区内製造事業者におけるものづくり技術の継承と人材の育成を図ります。

施策コード	632	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
キャリアカウンセリング	キャリアカウンセリング (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	パソコンを利用した 適職診断	同左	同左	
事業費	5,563千円	5,563千円	5,563千円	
就職応援セミナー	若年者就職応援セミナー (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	ニート・フリーター 就職応援セミナー (ヤングほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	就職ガイダンスセミナー (ほっとワークえどがわ)	同左	同左	
	若者きずな塾	同左	同左	
事業費	1,221千円	1,221千円	1,221千円	
ものづくり技術継承の支援 再掲606	実施	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

「-」:事業費は、ものづくり技術継承の支援(施策コード606)の中で計上しています。

第6節

区民の暮らしを力づよく 支えるまちづくり

- 1 都市基盤の充実・質の向上
 - (1) 土地利用と市街地整備の方針
 - (2) 木造密集市街地の改善
 - (3) 良好な市街地環境の創出
 - (4) 大規模公園予定地の整備
 - (5) 地域生活圏と中心核の整備

- 2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備
 - (1) 道路ネットワークの形成
 - (2) 鉄道の整備
 - (3) 楽しく快適に移動できる交通
 - (4) 情報通信ネットワーク化の推進

- 3 地域の魅力を高めるまちづくり
 - (1) 水と緑にあふれる都市環境の充実
 - (2) 美しい都市景観づくり
 - (3) 住みよく永住できる居住環境づくり
 - (4) 歩いて楽しめる個性あるまち
 - (5) 安心して生活できるまちづくり

- 4 安全で災害に強いまちづくり
 - (1) 防災まちづくり
 - (2) 防災体制の充実
 - (3) みんなで守るまちづくり

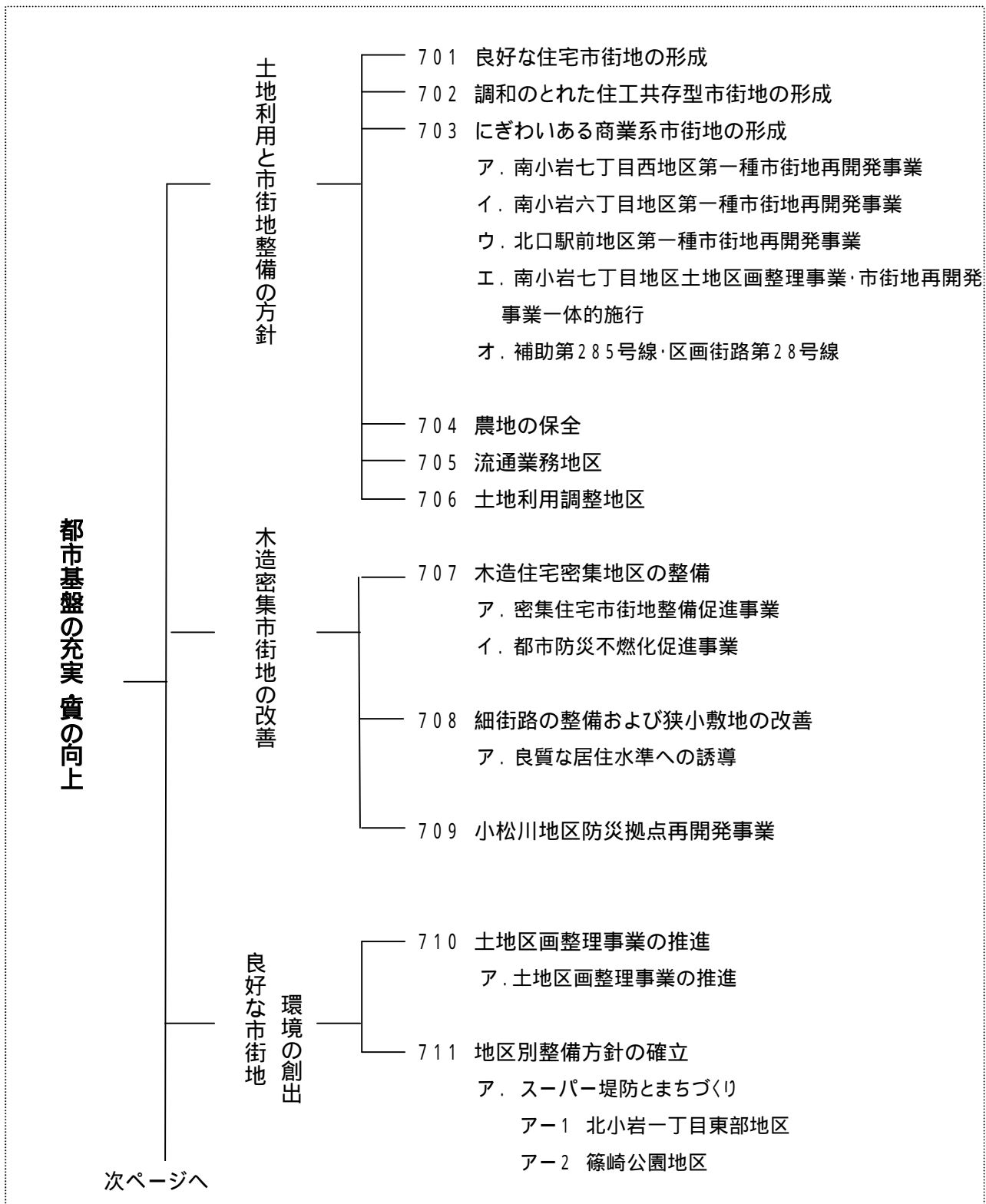
1 都市基盤の充実・質の向上

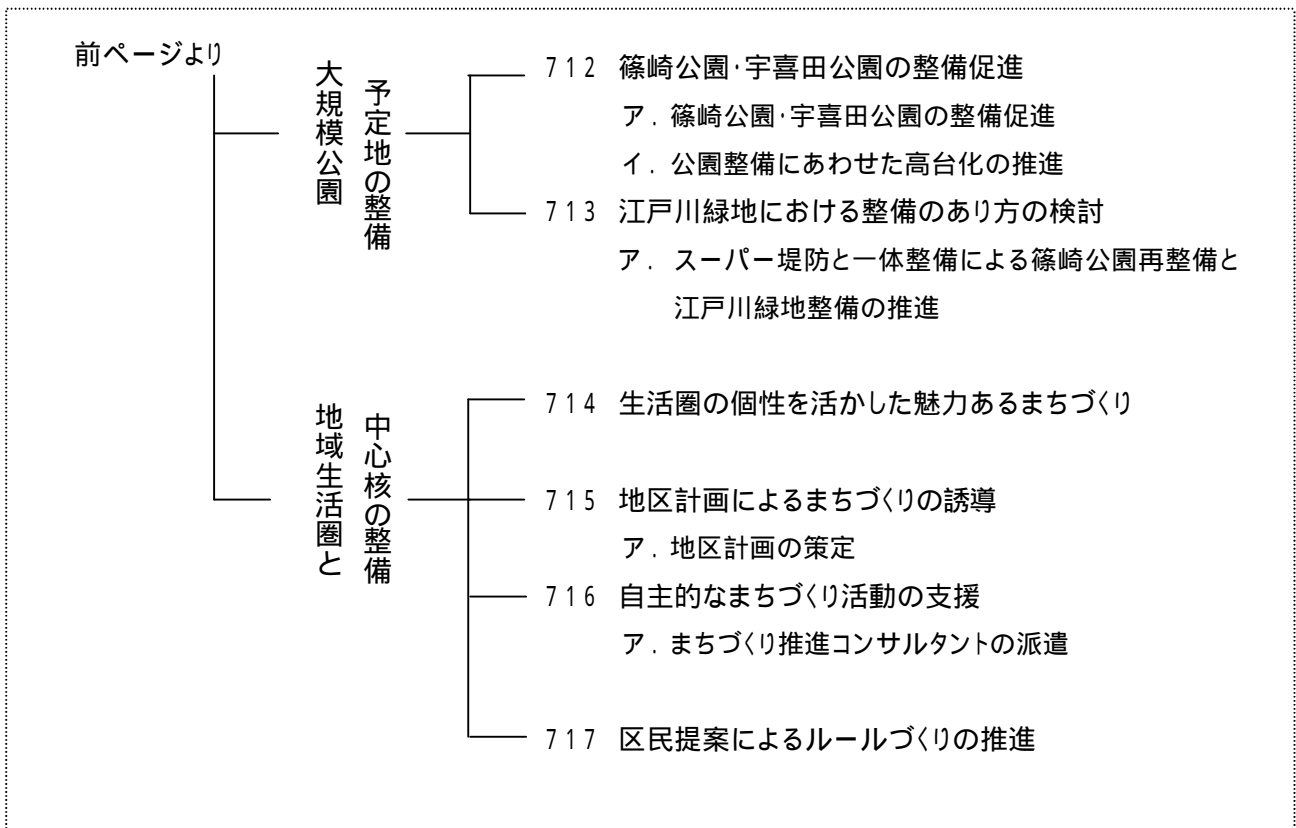
【施策の考え方】

「江戸川区街づくり基本プラン」に基づいた計画的なまちづくりを進め、安全で魅力ある都市の形成を目指し、社会経済状況の変化及び価値観の多様化に対応した、区民生活の質が高まるよう、土地利用、市街地整備等を進めます。

併せて、これからのまちづくりにおいて、区民が主体的に活動し、地域毎に将来のまちの姿について区と認識を共有し、地区の個性に応じた区民発意のまちづくりを進めます。

【施策体系図】





(1) 土地利用と市街地整備の方針

701 良好な住宅市街地の形成

地域地区 指定、地区計画 等を活用し、土地の細分化防止、建物の高さ規制等によって、地区ごとの特性にあわせた良好な住環境の創出及び保全を図ります。

また、木造住宅密集地区 については、密集住宅市街地整備促進事業 を活用することにより、生活道路を拡幅し、安全な住宅市街地の形成を図ります。併せて、建替え更新時に狭あい道路の拡幅整備、狭小敷地の改善のための隣接敷地買い増しの誘導等を図るとともに、一定規模の土地の開発に当たっては、周辺の住環境と調和のとれた土地利用を誘導します。

地域地区：都市計画区域内の土地を利用目的によって区分し、建築物等について必要な制限を課すことにより、土地の合理的利用を図るもの。

地区計画：小規模な地区を対象として、用途地域では決められない詳細な土地利用、建築の形態等を定める計画。

木造住宅密集地区：木造住宅の密度が高く、その中に老朽住宅が相当数含まれ、道路等の公共施設整備の水準が低く、防災危険度が高い地区。

密集住宅市街地整備促進事業：老朽木造住宅が密集している地区において、道路や公園等の公共施設、生活環境施設の整備や老朽木造住宅の建替え等を促進し、居住環境の向上や良質な住宅供給を行う事業。

702 調和のとれた住工共存型市街地の形成

用途地域、特別用途地区、地区計画等を活用することにより、地区ごとの特性にあわせたまめ細かい地区ルールづくりを推進し、住工が共存する環境の整備に努めます。

また、工業系用途地域内での集合住宅等の土地利用の転換に当たっては、周辺環境との調和に配慮した建設計画を誘導します。

用途地域：住宅・商店・工場等が混乱して立地するのを防ぐため、地域ごとに建てられる建物の種類を規制したもの。

特別用途地区：地域地区の目的を基本とし、これを補完するため、建築基準法に基づき地区の特性や課題に応じて地方公共団体の条例で建築物の用途に係る規制の強化又は緩和を行うもの。（本区の場合は、特別業務地区、特別工業地区の2種類を指定）

703 にぎわいある商業系市街地の形成

主要鉄道駅の周辺は、商業や交通の拠点となる地域中心核にふさわしい高度利用を誘導し、賑わいのある商業機能、事務所等の業務機能の充実を図ります。特に、JR小岩駅周辺は、道路・駅広場等の都市施設、及び地区別の事業推進を図ります。また、京成小岩周辺地区は京成本線連続立体化事業の推進に合わせ、まちづくりを進めます。

施策コード	703	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
南小岩七丁目西地区 第一種市街地再開発事業	事業完了			
事業費	0千円	千円	千円	
南小岩六丁目地区 第一種市街地再開発事業	事業認可 組合設立	権利変換計画認可	建設工事	
事業費	0千円	340,000千円	2,000,000千円	
北口駅前地区 第一種市街地再開発事業	準備組合設立 都市計画決定協議	都市計画決定	事業認可 組合設立	
事業費	16,000千円	0千円	0千円	
南小岩七丁目地区 土地区画整理事業・市街地 再開発事業一体的施行	事業計画案作成	都市計画決定 (土地区画整理事業) 用地買収	都市計画決定 (市街地再開発事業) 用地買収	
事業費	34,000千円	278,000千円	492,000千円	
補助第285号線 区画街路第28号線	詳細設計	事業認可 用地買収	用地買収	
事業費	15,000千円	51,000千円	51,000千円	

704 農地の保全

生産緑地地区の追加指定を行い、農地の保全に努めます。

705 流通業務地区

東京東部の流通拠点としての環境を維持するとともに、高機能な物流拠点としての適切な誘導を図ります。

706 土地利用調整地区

大規模な都市機能の転換に当たっては、地区の立地特性・機能特性を考慮しながら、特別用途地区、地区計画等の活用を図り、都市の魅力と活力につながる土地利用の促進に努めます。

(2)木造密集市街地の改善

707 木造住宅密集地区の整備

主要生活道路及び防災生活道路、防災性を向上する公園・広場等の整備を促進し、老朽化した建築物の建替え、不燃建築物の誘導等を図ることにより、燃えにくい街の形成に努め、安全性と防災性の高い市街地の形成を図ります。また、主要な避難路である都市計画道路の整備に合わせ、沿道の老朽建築物の不燃化建替えを促進し、延焼遮断帯の形成を図ることにより、大地震等による火災時の安全な避難・輸送を確保するとともに、火災の燃え広がりにくい防災性の高い市街地の形成を図ります。

施策コード		707		
計画事業内容		年次計画		
		27年度	28年度	29年度
密集住宅市街地整備促進事業	南小岩七・八丁目地区	事業中	同左	同左
	松島三丁目地区			
	下鎌田東地区			
	一之江四丁目南地区			
	春江町三丁目南地区			
	江戸川一丁目地区			
	一之江三丁目南地区			
	中葛西八丁目地区			
	二之江西地区			
	平井二丁目付近地区			
事業費		1,268,830千円	1,100,000千円	600,000千円
都市防災不燃化促進事業	補助第142・143号線地区	事業中	同左	同左
	補助第144号線地区			
事業費		10,800千円	54,000千円	81,000千円

708 細街路の整備および狭小敷地の改善

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、細街路の拡幅整備を推進します。また、細街路拡幅整備指針をホームページで公開することで、建築行為全般が円滑に推進できるよう図ります。

細街路：幅員4m未満の道路

施策コード	708	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
良質な居住水準への誘導		細街路拡幅整備の推進	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

709 小松川地区防災拠点再開発事業

29年度の事業終了に向け、未着工街区の調整を都と行います。また、スーパー堤防整備事業について、東京都及び国土交通省と積極的に調整を行います。

(3) 良好な市街地環境の創出

710 土地区画整理事業の推進

清掃事務を適切に執行するとともに、事業中及び未着手の土地区画整理事業の早期完了を目指し、防災性の向上を図り、安全で良好な環境の創出に努めます。

土地区画整理事業：土地所有者等から土地の一部を提供してもらい、道路や公園等に活用し、市街地を面的に整備することで居住環境を向上させ、一方で宅地を整形化し利用増進を図ることを目的とした事業。

施策コード	710	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
土地区画整理事業の推進		一之江駅西部地区 清算事務	清算事務(完了予定)	
		瑞江駅北部地区 清算事務	清算事務	清算事務(完了予定)
		篠崎駅西部第四期街区 造成工事	換地計画縦覧	換地処分
		篠崎駅西部第五期街区 事業準備	同左	同左
事業費		89,212千円	23,000千円	11,000千円

711 地区別整備方針の確立

区全体の防災性を強化するため、まちづくりと一体となったスーパー堤防整備を推進します。

施策コード	711	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
スーパー堤防とまちづくり 地区別整備の推進	北小岩一丁目東部地区 宅地造成設計 地区計画手続き	宅地造成工事 仮換地引渡	換地計画縦覧	
	篠崎公園地区 事業計画決定 地区計画手続き	審議会設置 換地設計決定	仮換地指定・宅地造成 工事・第一次仮換地引 渡	
事業費	225,471千円	2,269,333千円	2,095,000千円	

(4)大規模公園予定地の整備

712 篠崎公園・宇喜田公園の整備促進

篠崎公園、宇喜田公園については、都市計画公園・緑地の整備方針において、2020年までに優先的に事業に着手する「優先整備区域」が位置づけられ、東京都により整備が進められています。今後も、公園の整備促進、早期完成を要請していきます。

低地の本区においては、大島小松川公園や葛西臨海公園などのように大規模公園の地盤を高く整備することは、防災上大変重要です。水害時にも安全な避難場所となるよう今後も篠崎公園など大規模公園の整備にあわせた高台化を東京都に要請していきます。

施策コード	712	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
篠崎公園・宇喜田公園 の整備促進	整備促進要請	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
公園整備にあわせた 高台化の推進	要請	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

713 江戸川緑地における整備のあり方の検討

スーパー堤防 事業の機会を捉えて、隣接する篠崎公園の一部や江戸川緑地の一部についても一体的に高台化する整備を推進していきます。

スーパー堤防: 堤防の街側を盛土し、その幅は堤防高さの約30倍で非常に幅が広く予想を超える洪水でも壊れることが無い堤防。

施策コード	713	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
江戸川緑地における 整備のあり方の検討	広場として開放	広場として開放	広場として開放	
事業費	0千円	0千円	0千円	

(5) 地域生活圏と中心核の整備

714 生活圏の個性を活かした魅力あるまちづくり

区民生活の多様化を踏まえつつ、区内6つの地域(中央、小松川・平井、葛西、小岩、東部及び鹿骨)がそれぞれ快適性、利便性及び安全性を高め、区民が誇りと愛着をもって生活できるよう、個性的で魅力的なまちづくりを推進します。

715 地区計画によるまちづくりの誘導

住民の理解と参加による地域の特性にあった地区計画を策定し、建築物、土地利用等の規制・誘導及び一部事業の導入によるまちづくりを推進します。なお、東京都が策定した「土地区画整理事業を施行すべき区域」見直しガイドラインに基づいた都市計画変更を適宜行います。

土地区画整理事業を施行すべき区域: 戦災復興のもとに市街地の拡大を抑止するために緑地として整備することを指定された旧緑地地域を指定解除することに伴って、土地区画整理事業により基盤整備水準を上げる予定地域として指定された区域。

施策コード		715	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
地区計画の策定	東葛西一丁目付近地区	素案策定	地区計画決定	運用・実現	
	平井二丁目付近地区	素案策定	地区計画決定	運用・実現	
	南小岩南部・東松本付近地区	素案検討	素案策定	地区計画決定	
事業費		34,852千円	10,000千円	3,000千円	

716 自主的なまちづくり活動の支援

区民の自主的な景観づくり活動を支援するために、必要に応じて専門家の派遣を行います。

施策コード		716	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
まちづくり推進 コンサルタント派遣		2地区程度	同左	同左	
事業費		200千円	200千円	200千円	

717 区民提案によるルールづくりの推進

区民提案による地区計画、建築協定等の地区のルールづくりを推進します。

建築協定: 土地所有者等の全員の合意によって建築物の敷地、位置、構造、用途、形態、意匠等の基準を定めた協定。

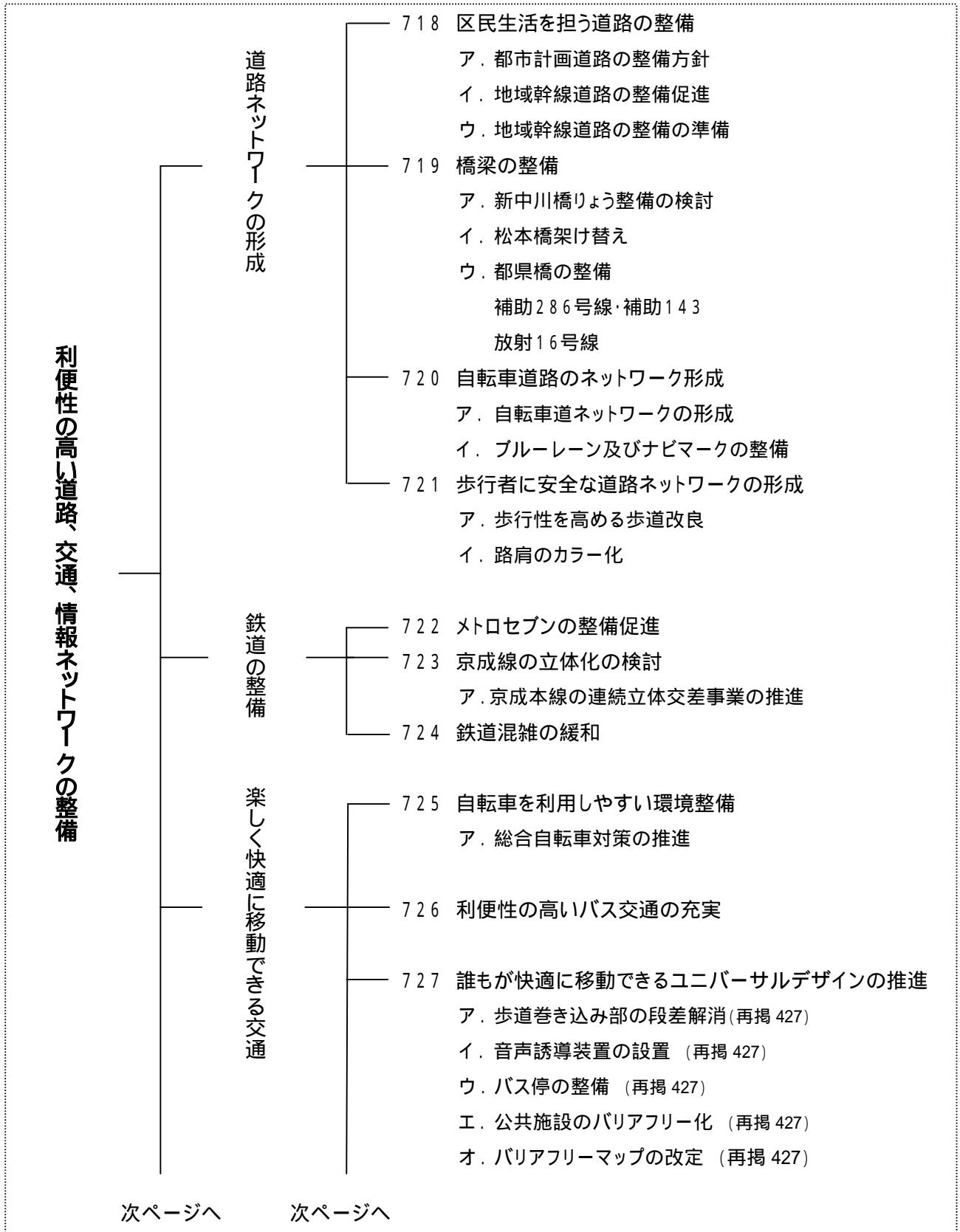
2 利便性の高い道路、交通、情報ネットワークの整備

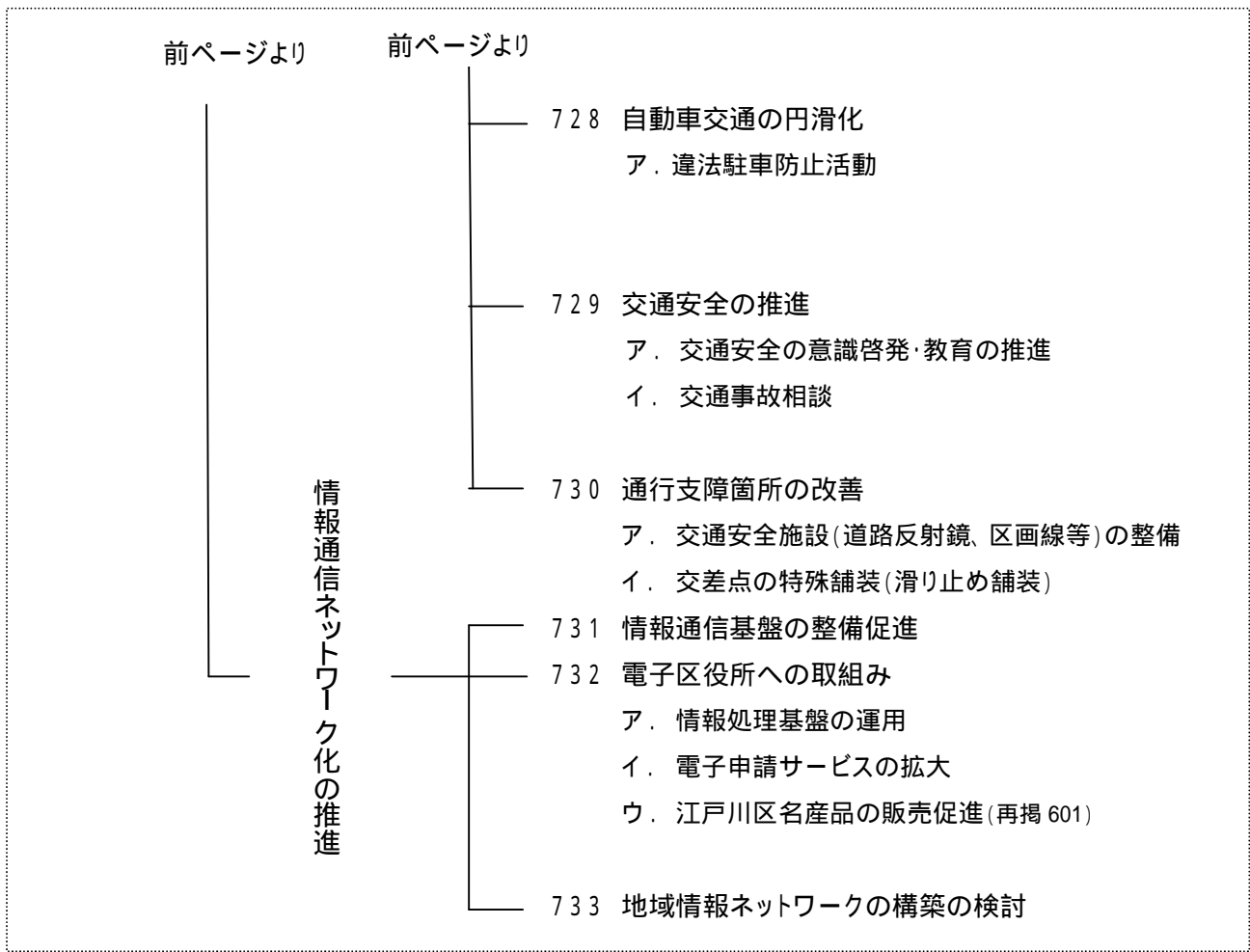
【施策の考え方】

都市計画道路や橋梁の整備による道路ネットワーク、公共交通機関、自転車走行環境等を効果的に整備・活用し、誰もが安心・快適に移動できるまちづくりを進めます。

また、高度情報化に対応した情報通信の利便性の高いまちをめざします。

【施策体系図】





(1)道路ネットワークの形成

718 区民生活を担う道路の整備

地域幹線道路となる都市計画道路の整備を推進し、円滑な道路交通の確保及び質の高いまちづくりを推進します。併せて、電線類の地中化の推進を図ります。

施策コード		718		
計画事業内容		年次計画		
		27年度	28年度	29年度
都市計画道路の整備方針		第四次事業化計画の策定	同左に基づく事業推進	同左に基づく事業推進
事業費		0千円	0千円	0千円
地域幹線道路の整備促進	補助第264号線 (北小岩)	建物調査・算定 用地買収 道路整備	建物調査・算定 用地買収 道路整備	道路整備
	補助第284・288号線 (中央)	用地買収 道路整備	道路整備	道路整備
	補助第286号線 (中央)	用地買収 地中化	地中化	
	補助第288号線 (南篠崎)	建物調査・算定 用地買収 道路整備	用地買収 道路整備	道路整備

	補助第288号線 (北篠崎)	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収
	補助第288・290号線 (一之江)	建物調査・算定 用地買収 道路整備	道路整備	道路整備
	補助第289号線 (春江)	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収 道路整備	用地買収 道路整備
	補助第289号線 (江戸川)	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収
	事業費	1,449,393千円	2,820,000千円	2,807,000千円
整備準備	補助第288号線 (上篠崎)	事業化準備	事業化準備	道路設計
	補助第289号線 (東葛西)	事業認可	建物調査・算定 用地買収	建物調査・算定 用地買収
	事業費	14,115千円	10,000千円	30,000千円

719 橋梁の整備

新中川橋梁整備基本計画で架け替え対象となっている松本橋の架け替え事業に取り組みます。また、未整備橋梁(鹿本橋・春江橋・瑞江大橋)について、江戸川区橋梁長寿命化修繕計画との整合を図りながら、地域のまちづくりと一体となった橋梁整備を検討します。

都県橋補助286号線は、取付道路を含めた都・県による橋梁整備に向け、引き続き関係機関と調整を図っていきます。また、補助143号線・放射16号線は、東京都施行の都市計画道路第三次事業化計画優先整備路線に位置付けられていることから東京都・千葉県に早期整備を強く要請していきます。

施策コード	719	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
新中川橋りょう整備の検討	整備内容・手法の検討	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
松本橋架け替え	詳細設計	仮人道橋設置 旧橋撤去工事	橋台・橋脚工事	
事業費	45,262千円	176,000千円	466,000千円	
都県境の整備 補助286号線・補助143号 線・放射16号線	関係機関調整、 東京都・千葉県へ 整備要請	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

720 自転車道路のネットワーク形成

自転車と歩行者の交通事故の削減、自転車利用の促進及び走行マナー促進などを目指し、交通管理者と協議をしながら自転車走行環境整備(ブルーレーン、ナビマーク)を推進します。また、国道、都道とのネットワークの形成を図るため、引き続き国・東京都に整備要請を行っていきます。

施策コード	720	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
自転車道ネットワークの形成	国・東京都へ整備要請	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
ブルーレーン及びナビマークの整備	葛西駅周辺及び中央地区等整備	補助286号線等整備	補助288号線等整備	
事業費	2,300千円	1,800千円	1,700千円	

721 歩行者に安全な道路ネットワークの形成

歩道の改修及び街路樹の根上がり箇所等の補修などを実施し、より安全で安心して歩ける歩道の整備に努めます。併せて、交通事故減少を図るため、警察と連携しながら、交通事故多発路線の重点的な安全対策等に取り組みます。

施策コード	721	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
歩行性を高める歩道改良	整備工事 1路線 120m	整備工事 1路線 380m	同左	
事業費	11,578千円	40,000千円	40,000千円	
路肩のカラー化	整備工事 2000m	同左	同左	
事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	

(2) 鉄道の整備

722 メトロセブンの整備促進

「今後整備について検討すべき路線」として、平成12年の運輸政策審議会答申に位置付けられている。その実現に向けて、平成27年度に予定される次期答申においてもその位置付けを確保し、膨大な事業費の縮減等諸課題の解決に取り組んでいきます。

723 京成線の立体化の検討

京成本線立体化について、東京都、葛飾区及び京成電鉄との調整により課題解決を図り、早期に事業化されるよう取り組んでいきます。

施策コード	723	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
京成本線の連続立体交差事業の推進	京成本線連続立体交差実現に向けて東京都等と調整	同左	同左	
事業費	549千円	千円	千円	

724 鉄道混雑の緩和

各路線における通勤・通学の混雑緩和策の検討を、鉄道事業者に要請します。

(3) 楽しく快適に移動できる交通

725 自転車を利用しやすい環境整備

「自転車の走るまち・放置自転車ゼロ」を目指し、駅前駐輪場の整備 放置禁止区域のエリア制実施 自転車業務駅別委託による放置自転車撤去啓発活動の効率化 自転車利用者のマナー向上を4本の柱とし、総合自転車対策を推進していきます。

施策コード	725	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
総合自転車対策の推進	駐輪場運営業務の 駅別一括業務委託 (11駅)	同左	同左	
事業費	905,229千円	千円	千円	

726 利便性の高いバス交通の充実

バス交通の利便性向上を図るため、増便や運行ルートの変更、乗継利便性の向上等をバス事業者と協議し、改善が図れるよう要請していきます。

727 誰もが快適に移動できるユニバーサルデザイン の推進

バリアフリー のまちづくりを進めるために、歩道巻き込み部の段差解消、音声誘導装置の設置、バス停の整備等を推進するとともに、エレベーターや自動扉の設置、多目的手洗所への改修等のバリアフリー化を推進します。また、誰もが利用しやすく快適に移動できる駅の整備を、鉄道事業者に要請します。

誰もが安心して街に出かけ施設利用ができるように、バリアフリーマップの改定版を作成し、周知及び活用に努めます。

ユニバーサルデザイン：年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、どんな人でも使えるように設計されたデザイン。

バリアフリー：人が生活する上で妨げとなる障害(バリア)が、街、施設、道路、住宅、人々の意識、社会等から取り除かれた状態。

施策コード	727	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
歩道巻き込み部の段差解消 再掲427	道路改修及び占用工 事にあわせて改修	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
音声誘導装置の設置 再掲427	設置工事4基	設置工事2基	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
バス停の整備 再掲427	0ヶ所	2ヶ所	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
公共施設のバリアフリー化 再掲427	手洗所改修2施設	手洗所改修6施設	手洗所改修6施設	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

バリアフリーマップの改定 再掲427	2000冊 作成	配布	配布
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、歩道巻き込み部の段差解消・音声誘導装置の設置・バス停の整備・公共施設のバリアフリー化・バリアフリーマップの改定(施策コード427)の中で計上しています。

728 自動車交通の円滑化

区民・警察との協働による違法駐車防止キャンペーン、パトロール等を実施して違法駐車台数の減少をめざします。

施策コード	728	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
違法駐車防止活動	違法駐車防止キャンペーン、パトロール等の実施	同左	同左	
事業費	3,159千円	3,159千円	3,159千円	

729 交通安全の推進

交通安全運動等の啓発活動、学校等における交通安全教育等を実施し、自転車マナー、ルール等の啓発活動を強化します。また、関係機関等と連携しながら、交通事故当事者が円滑に解決できるよう相談等の支援を行います。

施策コード	729	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
交通安全の意識啓発・教育の推進	交通安全意識の啓発	同左	同左	
	交通安全教室の開催 (15校)	同左 (40校)	同左 (73校)	
事業費	6,864千円	10,553千円	16,572千円	
交通事故相談	交通事故相談	同左	同左	
事業費	212千円	212千円	212千円	

730 通行支障箇所の改善

誰もが安全に道路を利用できるよう、交通管理者、地域住民と連携を図り、交通環境の向上に努めていきます。

施策コード	730	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
交通安全施設(道路反射鏡、区画線等)の整備	実施	同左	同左	
事業費	35,747千円	35,000千円	35,000千円	

交差点の特殊舗装 (滑り止め舗装)	整備工事 40ヶ所	30ヶ所	同左
事業費	37,455千円	30,000千円	30,000千円

(4) 情報通信ネットワーク化の推進

731 情報通信基盤の整備促進

情報通信基盤を活用することにより、快適な情報提供環境を促進します。

732 電子区役所への取組み

申請・届出等の各種手続きの電子化の取組みを計画的に促進し、利便性の向上に努めます。

施策コード	732	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
情報処理基盤の運用	e-SHIPの運用		同左	同左
	業務システムの構築(改修)・運用		同左	同左
事業費		3,676,567千円	3,450,000千円	3,250,000千円
電子申請サービスの拡大	電子化対象手続の拡大		同左	同左
事業費		3,469千円	3,500千円	3,500千円
江戸川区名産品の販売促進 再掲601	実施		同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

「-」: 事業費は、江戸川区名産品の販売促進(施策コード601)の中で計上しています。

733 地域情報ネットワークの構築の検討

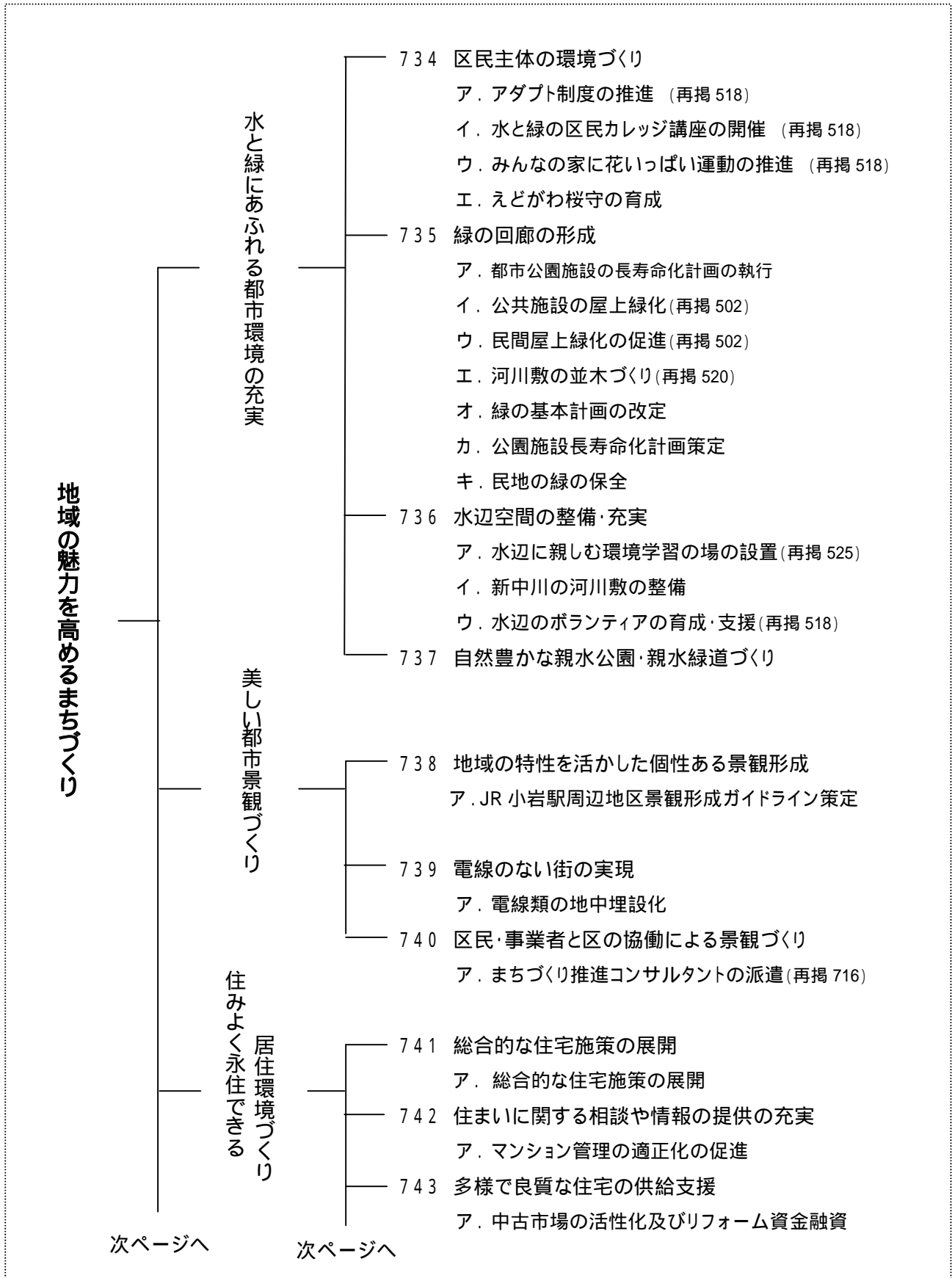
地域内の情報交流と地域からの情報発信を高めるために、関係機関と連携し、地域情報ネットワークの構築を検討していきます。また、地域活動ホームページの活用を図り、町会・自治会の活動の透明性の向上及び加入の促進に努めます。

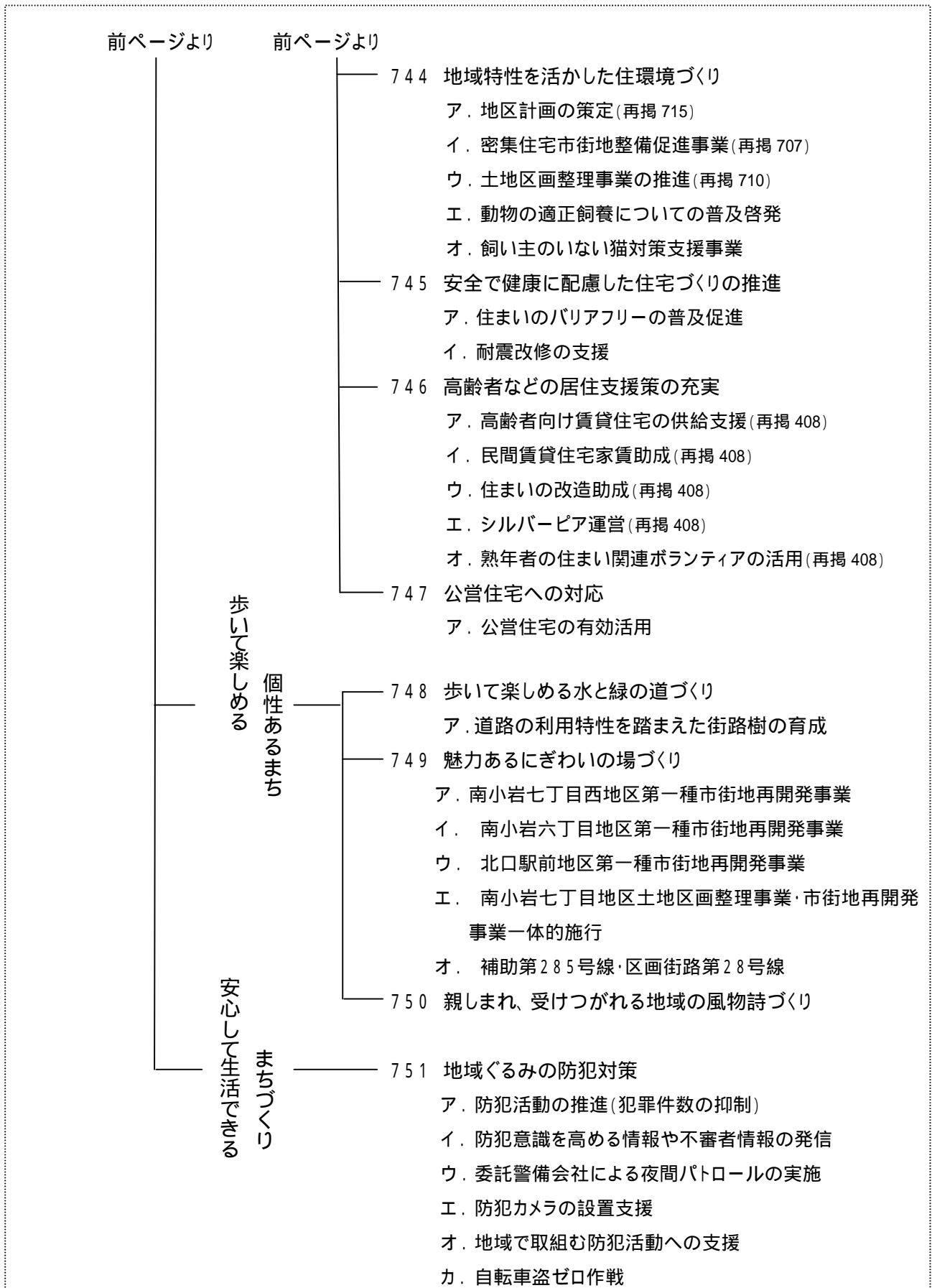
3 地域の魅力を高めるまちづくり

【施策の考え方】

水辺、緑等の様々な都市の資源と魅力を育て、まちづくりに活かします。また、事故、犯罪等を防止した、安心して暮らせる魅力の高いまちづくりを進めます。

【施策体系図】





(1)水と緑にあふれる都市環境の充実

734 区民主体の環境づくり

アダプト制度 により各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

元気な桜を育てるまちづくりを目標に、区内の桜を守り育て、広める役割を担う人材「えどがわ桜守」を育成し、その活動を支援します。

また、みんなの家に花いっぱい運動を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

アダプト制度：道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動を支援する制度。

えどがわエコセンター：江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働するという新たなパートナーシップのもと、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため全区的に設立した特定非営利活動法人。

施策コード		734		
計画事業内容		年次計画		
		27年度	28年度	29年度
アダプト制度の推進	公園ボランティアの育成・支援 再掲518	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	まちかどボランティアの育成・支援 再掲518	活動の支援相談	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	緑のボランティアの育成・支援 再掲518	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	水辺のボランティアの育成・支援 再掲518	水辺の活動交流会等の支援	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
水と緑の区民カレッジ講座の開催 再掲518		26講座	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催 再掲518	10会場	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
	庭木の手入れ講習会の開催 再掲518	講習会 9会場	同左	同左
		緑の相談所 9会場	同左	同左
	事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
ウェルカム・ガーデナーの育成 再掲518	5会場	同左	同左	
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

えどがわ桜守の育成	桜守活動の支援等 全国さくらシンポジウム に向けた準備	桜守活動の支援等 全国さくらシンポジウム の開催	桜守活動の支援等
事業費	306千円	306千円	306千円

「-」:事業費は、公園ボランティアの育成・支援・まちかどボランティアの育成・支援・緑のボランティアの育成・支援・水辺のボランティアの育成・支援・水と緑の区民カレッジ講座の開催・花鉢アレンジ講習会の開催・庭木の手入れ講習会の開催・ウェルカム・ガーデナーの育成(施策コード518)の中で計上しています。

735 緑の回廊 の形成

「みどりの基本計画」に基づき、みどりを守り・育み・創る施策を推進します。

都市公園施設のライフサイクルコストの縮減と予算の平準化を図り、適切に維持管理を行っていくための長寿命化計画に基づき、計画的な施設の更新を行います。

また、土木公共施設全体の方針に基づき、児童遊園、その他の公園施設における適切な維持管理、計画的な更新を行います。

旧江戸川における堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備を推進します。

宅地開発等により、消滅してしまう可能性のある農地や樹林、名木・古木、保護樹等について、江戸川区の貴重な資源として、積極的に維持・保全するための取り組みを行います。

「住宅等整備事業における基準等に関する条例」に基づき屋上緑化を推進することにより、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。

緑の回廊:公園、河川、学校等の緑の核をなす施設を親水緑道や緑道等、緑豊かな道路で結んだ回遊性のあるネットワーク。
住宅等整備事業における基準等に関する条例:中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

施策コード	735	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
都市公園施設の長寿命化 計画の執行	3箇所	同左	同左	同左
事業費	50,000千円	50,000千円	50,000千円	50,000千円
公共施設の屋上緑化 再掲502	2施設	3施設	1施設	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
民間屋上緑化の促進 再掲502	促進件数 100件	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
河川敷の並木づくり 再掲520	旧江戸川の桜等植栽 計画	設 計	実 施	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
みどりの基本計画の推進	実施施策の推進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
公園施設長寿命化計画策定	土木公共施設全体 の方針	児童遊園、その他施設 の調査・検討	児童遊園、その他施設 の計画策定	
事業費	0千円	千円	千円	千円

緑の保全	方針の検討	計画策定	実施
事業費	3,000千円	千円	千円

「-」:事業費は、公共施設の屋上緑化・民間屋上緑化の促進・河川敷の並木づくり(施策コード520)の中で計上しています。

736 水辺空間の整備・充実

えどがわエコセンターとの連携を図りながら、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを行います。

河川空間を「水・緑」の基幹軸として位置づけ、各河川の個性や豊かな水辺環境を日常生活に活かすとともに、自然と共生するための貴重な空間として、自然環境の保全・創出を図ります。また、水辺のボランティア活動について、区民相互の交流や促進、相談、情報の収集・提供等を支援します。

施策コード	736	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
水辺に親しむ環境学習の場の設置 再掲525	環境学習等の場としての活用	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
新中川の河川敷の整備	整備協議・調整	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	
水辺のボランティアの育成・支援 再掲518	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「-」:事業費は、水辺に親しむ環境学習の場の設置(施策コード525)、水辺のボランティアの育成・支援(施策コード518)の中で計上しています。

737 自然豊かな親水公園・親水緑道づくり

多様な生き物が棲息している親水公園や親水緑道等において、環境資源や自然観察等のふれあいの場として水辺環境の充実、利用の促進を図ります。

施策コード	737	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
水と緑のネットワークの形成	利用の促進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

(2)美しい都市景観づくり

738 地域の特性を活かした個性ある景観形成

地域特性に応じた「江戸川らしい」景観をさらに高めるため、景観条例による事前協議・届出制度を活用し、適正な開発誘導を行うとともに、景観まちづくりワークショップやえどがわ百景実行委員会等、区民主体の景観まちづくり活動を推進します。

また、JR小岩駅周辺地区については地域特性を踏まえた魅力ある景観まちづくりを推進するため、景観について区民・事業者・区が共通のイメージを持つことにより、将来の良好な景観形成の指針としてガイドラインを作成し周知及び活用に努めます。

施策コード	738	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
JR小岩駅周辺地区 景観形成ガイドライン策定	各地区	同左	同左	
事業費	3,500千円	3,500千円	3,500千円	

739 電線のない街の実現

都市計画道路、土地区画整理事業等の整備に併せて、電線類の地下埋設化等を推進し、快適な都市景観の形成を図ります。

施策コード	739	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
電線類の地中埋設化	都市計画道路 700m	都市計画道路 770m	都市計画道路 600m	
事業費	385,000千円	423,500千円	330,000千円	

740 区民・事業者と区の協働による景観づくり

区民の自主的な景観づくり活動を支援するために、情報提供、専門家の派遣等を行います。

施策コード	740	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
まちづくり推進コンサルタント 派遣 再716	2地区程度	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「-」:事業費は、まちづくり推進コンサルタント派遣(施策コード716)の中で計上しています。

(3) 住みよく永住できる居住環境づくり

741 総合的な住宅施策の展開

「区の主要課題<高齢化(住まい)への対応>」を踏まえ、効果的かつ重点的な住宅施策を推進します。庁内関係部署との協力体制のもとに東京都居住支援協議会などと連携を図りながら円滑な入居支援を行うとともに、特に高齢者住宅等への入居を促進していきます。

施策コード	741	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
総合的な住宅施策の展開	住宅施策の推進	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

742 住まいに関する相談や情報の提供の充実

危機管理を含め、マンションの総合的な管理を促進するため「マンション通信」の発行支援、学習会等への専門家派遣、マンション関係団体の連携支援等を行います。特に組織的運営に課題が多いとされる小規模マンションについては、管理運営の実態を踏まえてきめ細かい対応に努めます。

施策コード		742	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
適正化の促進 マンション管理の	マンション通信 発行支援	年4回	同左	同左	
	マンション交流支援 専門講師の派遣	年3回	同左	同左	
事業費		762千円	762千円	762千円	

743 多様で良質な住宅の供給支援

既存の住宅ストックを有効に活用し、老朽化した住宅の改修・建替えを促進するため、リフォーム資金の融資あっせんを行い、居住水準や防災性の向上及び住宅産業の振興を図ります。

施策コード		743	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
中古市場の活性化及び リフォーム資金融資		住宅リフォーム資金の 融資あっせん 10件	同左	同左	
事業費		1,071千円	1,000千円	1,000千円	

744 地域特性を活かした住環境づくり

コミュニティの機能を活かしながら、住民合意に基づいた地区計画制度を活用するとともに、密集住宅市街地整備促進事業や土地区画整理事業の推進を図り、魅力ある良好な住環境を形成します。

町会回覧やしつけ方教室等を通じて、ペットの適正飼養について一層の啓発を図り、人と動物との豊かな共生社会を実現していきます。また、飼い主のいない猫に係る問題を解決するための地域の活動を支援することにより、飼い主のいない猫の減少及び区民の快適な生活環境の保持を図ります。

施策コード		744	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
地区計画の策定 再掲715		3地区	同左	同左	
事業費		— 千円	— 千円	— 千円	
密集住宅市街地整備促進事業 再掲707		10地区	同左	同左	
事業費		— 千円	— 千円	— 千円	

土地区画整理事業の推進 再掲710	一之江駅西部地区 清算事務	清算事務(完了予定)	
	瑞江駅北部地区 清算事務	清算事務	清算事務(完了予定)
	篠崎駅西部第四期街区 造成工事	換地計画縦覧	換地処分
	篠崎駅西部第五期街区 事業準備	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円
動物の適正飼養についての 普及啓発	猫の室内飼育の啓発 や犬の適正飼養に向け たしつけ方教室の開催	同左	同左
事業費	500千円	500千円	500千円
飼い主のいない猫対策 支援事業	飼い主のいない猫の不 妊・去勢手術費助成 (160件)	同左 (200件)	同左 (200件)
事業費	4,000千円	5,000千円	5,000千円

「-」:事業費は、地区計画の策定(施策コード715)、密集住宅市街地整備促進事業(施策コード707)、土地区画整理事業の推進(施策コード710)の中で計上しています。

745 安全で健康に配慮した住宅づくりの推進

建物の新築、増改築に当たっては、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律、東京都高齢者、身体障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例及び江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例 によるバリアフリー建築を誘導するとともに、バリアフリー化の普及を促進します。

また、江戸川区耐震改修促進計画に基づき、戸建住宅、木造賃貸住宅、分譲マンション並びに緊急輸送道路沿道建築物等に対して、相談のサポートや耐震改修等への助成を行うことで、耐震化を進め、災害に強いまちづくりの形成を図ります。

住宅等整備事業における基準等に関する条例:中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

施策コード	745	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
住まいのバリアフリー の普及促進		普及促進	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
耐震改修の促進		戸建住宅・分譲マンション・緊急輸送道路沿道建築物等に対して耐震化促進事業の実施及び普及啓発	同左	同左
事業費		421,094千円	412,000千円	412,000千円

746 高齢者などの居住支援策の充実

熟年者が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けられるよう、その状態に応じた多様な住まいの普及・整備の促進に努めるとともに、高齢者向け賃貸住宅の供給支援、民間賃貸住宅家賃助成、住まいの改造助成、シルバーピア運営等により、熟年者がより安心して住み続けられる住まいの確保・改善等を図ります。

民間賃貸住宅家賃助成：建物の取り壊し等で家主から転居を迫られた熟年者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、緊急処置として住み替え家賃の差額を助成する。

施策コード	746	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
高齢者向け賃貸住宅の供給支援 再掲408		高齢者向け賃貸住宅の供給支援	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
民間賃貸住宅家賃助成 再掲408		250件	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
住まいの改造助成 再掲408		150件	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
シルバーピア運営 再掲408		50世帯	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
熟年者の住まい関連ボランティアの活用 再掲408		ボランティアの活用	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「－」：事業費は、高齢者向け賃貸住宅の供給支援・民間賃貸住宅家賃助成・住まいの改造助成・シルバーピア運営・熟年者の住まい関連ボランティアの活用(施策コード408)の中で計上しています。

747 公営住宅への対応

区営住宅については、適正な修繕計画に基づき、維持・管理を行っていくとともに、コストの削減、サービスの向上など、さらに効率的な管理・運営を図るため、指定管理者制度を活用していきます。

また、都営住宅の建替にあたっては、関係部署と連携をとりながら区として必要な施設等の整備について調整、協議を行います。

施策コード	747	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
公営住宅の有効活用		区営住宅の管理 3団地65戸	同左	同左
		都営住宅の建替調整	同左	同左
事業費		25,159千円	30,000千円	30,000千円

(4) 歩いて楽しめる個性あるまち

748 歩いて楽しめる水と緑の道づくり

他機関等の道路工事に合わせ、街路樹の取り扱い(保全・更新等)の協議を行い、良好な街路樹の育成を推進します。また、街路樹の生長による歩道舗装の損傷箇所の補修を行います。

施策コード	748	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
道路の利用特性を踏まえた街路樹の育成	他機関等との協議 歩道の補修500m ²	同左	同左	
事業費	8,000千円	8,000千円	8,000千円	

749 魅力あるにぎわいの場づくり

主要鉄道駅の周辺は、商業や交通の拠点となる地域中心核にふさわしい高度利用を誘導し、賑わいのある商業機能、事務所等の業務機能の充実を図ります。特に、JR小岩駅周辺は、道路・駅広場等の都市施設、及び地区別の事業推進を図ります。また、京成小岩周辺地区は京成本線連続立体化事業の推進に合わせ、まちづくりを進めます。

施策コード	749	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
南小岩七丁目西地区 第一種市街地再開発事業 再掲703	事業完了			
事業費	— 千円	千円	千円	
南小岩六丁目地区 第一種市街地再開発事業 再掲703	事業認可 組合設立	権利変換計画認可	建設工事	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
北口駅前地区 第一種市街地再開発事業 再掲703	準備組合設立 都市計画決定協議	都市計画決定	事業認可 組合設立	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
南小岩七丁目地区土地区画 整理事業・市街地再開発事 業一体的施行 再掲703	事業計画案作成	都市計画決定 (土地区画整理事業) 用地買収	都市計画決定 (市街地再開発事業) 用地買収	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
補助第285号線 区画街路第28号線 再掲703	詳細設計	事業認可 用地買収	用地買収	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「-」:事業費は、南小岩七丁目西地区第一種市街地再開発事業、南小岩六丁目地区第一種市街地再開発事業、北口駅前地区第一種市街地再開発事業、南小岩七丁目地区土地区画整理事業・市街地再開発事業一体的施行、補助第285号線区画街路第28号線(施策コード703)の中で計上しています。

750 親しまれ、受けつがれる地域の風物詩づくり

地域のイベント、地域のボランティア活動等を情報提供し、地域住民のふれあいの場づくりを図ります。

(5) 安心して生活できるまちづくり

751 地域ぐるみの防犯対策

「安全・安心まちづくり大綱」に基づき、区民が日々安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、区民、警察、区が一体となり、犯罪抑止に向けた取り組みを行っていきます。

具体的には、警察や消防との連携を強化していくとともに、防犯カメラの設置支援や警備会社による夜間パトロールの実施、各地域で行われている安全・安心パトロール活動への支援等、総合的な防犯まちづくりを推進していきます。

また、身近な防犯抑止対策として、自転車盗ゼロ作戦の実施、メールニュースによる不審者情報の配信、各種イベントでのPRや防犯だより、ホームページを活用した啓発活動の実施により、安全で安心して生活できるまちづくりを進めていきます。

施策コード	751	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
防犯活動の推進 (犯罪件数の抑制)		8,150件 (犯罪件数)	7,800件 (犯罪件数)	7,450件 (犯罪件数)
事業費		1,589千円	1,589千円	1,589千円
防犯意識を高める情報や 不審者情報の発信	えどがわメールニュー ス・防犯だより等の発行		同左	同左
事業費		1,066千円	1,066千円	1,066千円
委託警備会社による 夜間パトロールの実施	パトロールの実施		同左	同左
事業費		41,516千円	41,516千円	41,516千円
防犯カメラの設置支援	設置支援		同左	同左
事業費		30,009千円	千円	千円
地域で取り組む 防犯活動への支援	安全・安心パトロール 等への活動支援		同左	同左
事業費		2,983千円	2,983千円	2,983千円
自転車盗ゼロ作戦		3,100件 (自転車盗件数)	3,000件 (自転車盗件数)	2,900件 (自転車盗件数)
事業費		1,617千円	1,617千円	1,617千円

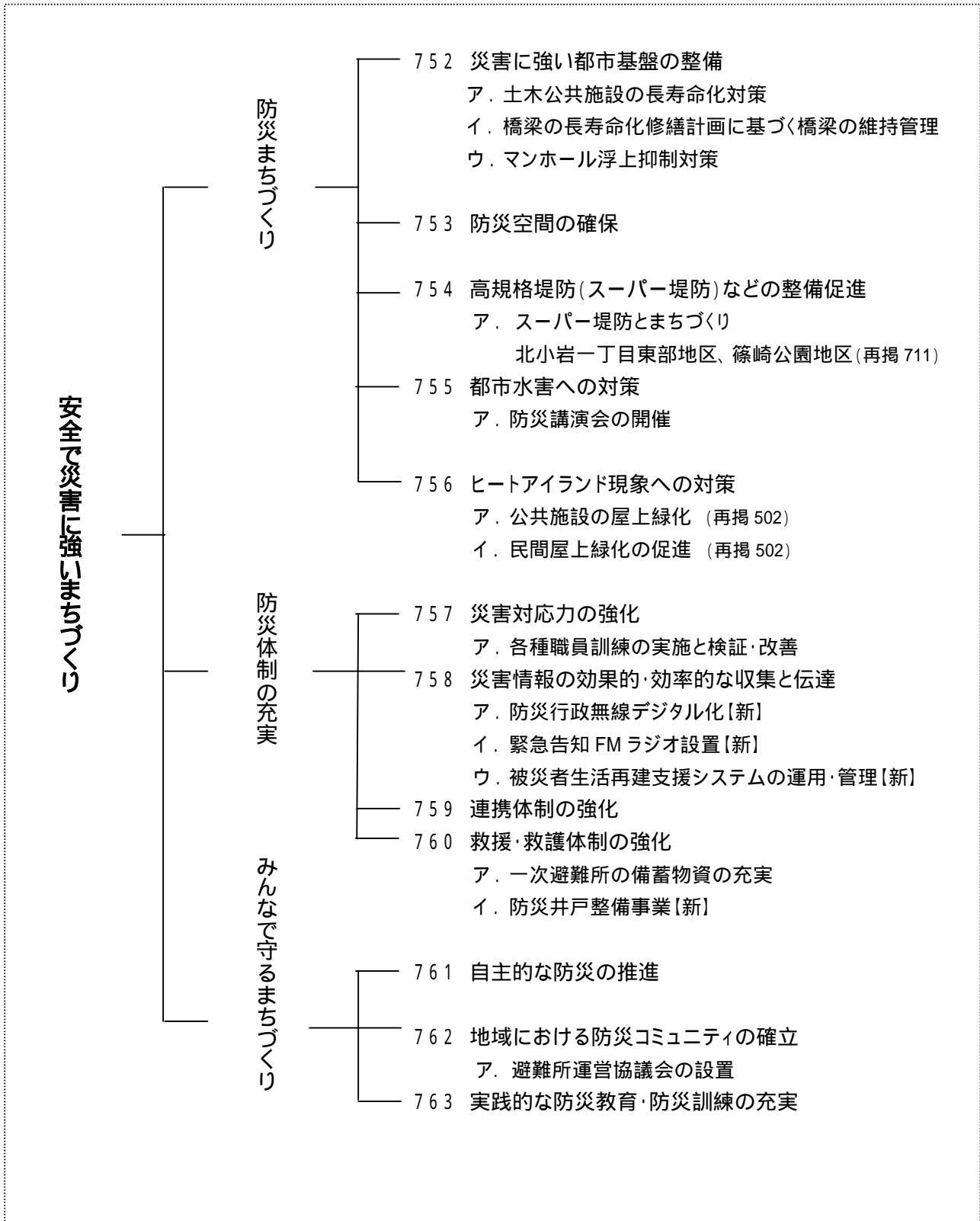
4 安全で災害に強いまちづくり

【施策の考え方】

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を高め、区民と区の役割を明確にし、区民や関係機関と一体となった災害に強いまちをつくります。

また、安心して住み続けられるよう、まちづくりと一体の高規格堤防、木造密集市街地の整備等の都市基盤の整備を進め、都市化の進展による都市型水害、ヒートアイランド現象の対応等を推進します。

【施策体系図】



(1) 防災まちづくり

752 災害に強い都市基盤の整備

土木公共施設の長期的な維持管理・更新等のコスト縮減と予算の平準化を図るため、各長寿命化計画を作成し、適切な維持管理に努めます。

施策コード	752	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
土木公共施設の 長寿命化対策	基本計画	平成27年度の基本 計画により各長寿命化 計画実施	同左	
事業費	7,020千円	千円	千円	
橋梁の長寿命化修繕計画 にもとづく橋梁の維持管理	工事、調査委託	平成27年度の調査委 託により実施	同左	
事業費	65,433千円	千円	千円	
マンホール浮上抑制対策	工事、設計	工事、設計	工事	
事業費	297,902千円	297,400千円	195,800千円	

753 防災空間の確保

区民及び事業者の理解と協力を得ながら、助成金制度の活用を図りつつ、細街路の拡幅整備を推進します。また、指定道路図・調書を作成し、閲覧に供することにより、建築行為全般を円滑に推進するよう図ります。

754 高規格堤防(スーパー堤防)などの整備促進

区全体の防災性を強化するため、まちづくりと一体となったスーパー堤防整備を推進します。

施策コード	754	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
スーパー堤防とまちづくり 地区別整備の推進 再掲711	北小岩一丁目東部地区 宅地造成設計 地区計画手続き	宅地造成工事 仮換地引渡	換地計画縦覧	
	篠崎公園地区 事業計画決定 地区計画手続き	審議会設置 換地設計決定	仮換地指定・宅地造成 工事・第一次仮換地引 渡	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

「-」:事業費は、スーパー堤防とまちづくり地区別整備の推進(施策コード711)の中で計上しています。

755 都市水害への対策

台風による大雨や下水道の排水能力を超える集中豪雨による浸水被害を防止するため、東京都下水道局と連携し、地勢的条件にあった効果的な浸水対策を推進します。あわせて、区民に対して浸水リスクや気象情報等を提供するとともに、自助・共助による備えにより被害を最小限に抑えるための啓発活動を実施していきます。

施策コード	755	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
浸水対策の推進	効果的な浸水対策、 啓発活動の実施	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

756 ヒートアイランド現象 への対策

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例 に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装、保水性舗装 を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。

ヒートアイランド現象：都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅や一定規模以上の土地利用の基準を定めたもの。

透水性舗装：雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

保水性舗装：道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

施策コード	756	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
公共施設の屋上緑化 再掲502	2施設	3施設	1施設	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
民間屋上緑化の促進 再掲502	促進件数100件	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

「-」：事業費は、公共施設の屋上緑化・民間屋上緑化の促進(施策コード502)の中で計上しています。

(2)防災体制の充実

757 災害対応力の強化

実践的な災害対策活動を展開するために、全庁での危機管理体制を構築し、職員一人ひとりの意識と行動力を高めていきます。各種職員訓練の実施と検証、関係機関との連携強化を繰り返し実行していくことにより、的確な災害対応力の向上を図ります。

施策コード	757	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
各種職員訓練の実施	実施	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

758 災害情報の効果的・効率的な収集と伝達

防災設備機器の機能強化を図るため、国の交付金を活用して5ヵ年事業計画により取り組み、都市防災機能を高めます。

大規模災害時に被災者生活再建支援を迅速に行うため、「被災者生活再建支援システム」を導入し、運用していきます。また、小規模災害時のり災証明発行事務もシステムを使用して実施します。

施策コード	758	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
防災行政無線デジタル化 【新】	実施設計、 防災行政無線卓更新	工事	工事	
事業費	101,012千円	319,572千円	312,120千円	
緊急告知FMラジオ設置 【新】	実施設計	工事	工事	
事業費	— 千円	5,508千円	5,524千円	
被災者生活再建支援 システムの運用管理【新】	導入	実施	同左	
事業費	25,876千円	5,145千円	5,145千円	

「-」:事業費は、防災行政無線デジタル化(施策コード758)の中で計上しています。

759 連携体制の強化

災害発生時における各種協定について、自治体や関係機関及び民間事業者との新たな協定締結に努めます。また、協定締結後も緊急連絡先の確認や定期的な情報交換、合同訓練等を通じて、相互に協力体制を構築していきます。

760 救援・救護体制の強化

東京都の被害想定見直しに伴い、災害時に被災者が必要とする備蓄物資の増備・充実を順次図ります。また、備蓄物資は、一次避難所となる区立小・中学校への分散配備、及び区の防災倉庫(小松川・葛西)への拠点配備とします。

震災時、一次避難所における生活用水を確保するため、5ヵ年計画で区立小・中学校への防災井戸の整備を進めます。

施策コード	760	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
一次避難所の備蓄物資充実	充実	同左	同左	
事業費	18,894千円	18,894千円	18,894千円	
防災井戸整備事業【新】	21校整備	21校整備	21校整備	
事業費	63,333千円	63,333千円	63,333千円	

(3) みんなで守るまちづくり

761 自主的な防災の推進

区民に対して自らが住むまちの地区特性や想定される災害を確認し、とるべき予防策や災害時の行動について考えてもらう機会を積極的につくっていきます。また、災害に強いまちづくりと併せて、地域でまちの防災を考え、地域独自の防災計画としてまとめていく「地区防災計画制度」を活用し、区民の防災力を高めるための計画づくりの支援を行っていきます。

762 地域における防災コミュニティの確立

震災時に地域での被災者の支援拠点となる一次避難所(区立小・中学校)の開設及び運営が、スムーズに進められるよう地域・学校職員・避難所開設職員が連携した体制づくりを進めます。

施策コード	762	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
避難所運営協議会の設立		推進	推進	推進
事業費		0千円	0千円	0千円

763 実践的な防災教育・防災訓練の充実

子ども、保護者等が災害発生時に適切な対応がとれるよう、あらゆる機会を通じた、より実践的な防災教育及び防災訓練の実施に努めます。

第3章 計画の実現のために

- 1 信頼と協働による推進
- 2 区民本位での効率的な行政運営

1 信頼と協働による推進

ボランティア、民間団体等の活動の支援、情報技術を活用したコミュニケーション体制の整備等を通して、区民と区の多様で豊かな協働を築くための環境づくりを進めます。

2 区民本位での効率的な行政運営

(1) 電子区役所への取組み

現行の情報処理体制が抱える課題の解決を図り、区民サービスの向上及び事務処理の効率化を目的とする新たな情報処理体制の整備を促進します。併せて、江戸川区情報セキュリティポリシーに基づいた適切な情報管理、職員の情報リテラシーの向上等を図ります。

社会保障・税番号制度の導入については、平成 28 年 1 月からの利用開始に向け、全庁をあげて、関係システムの開発及び改修や番号通知等の準備を進めます。また、個人番号カードを利用した住民票等の証明書コンビニ交付サービスを平成 28 年 1 月以降導入します。さらに、平成 29 年 7 月からの他機関との情報連携開始の準備を行うとともに、更なる区民サービスの向上に向け、独自利用やマイポータルの活用についても検討していきます。

情報セキュリティポリシー：江戸川区情報安全管理対策要綱・同対策基準（平成14年4月1日 区長決定）江戸川区の情報セキュリティ対策について総合的、体系的に取りまとめたもの。

情報リテラシー：コンピュータやネットワークを活用して情報の検索、整理、発信等を行う能力のこと。

施策コード	801	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
情報処理基盤の運用 再掲 732	e - SHIP の運用		同左	同左
	業務システムの構築(改修)・運用		同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
電子申請サービスの拡大 再掲 732	電子化対象手続の拡大		同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
情報セキュリティ 対策	セキュリティ診断・内部点検の実施		同左	同左
	セキュリティ改善計画に基づく対策の実施		同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
職員の情報リテラシー向上	情報化研修等の実施		同左	同左
事業費	7,321 千円	7,500 千円	7,500 千円	7,500 千円
社会保障・税番号制度の導入【新】	導入準備 (平成 28 年 1 月から 利用開始)		他機関との情報連携 準備	同左 (平成 29 年 7 月から 情報連携開始)
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

証明書コンビニ交付サービスの導入【新】の導入	導入 (平成 28 年 1 月以降 運用開始)	実施	同左
事業費	73,881千円	千円	千円

情報セキュリティ:情報システムとその取扱う情報についての機密の保持及び正確性、完全性の維持並びに業務等で必要な範囲でシステムの利用可能な状態(可用性)を維持することをいう。

「-」:事業費は、情報処理基盤の運用・電子申請サービスの拡大(施策コード732)の中で計上しています。

(2) 区民への積極的な情報提供

区民への積極的な情報提供を推進し、より開かれた区政の実現を図ります。

区が持つさまざまなデータを区民や企業が自由に編集・加工できるように機械判読に適したデータ(Excelなど)にしてホームページで公開し、住民参加や官民協働の公共サービスの創出や経済の活性化を図ります。また、現在運用しているCMSのバージョンアップ等について検討を行います。

CMS(コンテンツマネジメントシステム):テキスト、画像等を統合的に管理するシステム。

施策コード	802	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
公式ホームページの拡充	オープンデータの研究	オープンデータの提供開始	拡充	
	CMSの運用	同左	CMS更新の検討	
事業費	0千円	0千円	0千円	
意見公募手続の適切な運営	運営	同左	同左	
事業費	0千円	0千円	0千円	

(3) 行政評価のしくみづくり

施策及び事業がどのように実施されているか等を区民にわかりやすく説明するとともに、施策の有効性、改善すべき課題、方向性等を明確にし、区民ニーズにあった施策を展開するため、行政評価制度を推進します。

施策コード	803	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
行政評価の適切な運営	実施	同左	同左	
事業費	143千円	143千円	143千円	

(4) 民間活力の導入

事業の性格から民間に委託することが可能な事業については委託化を進めます。また、公の施設の管理において民間の経営上のノウハウを取り入れる指定管理者制度の積極的な導入を図り、効率的な行政運営をめざします。民間活力を導入することで、良質なサービスを提供するとともに区の財政支出の改善を図ります。

(5) 職員の能力開発と意識改革

施策及び事業を区民本位で、効率的に実施していくために、職員の能力開発及び意識改革に努めます。

(6)新公会計制度の推進

複式簿記・発生主義による日々仕訳により作成した財務諸表を活用して、事業効果などを把握し、効率的な財政運営に努めます。

(7)財政基盤の強化

健全な財政運営を長期的・計画的に行うために、事務事業、執行体制のあり方等を探求するとともに、税収等の確保に努めます。

施策コード	805	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
債権確保の強化		区税収納の強化	同左	同左
		私債権・公債権の整理 徴収強化	同左	同左
事業費		949,965 千円	949,965 千円	949,965 千円

(8)広域的な連携・協力の推進

災害時の対応、防犯対策、広域交通網の整備、自動車環境汚染対策等区だけでは対応、解決等が困難な課題について、国及び都に必要な働きかけを行うとともに、周辺自治体と連携・協力してその解決を図ります。

(9)公共施設マネジメントの導入

公共施設の老朽化、少子高齢化による公共施設に対するニーズの多様化等へ対応するため、公共施設マネジメントの導入を進めます。

公共施設マネジメント:公共施設の実態を施設面、利用面、運営面、コスト面等から把握し、現状及び将来の自治体を取り巻く環境に照らした上で、他用途への転用や施設の集約化、統廃合等、公共施設のあり方を総合的に判断し、再構築を行うこと。

施策コード	806	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
公共施設マネジメント の導入		施設のあり方検討	同左	同左
事業費		***千円	***千円	***千円

江戸川区実施計画

平成 27 年度 ~ 29 年度

~ 共育 協働 安心への道 ~

発行日 / 平成 27 年 3 月

編集・発行 / 江戸川区経営企画部

〒132 - 8501 江戸川区中央 1 - 4 - 1

電話 03 - 3652 - 1151 (代表)

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>
